

令和4年度 沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画 成果目標

令和4年9月30日

那覇市	1	嘉手納町	107
宜野湾市	18	北谷町	110
石垣市	26	北中城村	113
浦添市	31	中城村	118
名護市	36	西原町	123
糸満市	44	与那原町	127
沖縄市	48	南風原町	131
豊見城市	55	渡嘉敷村	139
うるま市	60	座間味村	142
宮古島市	70	粟国村	145
南城市	74	渡名喜村	148
国頭村	77	南大東村	149
大宜味村	80	北大東村	151
東村	82	伊平屋村	153
今帰仁村	85	伊是名村	157
本部町	89	久米島町	160
恩納村	92	八重瀬町	164
宜野座村	94	多良間村	171
金武町	98	竹富町	174
伊江村	100	与那国町	178
読谷村	104		

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R13	・外国人観光客への利便性の確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内所の実施に必要なスタッフ(常勤9名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスのさらなる充実に勤め、本市の観光イメージアップ及び観光誘客を図る。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・案内所を利用する外国人観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。	【R4成果目標の考え方】 ・事業の成果目標として、案内所を利用する外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。
1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	迷惑行為に対する是正指導及び、具体的手法の検討	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車に関する指導回数 看板: 月平均290回以内 車両: 月平均200回以内	【今後のスケジュール】 今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、それぞれの課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 R4年度は具体的手法を検討するため、看板等の違法な設置と車両の違法駐車に目標値を分けて設定した。成果目標値は、令和2年度の実績値以内とした。
1	3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備の実施	・「那覇ハーリー」来場者数: 194,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数: 272,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数: 48,600人(参考: 平成30年度、令和元年度は中止)	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	観光統計資料の作成及び那覇市における国内観光客の旅行動向を把握のためアンケート調査を実施する。	①統計調査 ②市内宿泊客へのアンケート調査	・対面アンケート調査における回収件数200件 ・WEBアンケート調査における回収件数400件以上。	【今後のスケジュール】 アンケート調査により、宿泊人数、平均泊数、消費額等について、過去の調査結果や全国・沖縄県と比較することで今後の観光振興施策に活用する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備しキャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数：7,500人 	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	6	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	「那覇まちまーい」実施に要する費用の支援	参加者数 7,650人	【今後のスケジュール】 今後も(一社)那覇市観光協会が実施する「那覇まちまーい」に要する費用に対する支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を考慮し、設定した。
1	7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う。	・クルーズ受入に係る事業に対する支援	クルーズ乗船客数：188,000人	今後もクルーズ受け入れに関する体制を整備するために支援を実施する。	(R4成果目標設定の考え方) 新型コロナの影響により邦船・外国船の寄港回数の回復まではしばらく時間がかかると予測。全国1位の寄港回数を記録したH31年度(コロナ禍前)の乗船客数624,596人を100としたときの約3割で目標を積算。
1	8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信	<ul style="list-style-type: none"> 年間稼働数：56回 内訳 ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎：17回 ・沖縄国際映画祭：1回 ・那覇ハーリー：3回 ・那覇大綱挽まつり：2回 ・琉球王朝祭り首里：1回 ・那覇マラソン：2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ：20回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント：10回 	【スケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	9	沖縄国際映画祭関連事業	H28 ～ R13	観光客の誘客を図るため、沖縄国際映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援。	沖縄国際映画祭 国際通りレッドカーペット観客数 (92,000人)	【今後のスケジュール】 沖縄国際映画祭を4月の観光メニューとして定着させ、一層の観光振興を図る。	【成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	10	国際通りトランジットモール推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組みを支援する。	那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:30回 ※過去5年間(H28～R2)の平均値で設定 【実績】 H24:35回 H29:36回 H25:37回 H30:35回 H26:35回 R1:33回 H27:36回 R2:16回 H28:34回	歩行者通行量1日:11,100人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。	【R4成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	11	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援(8月第1日曜日に開催。R4年度で26回目の実施)	来場者数:27,220人	【今後のスケジュール】 引き続き、一万人のエイサー踊り隊の開催を支援する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	12	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R4	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場の再整備にあたり、再整備期間中、仮設市場において市場機能を維持することにより、賑わいの継続及び観光客の誘客を図る。 令和4年度は、仮設市場の賃貸借業務及びオープニング関連事業を実施する。	仮設市場賃貸借業務の実施 オープニング関連事業の実施	仮設市場賃貸借業務の実施 オープニング関連事業の実施	【R5成果目標】 供用開始後1年目(令和5年度)の目標を以下のとおりとする。 年間来訪者数目標256万人 【今後のスケジュール】 R4年度 供用開始予定	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	13	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年8回以上)	視聴者数(月平均):14,800人 ※視聴者測定システムによる測定 R2実績:2,123人 R1実績:14,796人	【今後のスケジュール】 大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に継続的に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 R2はコロナの影響を受けており、直近の実績による目標値の設定が難しいため、R1年度実績程度の回復を目標とし、同程度に設定。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	14	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグワー)に案内所を配置する。	①案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置 (開所時間9時～20時 年中無休 ※元旦を除く) ②中心商店街(マチグワー)情報の発信 HP、SNS、情報誌制作等	案内所利用者数:20,300人 R2実績:10,125人 R1実績:20,260人	【今後のスケジュール】 引き続き、案内所を運営する。 案内スタッフの配置:常時1名以上 中心商店街(マチグワー)情報の発信	【R4成果目標設定の考え方】 R2はコロナの影響を受けており、直近の実績による目標値の設定が難しいため、R1年度実績程度の回復を目標とし、同程度に設定。
1	15	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R13	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	・企画展の開催(年3回) ・チラシ及びポスターの作製(年3回) ・資料梱包運搬業務委託(年1回)	来館者数 9,735人 過去3年度 企画展1回あたり3,245人 ×3回=9,735人	【今後のスケジュール】 令和4年 沖縄本土復帰50周年に関する企画展の開催	【令和4年成果目標設定の考え方】 来館者数(H30+R1+R2) ÷ 開催回数(H30+R1+R2) = 29,213人 ÷ 9回 = 3,245人
1	16	早朝・夜間の活動時間創出支援事業	R4 ～ R6	新たな旅行スタイルに対応した早朝・夜間の活動時間創出に繋がる市内事業者等の連携した取り組みに対する支援により、観光客等の市内消費額の増加を目指す。	支援件数:4件	交付を受けた事業の継続実施割合 75%以上	【今後のスケジュール】 補助を受けた事業の継続実施状況を 確認しながら、支援の在り方を検討する。	
1	17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	18	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備) ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等の設置を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 (1-9プロ野球キャンプ等支援事業と同様)
1	19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入の実施	予防達成率を90%以上とする。	【今後のスケジュール】 今後も継続して事業を実施し景観資源の確保を図っていく必要がある。	【R4成果目標設定の考え方】 枯損木の目標値は過去の事業実績を基に、90%以上の予防を目標と設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、那覇空港から国際通り、新都心を経由し首里城公園に至る観光ルート沿線の公園を対象に、年間を通して草花苗の植え付けなどを行い、潤いのある都市空間づくりを行う。	・対象公園の情報収集及び上位関連計画の整理 ・事業範囲、事業手法、管理運営の検討 ・事業効果の評価方法の検討	魅力的な都市緑化景観を創出するため基本計画の策定	【今後のスケジュール】 R05年度にアンケート調査等を実施し、観光地として魅力的な公園景観であると感じるかと回答した割合を80%以上とする。	【R4成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R5	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備：道路整備工事（整備路線：(山下11号外2路線)）	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R5年度 整備工事：(山下南線外1路線)	【R4成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができた割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出するため、観光に資する路線の街路樹剪定及び除草、鏡原小祿線の植栽整備を行う。	・観光に資する路線の街路樹剪定約1,700本 ・観光に資する路線の除草約29,300㎡ ・鏡原小祿線の植栽整備約150㎡	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に道路美化(剪定・除草・植栽整備等)を行い観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【R4成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出をはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じている人の割合を指標に設定した。大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	24	なはICT産業振興ガイドライン策定事業	R4	新型コロナウイルス感染症拡大により、「withコロナ」に取り組む企業が増え、「リモートワーク」に代表されるようなニューノーマルを定着させている。ITは全産業のインフラとなっており、本市がICT産業振興ガイドライン策定し、明確な方針を示すことにより、情報通信産業への支援の充実、ひいては産業全体の活性化につながることを目的とする。	・なはICT産業振興ガイドラインを策定する。 ・IT創造館及びなは産業支援センターの運営方針の見直しについて提案する。	・なはICT産業振興ガイドラインを策定。 ・IT創造館及びなは産業支援センターの運営方針の見直し案作成	【今後のスケジュール】 本市が第5次総合計画に掲げる戦略的産業(観光産業、情報通信産業、物流)の集積の促進に加えて、域内産業との連携・補完により付加価値を創出し、域外収益を上げることで本市地域経済の好循環の実現により、域内企業の収益増が図られ、ひいては税収及び市民所得等の向上が期待できる。	【R4成果目標設定の考え方】 R4はガイドラインを作成することが目標となる。それに伴う企業誘致等の成果はR5年度以降になると考える。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	25	那覇市宮奥武山体育施設照明設備及びスコアボードLED化整備事業	R4 ~ R5	照明設備のLED化により、省エネ化による二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、スコアボードフルLED化により、イベント開催のための機能強化を行い利用者増を図る。	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化設計業務の実施	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化設計業務の完了	<p>令和4年度 設計業務 令和5年度 照明設備LED化整備 スコアボードフルLED化整備</p> <p>【令和6年度成果目標】 整備工事完了後1年目(令和6年度)の目標を以下のとおりとする。 ・二酸化炭素排出量削減効果 15t以上 ・利用者数 320,000人以上</p>	<p>【二酸化炭素排出量削減効果】 平成27年、28年、令和元年度に水銀灯照明設備を使用した時間から算出した各年のCO2排出量を参考値とし、照明設備をLED化した場合に過去の実績と同時間使用した際のCO2排出量と比較し削減効果を設定した。 【利用者数】 コロナ禍前の平成29年から令和元年度までの3年間の平均利用者数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数を設定した。 (参考)3年間の平均利用者数 315,911人</p>
1	26	那覇市スポーツコンベンション推進事業	R4 ~ R6	本県が振興計画において目指す「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けて、多くの人々を呼び込むスポーツコンベンションを推進するため、スポーツ交流拠点となる漫湖公園市民庭球場の機能強化を図る。 当該施設における観客施設の充実化、プレー環境の向上、照明設備LED化といった機能強化を図ることにより、スポーツコンベンション誘致施設としての魅力・利便性の向上と、生涯スポーツ活動拠点としての更なる施設利用の活性化を促進する。	機能強化に係る設計業務の実施	機能強化に係る設計業務の完了	<p>【今後のスケジュール】 R5: 工事実施(日除け・人工芝コート) R6: 工事実施(照明・フェンス)</p> <p>【R7成果目標】 工事完了後1年目(令和7年度)の目標を以下のとおりとする。 ・年間利用者数: 73,300人 ・県外からの合宿・大会開催件数: 2件</p>	<p>【R7成果目標設定の考え方】 コロナ禍前の平成27年度から令和元年度までの5年間の平均利用者数・平均県外大会等開催数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数と県外からの合宿・大会開催数を設定した。 (参考) 5年間の平均利用者数: 69,740人 5年間の平均県外大会等開催数: 1.4件</p>
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ~ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等開催: 1回 ・イベント等開催支援: 3回 ・水産教室等開催支援: 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持: 5,317円以上 ・PRイベント来場者37,525人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者: 107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁業組合等へ助成や企業及び組合等への業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	漁業者数 191名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3	水産物利活用調査事業	R4 ～ R5	漁業者の所得向上を図るため、魚類の付加価値向上のための加工方法等を調査し、得られた調査結果を広く漁業者へ周知する。	・他市町村での魚類の加工事例調査 ・那覇市近隣での加工施設の有無 ・加工品の販売先調査 ・事業採算性の調査	漁業者への活用事例の提供:3件	令和5年度については、現在利用されず廃棄となっているマグロの残渣について、活用可能性を調査する。	
2	4	泊漁港再整備事業	R4 ～ R5	水産物の地産地消や国内外観光客への水産物の提供を促進するため、本市にある唯一の漁港において実施される冷蔵施設及び直売所等の施設整備に対し、整備費用の一部を補助する。	施設整備費用への補助	砕氷機の設置完了	【今後のスケジュール】 R5年度に冷蔵施設及び直売所の供用を開始し、水産物の消費拡大を図る。 【令和5年成果目標】 泊漁港における水揚量3,600トン	【R5年度成果目標の考え方】 令和3年度的那覇地区漁業協同組合地方卸売市場における水揚量を成果目標と設定した。
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R13	販路開拓の前段となる商談会へ出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	・販路拡大支援:7件(県外5件、海外2件) ・セミナー開催:3回	・商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 ・セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上	【今後のスケジュール】 中小企業者支援の実施 【R4成果目標】 ・商談成約率:10%以上	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	なはし創業・就職サポートセンター	H24 ～ R13	創業・就業の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	・創業・就職相談実施。 ・創業・就職セミナー開催	相談窓口利用者1,800人 創業者5人以上 就職した人数の割合3.06%以上	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績と那覇市創業支援事業計画を勘案して設定した。
3	3	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(17件程度) 【通行量調査】 市内38地点で、歩行者通行量の調査を行う。	中心商店街の平日歩行者通行量106,000人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 例年過去2年間の伸び率の平均値を最新データ(R2年度)に乗じて目標値を設定しているが、前年度実績を下回る為、R1年度実績程度の回復を目標とし、同程度に設定。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R13	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動等を実施する。	・委託事業者の募集、プロポーザル審査、契約 ・意向調査、企業訪問等 ・現地視察ツアー・ビジネスマッチング交流会の実施	①誘致企業：3社 ②ビジネスマッチング参加企業：30社	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナーや企業の実情に合った経営課題解決のための専門家派遣を実施する。	①経営課題解決に資するセミナーを14回開催 ②専門家派遣を20社×5回(計100回実施)	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	【今後のスケジュール】 今後も、市内事業者を対象としたセミナーの実施、企業の実情にあった制度導入のための専門家派遣を実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 事業者へのアンケート調査等を実施し、セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	事業概要情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等(沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野)の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	(1) 経営課題に対する相談・指導。 (2) 施設に関するプロモーションや業界に関する最新情報の発信を目的として、ホームページ等や冊子による情報発信。 (3) 入居企業、創業期の企業、創業活動を行う個人等を対象に関連する業界の最新情報や技術に関する研修やセミナー等の開催。 (4) 地域の企業、学校、住民等、参加型のキャリア教育支援又はキャリアアップ支援に繋がるイベントの開催。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を目標とする。	【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。
3	7	企業立地促進事業	H28 ～ R13	那覇市内の雇用拡大と産業の振興を目的とし、一定数・一定期間以上、那覇市民の新規常時(常用)雇用を行い、市内に事業所等を設置した企業の申請に対し、事業内容・雇用や産業振興への効果等を総合的に検討し、助成金を交付する。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数：21名 ・新規企業立地社(申請者)：3社	・誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやIT創造館等、関係機関との連携	【R4成果目標設定の考え方】 過去3年分の新規常用雇用者数及び企業立地数の実績平均値を上回る数値を指標とする。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		R4成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
3	8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	・開発支援対象事業者数:5社以上 ・育成支援対象事業者数:2社以上 ・セミナー開催:3回	・新商品企画・開発・テストマーケティング実施。 ・セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発に役立った」旨の回答割合を80%以上。	【今後のスケジュール】 実施翌年度、商品の販売・売上計画を立て、販売等を行う。 【R4成果目標】 実施翌年度、各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の件数が、開発した商品等の全件数に占める割合80%以上	【R4成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。	
3	9	小中学生キャリア教育支援事業	R2 ～ R4	若年層の早期からの職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成を目的に、市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験等を実施する。	・職業人講話・お金の知識講座・ビジネス体感ゲーム 実施校2校 ・小中学校の職場体験40名以上	アンケート調査を実施し、職業観や就業意識が上昇した旨の回答割合80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 今後も、職業観の多様化に対応した、職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成に向け取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 事業の成果をもとにした今後の方針や見直しのために、アンケート調査を実施する。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
3	10	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座や体験講座の実施を通して、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。	・市内小学生向けプログラミング講座の実施。 ・市内中学生向けプログラミング体験講座の実施。 ・市内小学生向けプログラミングコンテストの開催。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。	
3	11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R4	市域の事業者が金融機関等と連携して策定した経営計画に基づき事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。	事業の転換や業態変更にかかる経費の一部を補助	補助実績45事業者以上	【今後のスケジュール】 落ち込んだ経済状況にある中の事業者の事業領域を広げることを支援する補助であることから、補助実績数そのものを目標設定とする。	【R4成果目標設定の考え方】 補助の性質を勘案して目標設定した。成果指標に加えて、事業実施後にアンケート等で満足度調査を行い、事業の貢献度について別途把握に努めたい。	
3	12	高度IT人材育成研修等補助事業	R4 ～ R13	本市における情報通信産業の発展を目的としているほか、高度IT人材育成を行うことにより、情報通信産業を含め、産業全体の所得向上に繋がることを目的としている。	研修等に係る費用の補助	10社以上へ補助を行う。	【今後のスケジュール】 申請金額や申請件数等をもとに、本事業のあり方について検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 1企業あたりの補助上限額をもとに設定した。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	14	那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R6	本市におけるMICE受入体制構築、誘致促進に繋がる取り組みを行う。	・那覇市MICE受入推進協議会(仮称)への20者程度の参画及び今後の取組の整理 ・ホームページ仕様設計の作成	・那覇市MICE受入推進協議会(仮称)にて、MICE受入推進上の課題・今後の取組の整理 ・ホームページ仕様設計の完了	【R6成果目標】 ・MICE開催件数(277件) 【今後のスケジュール】 R5: 実証モニター事業、HP構築・運用 R6: 誘致活動等の各種取組実施	【R6成果目標設定の考え方】 協議会で設定した取組に基づいたMICE誘致活動等を実施していくことで見込まれる効果を成果目標として設定した。
3	15	インキュベート施設機能強化事業	R4	本市のインキュベート施設の共用部分を入居企業が情報交換・交流の場として利用できるフリースペース等として改修する。	施設機能強化	施設機能強化のための整備終了	【今後のスケジュール】 R4年度末整備終了 R5年以降利用者等アンケート R6年度末の施設入居率90%以上	【R5成果目標設定の考え方】 本事業によって機能強化した施設の利用者の満足度を指標とする。
4	1	国際海上物流ネットワーク形成促進支援事業	R4 ～ R13	1. 外航船社を対象とした新規航路等可能性調査や実証実験の実施により、取扱貨物量の増加と外航航路の拡充を図る。 2. 荷主を対象とした新たな施策の調査検討や実証事業の実施により、片荷輸送の改善や輸出貨物量の増加による物流コストの低減を図る。 3. 国際競争力を高めるための効率化を図る施設及び設備工事に係る調査設計等に取り組む。	1. 補助金支援及びモニタリング調査(新規1船社、継続1船社) 2. 新たな施策の案作成、荷主に対する補助金支援及びモニタリング調査及び貨物増大への課題等を抽出し、自走化するための支援策を作成。 3. コンテナターミナル機能高度化などの施設建設に係る詳細な調査設計等を実施	1. 那覇港に寄港する外航航路の寄港地の増加(2寄港地増R4) 2-1. 経路転換貨物量R4約150TEU 2-2. 那覇港に寄港する外航航路の大型化等に伴う積載量の増加(R2約1.27万TEU/週→R4約1.3万TEU/週)	1. 1航路維持、1航路新規 2. 船舶の積載能力の増加 3. ターミナル取扱可能貨物量R6約2万TEU増加。	3. R6年度にRTG1レーン整備を予定。
5	1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5講座	健康ウォーキング大会 参加者 3,500人以上 満足度 90%(参加者アンケート) ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	【今後のスケジュール】 令和4年度 ○健康ウォーキング大会の開催 ○「健康フェア」との同時開催 開催数: i回/年 ウォーキング大会参加者数: 3,500人以上(参加者人数の定着化) ○ウォーキング講座の開催 開催数: 5講座(20回)/年 講座参加者数: 440人 (H26年度からの参加者平均値維持)	【R4成果目標設定の考え方】 参加者数については、これまでの大会の参加者数の平均が3,900人であること、新型コロナウイルス感染症の予防策として、3密を避けるため3,500人以上で設定した。講座については、日常的な運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	学力向上と学校教育環境の充実を図るために、市立小学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員配置:36人	①小学校算数(3年) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +1.2ポイント ②中学校数学(2年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +2.2ポイント	【今後の方針】 ・学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境を提供する。 ・引き続き学校教育に精通した退職教員を中心に人材確保に努める。 ・児童の習熟度に合わせ個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。	【R04成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査は、R02年度から小学校3学年が対象外となったため、小学校3学年の指標は、沖縄県学力定着状況調査の結果を利用する。沖縄県学力定着状況調査はR01年度から実施。中学校2学年については、沖縄県学力到達度調査結果を引き続き利用する。 正答率は、テストの難易度に影響されるため、県全体の正答率の平均との差を指標とする。
6	2	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	多様性や国際性を身に付け、英語で適切に対応できるコミュニケーション能力の育成を図るため、市立の小学校及び中学校に英語指導員を配置し、長期的な英語指導を行う。	各小中学校に英語指導員の指導員の配置。 小学校(外国人14人、日本人14人) 中学校(外国人10人)	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合80%以上(アンケート調査実施) ②中学校 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 ○中学校英語(2年): +3.6ポイント	【今後の方針】 英語指導員の活用に当たっては、話す・聞くといった言語活動を多く取り入れた英語指導を行う。英語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合う力の育成・向上を図る。	【R04成果目標設定の考え方】 R3年度以降は英語能力判定テストを受検しないため、同テストの結果を活用できない。 過去のデータがある沖縄県学力到達度調査結果を活用し指標設定する。
6	3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒へ、特別支援教育補助員の派遣や特別支援教育相談員の配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	・特別支援教育補助員配置:小中学校88人 ・学校の要請による特別支援教育相談員の派遣・教育相談・検査・面談等の実施	特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上) 対象児童生徒の保護者へアンケート実施	【今後の方針】 特別支援教育相談員や特別支援教育補助員を配置し、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。	【R04成果目標の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	4	特別支援教育充実事業 (認定こども園)	H24 ～ R13	本市の公立こども園において、特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、こども園での教育活動上における困難の改善を図る。	特別な支援を要する園児の生活面や安全面の援助を行うとともに、特別支援担当教諭(主任ヘルパー)による個別支援計画の作成、関係機関との連携等、個々に応じたきめ細やかな教育を実施することにより、インクルーシブル教育を拡充する。 ○特別支援担当教諭(主任ヘルパー)を各園に1人配置するとともに、支援ヘルパーを支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する。 (配置目途数) 6Hヘルパー:41人 4Hヘルパー:34人 ○対象園児の保護者やヘルパー、学級担任等の相談依頼に応じて、臨床心理士等による巡回相談を行う。 (派遣目途数) 16園×2回	特別支援教育ヘルパー対応への満足度 (80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	5	不登校対策等支援事業	H24 ～ R13	遊び・非行傾向の不登校や長期欠席の不登校等で、学校外での指導や相談を必要とする児童・生徒に対し、日中の居場所(学習支援室・自立支援教室)を確保する。	①通級支援:20名/年 ②一時支援:25名/年 ③集中支援:3名/年 ④学校支援:5名/年 ⑤適応指導:5～10名/年	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	遊び・非行傾向や長期欠席等の不登校で、学校外での指導や相談を必要とする児童・生徒に対し、日中の居場所(学習支援・自立支援教室)を確保して支援する専任の支援員を配置し、学校や社会への適応の促進及び将来の社会的自立につなげる。	・心理的・情緒的不安が要因で不登校等の児童生徒を対象とする自立支援教室 ・遊び・非行傾向の不登校児童生徒への自立支援教室 ・不登校児童生徒への学習支援教室 ・心理士及び教育相談員を配置し電話相談・来所相談対応
6	6	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R13	教育相談支援員及び生徒サポーターを市内53全小中学校へ配置し、不登校又は不登校傾向のある児童・生徒とその保護者への支援を行う。	①相談支援件数1,100件 ②相談支援回数24,000回 ※参考<令和元年度> ①相談支援件数1,143件(小学887件、中学256件) ②相談支援回数24,483回(小学15,449回、中学9,034回)	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	登校や登校復帰を支援する教育相談支援員や生徒サポーターを学校に配置して学校内の支援体制を充実・強化することで、不登校の深刻化や長期化の防止につなげる。	【令和3年5月1日現在】 市立小学校数36、在籍児童数19,272名 市立中学校数17、在籍生徒数8,650名
6	7	青少年旗頭事業	H24 ～ R13	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・児童生徒へ旗頭演舞の指導を実施 ・旗頭の制作及び修繕 ・児童生徒の成果発表の場として「やる気・元気旗頭フェスタinなは」の開催	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒数:932人	【今後のスケジュール】 今後も、児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、「やる気・元気旗頭フェスタinなは」を開催する。	【R4成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均の1.05倍で設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	8	街頭指導(がいとうPolaris)事業	R4 ~ R13	①街頭指導員による街頭指導 ②関係者を対象とした研修会の開催	①街頭指導員による街頭指導:日中2回/日、夜間1回/月 ②街頭指導員による特別街頭指導:10回/年 ③那覇市青少年指導員連絡会への支援:研修会4回/年	①街頭指導件数2,000件/年 ②深夜徘徊補導人数780人/年 ③不良行為補導人数1,500人/年	専任指導員を配置し、日中の街頭巡回、夜間街頭巡回、祭り会場における特別街頭指導を行うほか、那覇市青少年指導員連絡会への支援(研修会開催等)を行い、青少年の非行や深夜徘徊の未然防止につなげる。	街頭指導—平日2回(午前2h・午後2h) 夜間街頭指導—月1回(第1金) 特別街頭指導—一年10回(3大祭り7日、中体連1日、地区陸上1日、卒業式1日)
6	9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ~ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、沖縄の振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する支援を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ~ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	○航空運賃実費の1/2若しくは全額補助 ○H27~H30年度 実績(平均) 補助人数 398人 航空運賃往復1人あたり37,243円の半額若しくは全額を補助。	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(90%以上)派遣後に保護者へのアンケート実施	【今後の方針】 引き続き派遣費の補助を行い、保護者へのアンケート調査を実施する。結果を踏まえながら事業の在り方を検討する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ○6-9 児童のスポーツ県外派遣補助金との違い 6-9は、学校外で活動するスポーツ少年団などを対象とし、本件事業は学校教育の一環で行なわれる部活動を対象としている。
6	11	自然教室実施事業	H24 ~ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数:小学校:36校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 90%以上	【今後の方針】 自然教室を継続して実施する。アンケートを実施し、児童の社会性が向上したという回答数が90%以上を維持する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	12	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ~ R10	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	・校舎等外壁の塗装:小学校2校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	【今後のスケジュール】 令和10年度までに計画していた小中学校校舎等外壁面の塗装対応を完了し、令和10年度以降は、事業の効果(劣化の抑制状況)の確認のため、完了した校舎等の点検を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認するため、学校長及び教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂等生じないこと(0件)を成果目標とした。 ※過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	13	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R8	就学前の発達の気になる乳幼児を早期に把握し、親子教室や発達相談等を実施することにより保護者の不安を軽減するとともに発達の気づきを促し必要な支援を行う。	・1歳6か月児、3歳児健診会場での保育観察の実施(年間87回) ・発達相談の実施(28回) ・親子教室の実施(24回) ・育児教室等の実施(12回) ・発達支援連携会議の実施(1回)	・アンケート調査により発達相談及び親子教室後の保護者等の満足度(80%以上)	【今後のスケジュール】アンケート調査及び活動内容から事業内容を検証し、必要に応じ改善しながら令和8年度まで継続実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 ・概ね肯定的であるという数値として満足度を80%とした。
6	15	児童館施設整備事業	R4	LED電球への切り替えがない9児童館と遊戯室に冷房機が設置されていない6児童館をそれぞれ整備する。	未整備児童館の解消	那覇市の全児童館にが、LED電球へ切り替え、遊戯室への冷房機設置を完了する。	【今後のスケジュール】LEDへの切り替え及び冷房機設置について、年度内に本事業を100%実施して児童館の格差をなくす必要がある。	【R4成果目標設定の考え方】 LEDへの切り替え及び冷房機設置について、年度内に本事業を100%実施して児童館の格差をなくす必要がある。
6	16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R9	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより保育士を確保し、待機児童を解消することを目的として、待機児童の多い1歳クラスについて、国の配置基準を超えて配置とするために必要な常勤保育士1人分の人件費を施設へ補助する。	1歳クラスの職員配置について、国基準を超えて配置した園に対する補助件数:20園	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率:13.0%	【今後のスケジュール】1歳クラスの職員を国基準を超えて配置した園に対する補助を継続することにより、保育士の離職率の上昇を抑える。	【R4成果目標設定の考え方】 那覇市内私立認可保育施設等のR3年度の離職率をR4年4月に調査した結果13.4%であった。 5年後に全園の平均離職率に近づくよう毎年0.4%の改善を目標に、R4年度の目標値を設定した。
6	17	ICT支援員配置事業	R4 ～ R8	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようにサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	・ICT支援員の配置数:3人	(1)アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする (2)改善提案件数 ・各種業務履行上の改善提案件数は月に1件以上とする	【今後のスケジュール】今後も継続的にICT支援員の派遣を行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 ・75%の設定については対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。 ・各学校における課題解決のため月1件以上の改善提案を受託者に求める。
6	18	学校用地土壌調査等実施事業(旧米軍施設関連)	R4 ～ R5	米軍駐留軍の燃料タンク跡地に立地する学校施設の改築に際し、土壌汚染防止法に基づく土壌汚染状況調査を行う。	①土壌汚染概況調査(表層調査) ②土壌汚染詳細調査(深層調査) ※②は①で土壌汚染が確認された場合に行う。	①土壌汚染概況調査を土地の形質変更を行う約4,500㎡に対し実施する。 ②土壌汚染詳細調査については、①の結果を基に土壌汚染対策法に規定される指定調査機関が立案する調査計画の下、必要数量を全箇所調査する。	【今後の方針】土壌汚染状況調査により、汚染が確認された場合、土壌汚染対策法に基づき、汚染除去等の対策を講ずる。	【成果目標設定の考え方】 土壌汚染対策法に基づき、土地の形質変更を行う約4,500㎡に対し①表層調査を行い、汚染が確認された場合、該当箇所の中土壌について②深層調査を行う。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	19	森の家みんな施設機能強化事業	R4	大研修室及びちゅう房に冷房機を設置し、施設の機能強化を図る。	冷房機設置に向けた契約	冷房機の設置完了	【今後のスケジュール】 安全・安心な学習環境において、多様な学びを提供し、施設利用者の拡充を図り、個性豊かな人材の育成につなげる。	【R4成果目標の考え方】 設置事業のため、設置完了を目標設定とした。完了後は、利用者アンケートにおいて、満足度等を測定していく。
6	20	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R9	市内各所に点在する公共施設を現在供用休止中の市民会館敷地に移転・統合し、民間活力も活用しながら、共生・多様性社会の形成に資する複合施設として整備を行う。	雨水排水管移設計画の策定	雨水排水管移設計画の策定完了	【成果目標】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%(対前年増加率を7.5%増)を目指す。 (R3年度市民意識調査:市民の地域コミュニティ参加率22%) 【今後のスケジュール】 R4～5年度:事業者公募 R5～6年度:現市民会館の解体 基本設計・実施設計 R7～9年度:工事	【成果目標設定の考え方】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%を目標として設定した。
7	1	なは青年祭補助事業	H29 ～ R13	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	「なは青年祭」の開催に係る事業費の補助	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数:21団体 ・演舞者数:280人	【今後のスケジュール】 今後も、青年達の交流の場の創出とともに、伝統芸能の保存継承に繋がるよう、「なは青年祭」の開催を支援する。	【R4成果目標設定の考え方】 R3年度の目標を据え置いた。
7	2	文化芸術拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館展示室環境整備)	R4 ～ R5	音声・映像等を活用した解説環境を整備することにより、壺屋焼物博物館の常設展示の多言語化及びユニバーサルデザイン環境を推進し、もってポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強化する。	R4年度は映像解説・映像シアターを制作する。	映像解説・映像シアター制作の完了	【R5年度成果目標】 映像解説・映像シアターの満足度(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業の成果について検証する。 【今後のスケジュール】 R4 映像解説・映像シアターの制作 R5 音声ガイドの製作	【R5年度成果目標設定の考え方】 利用者のうち大多数への発信が強化されたかを図る値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存、伝承、普及、後継者育成などに関わる事業に対し補助金を交付する。	本市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存、伝承、普及、後継者育成などに関わる事業に対し補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	【今後のスケジュール】 本市の民俗芸能を保存継承するため、継続的に支援を実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 民俗芸能を保存継承するため、現状を維持することとし、民俗芸能団体数を指標として設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」の開催に係る事業費の補助	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数：730人	【今後のスケジュール】 今後も、文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	1	ボランティア振興事業	H27 ～ R13	高齢化社会に備え、ボランティアの活性化を図り、インフォーマルな支援の担い手を養成する。	①那覇市社協へボランティアコーディネータを配置 ②ボランティア養成講座開催 ③児童生徒の福祉施設や地域における福祉体験活動の支援	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員1名配置	①ボランティア登録者数(新規)150人 ②ボランティアのマッチング件数250件
8	2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決に資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置：1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱え、困っている人が気軽に相談でき、早期に支援が受けられるよう相談窓口の体制を継続的に強化する。	【R4成果目標設定の考え方】 生活課題を抱えた相談者が相談したことにより課題の解決に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の準要保護世帯及び児童扶養手当受給世帯の小学校4～6年生の児童に対し、小学校の学習指導要領に示された各教科のうち、国語、算数、理科、社会及び英語を学ぶ教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。	市内の低所得世帯の小学校4～6年生の児童に対し、教育サービスを受けるための費用の一部を支援する(700人分)	支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	【今後の成果目標】 支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 令和2～3年度に行ったモデル事業において、支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、その結果から目標値を設定した。
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R13	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、各種研修を通してや沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	・海外の那覇市民会から研修生の受入：2名 ・沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 南米各国の那覇市民会等において、那覇市との懸け橋となる人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定している。
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R13	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定：8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣。 ・長崎県より中学生30名が来沖し、本市中学生30名と合同で平和学習(南部戦跡巡り等)を行う。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9	3	沖縄戦体験者証言記録映像制作事業	R4	戦争体験者の高齢化も進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。	<ul style="list-style-type: none"> 証言者の選定:2名 業者の選定(入札等を経て委託) 映像制作 	体験者(2名)映像制作の完了	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校へ配布し、平和学習において活用してもらい、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していく。 市ホームページへ動画を掲載し、市民の平和意識の啓発につなげる。 	
11	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R9	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 定期救命講習会の実施:28回(①普通救命講習Ⅰ/12回、②普通救命講習Ⅲ/8回、③上級救命講習/4回、④普及員講習/4回) 出前救命講習会の実施:120回 応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動:10回 消防署見学における救命講習(入門コース):40回 オンライン講習会:12回 	<ul style="list-style-type: none"> ①応急手当講習受講者数:6,000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 	<p>【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。また、感染状況下での普及啓発の取り組み方についても検討・考案し、市民のニーズに応えられるよう実施する。</p>	<p>【R4年度成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①過去の実績を勘案して設定。 ②受講者のうち大多数が緊急時に応急手当を実施できると考えられる値として設定した。また、講習会実施後のアンケートにより検証する。 ③感染状況下での普及啓発の取り組み方について検討する。
11	2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会等)に対して補助金を交付する。(取組) <ul style="list-style-type: none"> 補助上限額 50,000円/1灯 補助率 10割 対象台数 200灯 	保安灯をLEDへ切り替えを行う自治会等に対して補助金を交付し、保安灯200灯をLEDへ切り替える。	二酸化炭素排出量の削減 19,160kg-CO2以上/年 削減	<p>【今後のスケジュール】 自治会等が管理する保安灯をLEDへの切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 保安灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。</p>
11	3	大規模火災等対応資機材整備事業	R4	首里城火災等に代表されるような異常な高温を伴う大規模火災や中心市街地等の密集地域における消防活動困難地域において、県民及び観光客の身体を火災等の外的危険から早期救出し、保護することを目的として資機材の整備を行う。	<ol style="list-style-type: none"> 資機材入札・契約・検品 資機材管理指針及びマニュアル等運用計画の策定 	<ol style="list-style-type: none"> 資機材の適正配備 資機材管理指針及びマニュアル等運用計画の策定完了 	<p>【令和4年成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 延焼防止水幕防御システムを当市消防局各署所に配備 熱画像直視装置を消防隊及び救助隊の隊員に配備。 空気ボンベ充填用コンプレッサーを神原分署に配備。 <p>【今後のスケジュール】 R5年度 資機材取扱い訓練・運用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 令和元年10月31日に発生した、首里城火災の消防活動及び当市消防局が定めている消防活動困難地域消防計画を参考に配備を計画した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	H24 ～ R13	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業祭り」の開催を支援し、観光産業の振興を図る。	「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」「産業祭り」の実行委員会へ負担金及び補助金を支出しを開催運営を支援する。	・琉球海炎祭・・・来場者数1.5万人 (うち県外8千人、海外2千人) ・はごろも祭り・・・来場者数16.8万人 ・産業祭り・・・来場者数2.8万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数についてコロナ禍以前のH30年度実績とほぼ同等水準を目標とする。H30年度279,874人→目標:280,000人	今後も観光産業の振興を図るため、「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業祭り」が継続して開催ができるように支援を行っていく。	・イベント開催ができた過去3年間の実績をベースに来場者の約5%増を成果目標とする。 ・宿泊施設の宿泊者数はコロナ禍以前の水準を目標として設定した。
1	②	企画展開催事業	H24 ～ R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、市制60周年に関連する内容を中心に企画展を開催する。	企画展を開催:2本	企画展1本あたりの平均入館者数:1,470人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上の企画展を開催する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 ※コロナの影響を考えて令和元年度ベース。
1	③	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R13	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信することにより、キャンプ期間中の観光誘客を図る。	1万鉢の花の植樹	来場者の満足度80%以上を目標とする。	今後も美ら島沖縄、宜野湾を全国へPRし、観光産業の振興を推進するため、グリーンコミュニティ事業を継続して支援する。	令和3年度プロ野球キャンプは、観客を制限しながらの実施となったため、アンケート調査の回答数も25件にとどまった。
1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R10	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(駐車場・照明灯整備)、及び市立グラウンド機能拡張実施設計の実施	再編整備工事(駐車場・照明灯整備)、及び市立グラウンド機能拡張実施設計の完了	【R11成果目標】 施設利用者数 655,000人 【今後のスケジュール】 R4:再編整備工事	【R11成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定。 ※コロナの状況を考慮しH29～R1年度の平均で設定
1	⑤	嘉数高台公園等施設整備事業	H30 ～ R5	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事工事(3期)(東屋)の実施	再編整備工事工事(3期)、(東屋)の完了	【R6成果目標】 戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4:再編整備工事(3期)	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H27 ～ R4	野球場施設の機能拡張整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保する。	市立野球場散水設備機能拡張設計及び工事の実施	市立野球場散水設備機能拡張工事了完了	【R5成果目標】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 3件	【R5成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	⑦	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ～ R13	・市観光振興協会を中心としたダイビング、マリン事業者等の組織体である「ぎのわんマリン協会」へ補助金を支出し、活動を支援する。 ・サンゴの植樹、清掃活動を当して海の環境を保全しながら、観光コンテンツの開発、観光プロモーションを行う。	ぎのわんマリン協会の支援	・体験ダイビング:200人	・サンゴの植樹、清掃活動を継続して実施する。 ・本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立する。 ・体験ダイビングにおける観光客の誘客を図る。 ・マリン協会として自主財源を獲得できる取組みを実施する。	・令和3年度にマリン協会を設立。マリン協会のHPを立ち上げ、サンゴの植樹や海中清掃活動等を実施。 ・令和4年度はこのようなSDGS活動に賛同できる企業を募り、自主財源の獲得に努める。
2	①	スクールソーシャルワーク活用事業	H24 ～ R13	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	小学校9校・中学校4校に各1名の計13名の学校配置とセンター内にコーディネーター4名及びアドバイザー1名を配置、学校と連携し寄り添い支援や関係機関につなぐ支援活動を実施	日頃、スクールソーシャルワーカーと関わりのある児童生徒の保護者や、活用する学校側から、スクールソーシャルワーカーの有効性を聞き取ることによって検証し、保護者・学校とも多数が満足していると考えられる数値を指標とする。 (指標)SSWIは希望に沿った支援を行えたか？ →とても満足・まあまあ満足合わせて80%以上	【今後のスケジュール】 不登校支援の方針として、必ずしも学校復帰だけが前提となっていないため、これまでの学校への復帰に比重を置いた目標では、現状にそぐわなくなっているため。	「不登校児童生徒への支援の在り方について」(通知)令和元年10月25日元文科初第698号
2	②	適応指導教室事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒の適応指導に関する調査研究、相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室支援児童生徒数:8名	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:10%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をおおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	臨床心理士2名と青少年教育相談指導員3名を配置 教育相談等を実施	日頃、来所相談等を通して関わりのある児童生徒の保護者や、活用する学校側から、相談事業の有効性を聞き取ることによって検証し、保護者・学校とも多数が満足していると考えられる数値を指標とする。 (指標)臨床心理士・青少年教育相談指導員は希望に沿った支援を行えたか？ →とても満足・まあまあ満足合わせて80%以上	【今後のスケジュール】 不登校支援の方針として、必ずしも学校復帰だけが前提となっていないため、これまでの学校への復帰に比重を置いた目標では、現状にそぐわなくなっているため。	「不登校児童生徒への支援の在り方について」(通知)令和元年10月25日元文科初第698号
2	④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R13	青少年の健全育成に寄与するため、街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施し、関係機関や地域と連携し青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	4中校区から各4名の街頭指導員を計16名委嘱し、4グループを編成 4名1グループが週3回(平日21時～23時)(金・土曜日21時半～23時半)の公園を中心に巡回し夜間街頭指導等を実施	・年間の街頭指導実績回数が、前年度実績の12%減(過去の実績を参考)	【今後のスケジュール】 コロナ感染症の推移に注意しながら、引き続き青少年の深夜はいかい等の未然防止・早期発見のため、継続して取り組む。	類似の教員を含めたボランティアによる夜間街頭指導事業が、昨今の働き方改革により縮小する傾向があるため、より一層、本事業への重要度が増している。
2	⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数：+2.0ポイント以上 ・中学校 数学：-6ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の児童生徒との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数：14団体 (スポーツ活動団体：12団体、文化活動団体：2団体)	児童生徒の視野が広がる。 ⇒対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」：80%以上	【今後のスケジュール】 R1・R2のアンケート結果は、「視野が広がったと思う」が80%を超えていたため、大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる。 今後はこの数値を維持するため、継続して支援を実施する。	【R4成果目標の考え方】 アンケート結果「視野が広がったと思う」80%は、大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R13	宜野湾市に在住する児童生徒でスポーツ少年団に加盟登録している団体又は個人が、沖縄県を代表して、県外又は県内離島の大会に派遣される場合に要する経費に対し、補助金を交付する。 【補助対象経費】 県外に派遣される際の航空運賃 ※市交付要綱に基づき交付する航空運賃補助額の1/2相当額	県外へ派遣される団体等への支援を実施 支援人数:86人(見込)	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	【今後のスケジュール】 R2のアンケート結果は、「視野が広がったと思う」が80%を超え、県外へあ研された大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる。 今後はこの数値を維持するため、継続して支援を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。
2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における、特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:10人、小学校46人、中学校16人配置)	成果目標としては、対象児童等を普段から見守る立場である保護者と支援員を活用する学校側から支援員配置の有効性をききとることによって、検証できるものとし、学校、保護者とも多数が満足していると考えられる数値として「95%以上」と設定した。	今後も宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R13	市立博物館所蔵の写真資料を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、写真資料や公文書等を順次公開する。	・デジタル化済み写真データの情報入力。 ・情報入力が進んだ写真データの公開。 ・公開基準に基づいた歴史公文書の公開。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上とする。	【今後のスケジュール】 写真整理の整理を行い、システム上に写真データを公開する。また、歴史公文書についても並行して整理を行い、順次公開をすすめていく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	【平和大使育成事業】 戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するため、市立中学生8名と青年層1名を平和大使に認定し、県内研修を行う。 【平和祈念事業】 また、沖縄戦から76年余が経過する中で、改めて戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを市民に啓発するため、平和大使を活用したイベントを実施する。	【平和大使育成事業】 県内研修及び県外研修に派遣する人数 ・市内中学生:8名、市内青年層:1名 ・フォローアップ研修:1回 【平和祈念事業】 平和大使を活用した啓発イベント実施回 ・5回	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上	市立中学生8名及び市内青年層1名に平和大使に認定証を交付し、県内研修及び県外研修に派遣する。派遣後は、平和大使として市が実施する平和に関する事業に積極的に関わっていただき、市民に戦争の悲惨さや平和の大切さを啓発していただく。また、その為のフォローアップ研修も行っていく。	【R3成果目標設定の考え方】 啓発事業のため、どのように感じたのかだけでなく、アウトプットについてもアンケート項目に入れ、本事業の効果的な在り方について検証を行う。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	②	英語教育推進事業	R4 ～ R13	小学校に「英語科」を新設し、小学校1年生から英語教育を行う。効果的・継続的な指導を充実させるため、市内小学校9校へ英語指導助手(ALT)を2名ずつ派遣し、英語によるコミュニケーション能力の基礎を養う。中学校の英語教育においても、より効果的・継続的な指導を充実させるため、市内中学校4校へ英語指導助手(ALT)を1名ずつ派遣し、英語によるコミュニケーション能力を養う。	小学校1年生から英語教育を継続して実施し、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指す。英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め、学力の向上を図る。 中学校では、小中連携した英語教育を行うことで、効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要となる外国人との英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	①「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%(形成テストより)生徒(中学3年生)の割合60%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)90点以上 ③児童英検の正答率(小学6年生)85点以上	【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	③	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R13	ICT支援員2名を配置し、児童生徒がICTを活用することで興味、関心を高めるなどの教育効果を図ることができる授業の支援、教職員向けの校内研修(ICT活用研修)の実施、ICT機器の障害対応を行う。	ICT支援員2名配置 情報夏期講習会13回	①教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	④	ICT機器活用推進事業	H31 ～ R4	児童生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、小中学校に電子黒板等を整備する。	電子黒板、書画カメラの整備	①教員にアンケート調査を実施し、授業に電子黒板を活用して指導できる割合:80%以上 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板の活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 教員を対象にした研修会を実施し、電子黒板を活用した情報教育授業を推進する。	【R4成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、教員にアンケート調査を実施し、授業にICT機器とデジタル教科書を活用して指導できる率を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、児童にアンケート調査を実施し、ICT機器とデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童の割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	⑤		中学生語学研修派遣事業	H31 ～ R13	市内在住中学生10名を国内語学学習研修へ派遣	語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。 また、国の外交の中核となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。	語学学習研修生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を95%以上	【今後のスケジュール】 今後は海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	①		市民防災事業	H27 ～ R13	本事業は宜野湾市地域防災計画に基づき、災害に強いまちづくりの推進により、災害時の食料及び飲料水を確保し、適切な被災者支援を行う。	①保存食及び保存水の備蓄 ・R4年度備蓄食糧購入5,500食 ・R4年度保存水購入(500ml)1,104本	①保存食及び保存水の備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率11% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「80%以上」と設定。	引き続き、宜野湾市地域防災計画に基づき設定した必要な保存食・保存水を備蓄し災害に強いまちづくりを推進する。また、これまでに整備した資機材を活用した防災訓練を年2回以上は実施することを目標とする。	【R4成果目標設定の考え方】 宜野湾市防災計画に基づき設定した。
5	②		沖縄観光防災力強化支援事業	R4 ～ R13	沖縄県は、大規模災害時には島しょ県であるため、観光客が観光地に足止めされ、観光避難民になることが予想される。また、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対処を万全にする必要がある。沖縄の観光振興の視点からする備え観光避難民に対する防災対応を包括的に支援することにより、安心・安全な災害に強いまちづくりを推進する。	・食糧・主食(2,450食) ・食糧・副食(2,450食) ・保存水(2,545L) ・経口飲料(1,000袋) ・防災備蓄資機材倉庫(1基) ・仮設照明機(56基)	観光避難民向けの備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率100% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「80%以上」と設定。	引き続き、宜野湾市地域防災計画に基づき設定した必要な保存食・保存水を備蓄し災害に強いまちづくりを推進する。また、これまでに整備した資機材を活用した防災訓練を年2回以上は実施することを目標とする。	【R4成果目標設定の考え方】 宜野湾市防災計画に基づき設定した。
6	①		普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者数:80人	【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びNBミーティングの活動を支援する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討及び市民・県民・地権者との合意形成、情報発信等を実施する。	「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」作成	「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	(後年度の成果目標) 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
7		地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校で職業体験プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の開催(2回) ・市内小中学校全校での職業体験プログラムの実施 ・中学生の職場体験事業所の開拓 ・高校との連携模索、保護者向けキャリア教育講演会の拡大	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連携協議会の活性化を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8		市民会館機能強化事業	H30 ～ R6	建設から38年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図る。	①空調設備改修【設計】 ②中央監視盤改修【設計】 ③防災盤改修【設計】	【今後のスケジュール】 R5 ①空調設備改修【工事】 ②中央監視盤改修【工事】 ③防災盤改修【工事】	【施設利用者数】 施設利用者数: 52,755人 H30の利用者実績 ※開館期間もコロナの影響で利用が減少した。 R2利用者数318人(3ヶ月開館)3件 R3利用者数4108人(7ヶ月開館)20件 利用者数の目標はH30で設定。 (公演回数) 施設の強化による利便性の向上により、イベント回数の増加が見込まれるため、後年度に公演回数等の数値を成果目標として設定する。 R4年度目標公演数: 70回 H30の利用実績で設定。 R2(3件) R3(20件) ※コロナ禍が継続の場合は目標値に届かないことも想定される。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		宜野湾市基地返還跡地 転用推進基金事業	H24 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、土地の先行取得に取り組む。	・基金の積立	<p>特定事業の用に供する土地取得目標 15,000㎡(達成率約74%)</p> <p>※達成率:先行取得目標面積(30,400㎡)に対する累積取得面積の割合</p> <p>※新たな特定事業の見通し30,400㎡(減歩勘案面積の変更+児童センター面積+幼稚園面積)を、現行(学校用地)の残面積22,313.11㎡に加えて、土地取得を行う。</p> <p>※全体としては、R4～R13の10年間で15～20haの土地取得を計画しており、R4は5,000㎡/年で設定。</p>	<p>【今後のスケジュール】 返還後の跡地利用の推進を図るべく、令和13年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、観光誘客イベントへの支援を行う。	(観光誘客) ・クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置 ・石垣島天文台内の「星空学びの部屋」で案内業務等を実施 ・南の島の星まつりへの補助 ・とびら一ま大会への補助 (観光客の利便性向上) ・空港にて観光案内サービスを実施	(観光誘客) ・クルーズ船での来訪客数:360,583人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:9,000人以上 ・とびら一ま大会への来場者数:3,000人以上 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する	【今後のスケジュール】 『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 観光需要のV字回復を目指し、過去の実績を勘案して設定した。
1	②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R13	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・スポーツ合宿の誘致活動 プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備業務	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数 28,000人以上	【今後のスケジュール】 運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R6	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、中央運動公園のリニューアル整備を行う。	・陸上競技場再整備基本設計の実施	・陸上競技場再整備基本設計の完了	【R14成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用した団体等が主催するスポーツ大会等の開催数6回以上/年間 【今後のスケジュール】 公園全体の再整備に向けた基礎資料を整理(基本設計等)し、各施設の再整備を行っていく。	【R14成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	クルーズターミナル整備事業	R4 ～ R5	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。	・クルーズターミナル整備工事(1工区)の実施	・クルーズターミナル整備工事(1工区)の完了	【R6成果目標】 クルーズ船の年間寄港回数 343回以上/年 【今後のスケジュール】 クルーズ船寄港回数の増加する施策を継続して行う。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童ゼロの維持に必要な保育士の確保を図るため、島内外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・潜在保育士の再就職の支援 ・保育士養成校への支援 ・保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加	・待機児童数:0名	【今後のスケジュール】 待機児童ゼロの維持に必要な保育士を確保する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせ合わせて実施する。	・年間支援対象世帯数:4世帯	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R13	石垣産の牛肉などの海外輸出、販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動を行う。	・関税空港活性化運用業務 石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築(保税蔵置場の設置・運営、利活用促進) ・販路開拓業務 需要調査、特産品の営業活動	・牛肉の輸出額:1,200千円以上/一頭当たり	【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	・優良母牛導入補助の実施 ・優良肥育素牛への補助実施 ・海外輸出適合施設整備の支援 ・殺虫剤購入費補助の実施 ・靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル) ・高齢繁殖母牛早期淘汰の補助実施	①素牛の年間出荷頭数:7,191頭以上 ②素牛の平均販売額:700千円以上/頭 ③肥育牛の年間出荷頭数:871頭以上 ④肥育牛の年間売上高:995百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	水産振興事業	H24 ～ R13	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・養殖魚類種苗の輸送費支援 ・冷凍餌の輸送費支援	・養殖魚類種苗の輸送費支援完了 ・鯖漁等の水揚げ量:610トン	【R6成果目標】 養殖魚類水揚量:5,295尾以上 【今後のスケジュール】 養殖魚類生産量の増加に資する支援を継続して行う。	【R6成果目標設定の考え方】 種苗購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考		
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		R4成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
5	①		安全・安心な離島消防 力強化事業	R4	離島の石垣島において 大型クルーズ船等における大規模災害発生時に、初期の消防対応等を迅速かつ円滑に実施する体制を整備する。	・はしご付き消防ポンプ自動車の整備	・はしご付き消防ポンプ自動車の整備完了	【R5成果目標】 ・はしご付き消防ポンプ自動車を活用した消防合同訓練等(年12回以上)を実施する中で、整備前よりも救助活動等が迅速かつ円滑になったかを含め、消防や関係機関と協議して本事業のあり方について検証する。	【R6成果目標設定の考え方】 本事業の成果については、大規模災害時の救助活動が効果的に行われることであるが、実際に災害などの緊急事態が発生しない状況においては、災害時等の救助活動に直結すると考えられる整備状況について代替指標として設定した。	
6	①		児童・生徒派遣費助成 事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・県内外大会等派遣児童生徒支援	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 児童・生徒が島外の人との競争や交流の機会を持てるような支援を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が島内ではできない経験をする事ができたと考えられる値として設定した。	
6	②		平和推進事業	H24 ～ R13	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 ・広島・長崎への平和大使派遣 ・慰霊祭、平和フォーラム等の開催	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740名以上	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。	
6	③		石垣市発達支援システム 事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、心理専門職による発達相談等を実施する。	・心理専門職による発達に係る各種相談の実施	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	【今後のスケジュール】 ・発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制の構築するとともに、支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合は、過去の実績を勘案して設定した。 育児・発達等に対する不安が軽減されたかについては、相談・支援を受けた児童生徒の保護者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	④	児童生徒の自律支援事業	H24 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	・子ども自律サポーターの配置:32名	・自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上	【今後のスケジュール】 きめ細やかな自律を促進する支援により、自己肯定感の向上及び自律的学習習慣の定着を図る取組を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒の自己肯定感の高まりや自立的学习習慣の定着が進んでいると考えられる数値として設定した。
6	⑤	外国語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・外国語学習支援員の配置:5名	・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。
6	⑥	情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・学校ICT支援員の配置:2名 ・教職員研修会の実施(定期研修会7回/年)	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	⑦	専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催	・小学校での教員採用試験合格者数:7人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:8人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	⑨	スポーツ教室・交流事業	R1 ～ R13	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	・トップアスリートによるスポーツ教室の実施 ・県外市町村とのスポーツ交流の実施	・スポーツ教室等を通じて幼児、児童がこれからもスポーツを継続したい(80%以上)を含め、参加した幼児、児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 市民のスポーツへの興味を促進する。また、児童生徒の視野を広げるため、県外の同世代の児童生徒との交流を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、これからもスポーツを継続したい、または視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	⑩	石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R13	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮の小学生中学生と相互教育交流を実施する。	・台湾蘇澳鎮との教育交流(受入・派遣)	・異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための教育交流を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 参加児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	⑪	不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターの配置:6名 ・学校生活支援、復学支援の実施	・不登校率の減少:0.3%以上	【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	⑫	子ども若者総合相談支援事業	R1 ～ R13	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・ユースアドバイザーの配置:8名 ・相談窓口の設置 ・相談・支援業務の実施	・本事業で支援を受けた者の数:47名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:46%以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、ユースアドバイザーの配置を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	ひとり親世帯等放課後児童クラブ費支援事業	R4 ～ R13	放課後児童クラブがひとり親世帯の利用者に対し保育料を減免した場合に補助を行う。沖縄県の利用料減免事業の市負担分(1/4)を市の一括交付金にて賄う。	沖縄県の利用料減免事業の市負担分(1/4)を市の一括交付金事業にて賄う。	ひとり親世帯への放課後児童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	今後もひとり親世帯等の経済的負担の軽減化と就労支援を図る。		
2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力向上及び、地域の歴史文化の継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種の取り組みを行う。	①景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による景観地区等の計画策定(浦添前田駅周辺土地区画整理事業地区) ②補助工事の完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観支援を修景するための支援 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援	①景観計画委託業務の完了 ②補助工事8件(年間) 赤瓦葺き工事:3件 石積み・石張り工事:2件 生垣等の工事:2件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)	【今後のスケジュール】 ・地域における景観の向上に関する計画等の策定 ・地域における景観の向上を図るための景観修景のための支援。 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援。		
3	島桑産業拡大支援事業	R4 ～ R8	沖縄県の在来品種であるシマグワが持つ機能性等を研究機関と共同研究することで、科学的エビデンスを構築し、地域産業の付加価値を向上させる。	研究機関との共同研究	研究成果及び学会発表等 4課題	研究機関等との共同研究で解明された研究成果については、学会発表やプレスリリース等を行うことで、シマグワに係る地域産業の付加価値を向上させる。	令和3年度まで実施した島桑オジー&オバーで観光・産業・街おこしプロジェクトで抱えている研究や技術開発に係る課題を研究機関との共同研究により解決し、成果を学会発表や論文掲載、プレスリリース等により広く周知し、島桑産業振興の支援とする。 【研究課題は4件を予定】	
4	浦添観光振興事業	H29 ～ R6	本市へ観光客を誘客するため、継続した本市PR及び効果的な情報発信を行う。また、東京ヤクルトスワローズの春季キャンプ地であることを活用したファン誘客、市内滞在・周遊促進事業を実施し、観光による市内経済活性化を図る。	【浦添観光振興業務】 ・浦添PR(Web)120件、 ・プロ野球キャンプファン誘客イベント2回	①ポータルサイト訪問者数:700,000人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客:37,000人	【今後のスケジュール】 Afterコロナにおける観光施策を、観光協会等と連携し、安心・安全に配慮しながら実施する。また、宿泊施設の開業が予定されていることから、市内への滞在を促進する施策を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		国際海上物流ネットワーク形成促進支援事業	H24～R13	1. 外航船社を対象とした実証事業及び調査検討の実施により、取扱貨物量の増加と外航航路の拡充を図る。	1. 補助金支援及びモニタリング調査等(継続1船社)	1-1. 那覇港に寄港する外航航路の拡充(2航路増R4) 1-2. 実証実験における取扱貨物量の増加(R3最大156TEU/寄港→R4計画355TEU/寄港)	1 那覇港における外国航路の維持(本事業のみの成果目標ではありませんが、現時点において、令和5年度以降の那覇港外航航路では新規3航路の増加を目標としております。)	新規航路の安定した維持を図ることで取扱貨物量の増加により、輸送コストの低減につなげる。
6		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24～R13	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者及び児童生徒に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて技術向上や健全育成、並びに経済的負担の軽減を図る。	【R4成果目標設定の考え方】対象児童生徒の大多数に効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7		自然体験学習事業	H24～R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	・自然体験学習 ・市内全11校の5年生1,300人が対象実施する。	自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価する学校の割合90%以上	自然体験教室を継続して実施する。アンケートを実施し、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと回答する学校の割合が90%以上を維持する。	設定した成果目標は、従来のアンケート調査対象者と異なるため、R3年度全国学力学習状況調査の類似した質問項目結果を参考に設定した。
8		学力等底上げ推進支援事業	H24～R13	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	学校教育支援員 ・小学校 14名(各校1名～2名) ・中学校 8名(各校1名～2名 5校) 日本語教育支援員 ・3名(支援員一人で複数校担当)	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 R4年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査において正答率が小中学校ともに県平均を上回ること、正答率30%未満の児童生徒の浦添市と県の差を減少させ、学力の底上げを図り、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し学校復帰や不登校未然防止を図る。 また、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習活動や体験活動等の支援活動を行う。	臨床心理相談員2名 教育相談員6名 適応指導員1名 自立支援員3名 教育相談支援員16名	●不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:26.5%以下 中学校:22.4%以下	【今後のスケジュール】 ●教育相談数が増加しているため、教育相談室「くくむい」に臨床心理相談員2名を配置する。 ●学校配置の教育相談支援員による効果的な相談支援を行うため、各小中学校に1人ずつ配置し、学校との連携をより強化にする。 ●適応指導教室に関して、チャレンジ登校を積極的に計画・支援し、引き続き学校復帰へ向けた支援活動を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
10	青少年巡回指導員事業	H26 ～ R13	青少年巡回指導員5名を配置し、青色回転車両にて市内巡回による見回りを行い、青少年の安心・安全な登下校を支援するとともに、不登校児童生徒の登校支援や環境浄化を図る。	●青少年巡回指導員5名配置 ●毎月第2木曜日「朝のあいさつ運動」の実施 ●毎月第3金曜日の「夜間街頭指導」への参加	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:21.5%以下 中学校目標:23.7%以下 ・毎月第2木曜日「朝のあいさつ運動」の実施 ・毎月第3金曜日の「夜間街頭指導」への参加	近年、不審者の増加や児童生徒の安全確保の観点から、声かけの対象が多岐にわたっているため、不登校児童生徒を対象とした「課題を抱える児童生徒支援事業」から「青少年巡回指導員事業」に変更し事業を継続することで、青少年が安心・安全な登下校や事故の未然防止等に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒の不登校の要因の一つ、「生活リズムの乱れ・あそび・非行」から設定した。また、あいさつを通しての見守りや夜間街頭指導に参加して情報交換を行い現状の確認ができる考えで設定した。	
11	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R9	学校教育の質の向上を図るため、市立の小中学校にICT機器を整備する。	市立小中学校3校へICT機器の整備を行う。	①児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合(90%以上) ②学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を示す項目の割合(80%以上)	【今後のスケジュール】 ICT機器が活用されることにより学校教育の質の向上が図られると考える。教員、児童生徒を対象にアンケート調査を行い、本事業の効果を検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 ①大多数の教員が整備した機器を活用していると考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 ②児童生徒へアンケート調査を行い、主体的・対話的で深い学びを示す項目の肯定的回答の割合の向上を目指していく。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12			浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添市出身者子弟を第7回世界のウチナーンチュ大会に合わせて招聘し、同大会を通じて自身のルーツへの認識を深め、他国間、地域との交流により地域の国際化及び各国の浦添出身者と本市及び地域とをつなぐ役割を担う。	南米移住者子弟研修生受入：6人 ・世界のウチナーンチュ大会への参加 ・地域との交流 ・世界の浦添出身者歓迎会の補助 ・世界の浦添出身者へ浦添市の紹介 ・帰国後に現地において報告会を開催	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合：90%以上 研修生の報告を聞き、沖縄の文化を継承していきたいと感じた人の割合：80%	【R5～R7】研修生の受入 2人/各年度 【R8】研修生の受入 6人 ※第8回世界のウチナーンチュ大会に合わせて研修生を招聘	【R3成果目標設定の考え方】 研修の効果を得られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
13			浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R13	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	・事前研修、事後研修 ・本研修(浦添の学童疎開先宮崎県へ派遣、3泊4日) ・日向市中学生との平和交流(受入) ・浦添市ピースメッセンジャー認定：10名	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証	浦添市の平和行政を推進し、市民の平和意識の高揚を図り、平和社会の構築につながる取り組みを引き続き実施する。	保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証
14			浦添市特定駐留軍用地等内土地取得事業	H27 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	先行取得未取得面積0.46haの土地取得を目指すとともに、「特定事業の見直し」の拡充を図り、引続き基金の積立てを行い、駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進する。 先行取得目標面積：300,000㎡	【R4成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標約 4,600㎡(達成率58.0%) H28～R3までの累計取得面積169,411㎡ ※達成率：先行取得目標累計面積(300,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、各種施策の実施につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 特定事業の用に供する土地の取得を目標とする。 (先行取得未取得面積0.46ha) ※令和3年度までの先行取得の実績 目標面積 17.40ha 取得委面積 16.94ha ※先行取得目標面積の達成が見込まれる。さらなる跡地の有効かつ適切な利用を推進する為、先行取得目標面積を拡大する。17.4ha → 30.0ha
15			てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R13	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	てだこウォークを開催する。 ・開催予定日：2月上旬 ・2日間に渡って開催し、地域特性を活かしたルートをウォーキングする。	市外からの参加者：3,430名 市内からの参加者：4,030名	【今後のスケジュール】 引き続きてだこウォークを開催し、観光誘客及び住民の健康意識の向上を図る。	①市外からの参加者数を観光誘客活動の成果と捉え、過去の実績数値をもとに成果目標に設定。 ②市内からの参加者数を計測することで地域住民の健康意識向上の度合いが確認できると考え設定した。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
16	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R6	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所等に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の配備 ・私立中・高等学校 (昭和薬科大付属中・高等学校)	整備した備蓄食料及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も新たに避難所等を整備する中、該当箇所へ保管倉庫を設置し、避難所生活における必要最低限の備品や消耗品を整備していく。	【R4成果目標設定の考え方】 整備した食料及び備品等を活用した避難訓練の実施し検証を行うことで住民の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	学習指導支援者配置事業	R4 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援員30人の配置 ※学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -3.0以内 ②中学校 -3.0以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	生徒指導支援者配置事業	R4 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置:8人	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 15%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個別の支援を効果的に行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	小中学校英語支援員配置事業	R4 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員12人を市立小・中学校にシフト配置	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率82% ・小学校6年生:正答率82% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	中学生海外短期留学派遣事業	R4 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	【今後のスケジュール】 今後も中学生海外短期留学派遣を継続し、生徒が異文化に触れる機会を作り、国際的な視野を持つ人材を育成する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	適応指導教室支援員配置事業	R4 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員3人を配置する。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合7% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合65%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	R4 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校が生徒が各種大会参加による県外児童生徒との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	県外及び離島で開催される各種大会へ派遣される児童生徒に対し、渡航運賃の補助を行う。 補助割合:1/2	補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。	【R4成果目標】 保護者対象アンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。 【今後のスケジュール】 令和13年度まで継続して支援を行う。継続して支援を行うことで、多くの児童生徒が成長につながる機会を得られる。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業の目的として「県外児童生徒等との競争や交流を通して児童生徒の成長につなげる」とあるので、その検証としてアンケートに「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」を含めた項目を設定した。
1	⑦	特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内各小・中学校へ特別支援教育支援者を配置:37人	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合95%以上	【今後のスケジュール】 小中学校における、特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援を行い、円滑に学校生活を送れるように取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	ファイターズ・キャンプ支援事業	R4 ～ R6	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PR イベント「名護スペシャルデー」を開催する。	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保 ・札幌ドームで「名護デー」開催 ・春季キャンプ見学者の誘致促進	プロ野球キャンプ時における見学者数28,950人以上	今後も球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組む、見学者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通じた観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	やがじ地域観光拠点整備事業	R4 ～ R5	やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。	・塩づくり体験施設用地購入 ・塩づくり体験施設造成工事 ・塩づくり体験施設磁気探査 ・塩づくり体験施設単価調査	・塩づくり体験施設用地購入の完了 ・塩づくり体験施設造成工事の完了 ・塩づくり体験施設磁気探査の実施 ・塩づくり体験施設単価調査の実施	【R4成果目標】 修学旅行受入数:100校 【今後のスケジュール】 オランダ墓の見学や農業体験施設及び塩づくり体験施設における体験によって地域における滞在時間の延長化を図りながら地域にお金を落とす仕組みを構築し、素通り観光からの脱却を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績から毎年20校増加で設定していたが、コロナ禍でキャンセルが相次ぎ観光産業の今後の見通しが不透明なため過去の最大値から微増として設定した。
2	③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R4 ～ R6	市内の中小規模の事業者の新商品の開発、既存商品の高付加価値化や新たな販売システムを構築することにより、販路拡大及び売上増加を図る。	・事業者選考を実施:100万円/社 ・ハンズオン支援:2回/月/社 ・専門家派遣:2回/社	・商品開発数(新商品、高付加価値化商品):3品 ・ふるさと納税返礼品登録数:3品	昨年度開発した商品のフォローアップを行い、新たな商品開発の支援をすることで、地場産業の活性化につなげる。	選考する事業者数を3社とし、新商品または既存商品の高付加価値化した商品開発数を支援数と同数とし、出来上がった商品は全てふるさと納税返礼品として登録する目標としている。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	④	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R4	PFI等導入に向けたに向けたトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等の実施	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等の完了	【R5成果目標】 ・公園来訪者数：〇人 ・公園来訪者の満足度向上の割合：〇割 【今後のスケジュール】 R4:トライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等	【R5成果目標設定の考え方】 R4年度事業においてR5年度目標値を設定する。
1	①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援員19人の配置 ※学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -3.0以内 ②中学校 -3.0以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置：8人	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 15%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個別の支援を効果的に行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員12人を市立小・中学校にシフト配置	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率82% ・小学校6年生:正答率82% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	【今後のスケジュール】 今後も中学生海外短期留学派遣を継続し、生徒が異文化に触れる機会を作り、国際的な視野を持つ人材を育成する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤		適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員3人を配置する。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合7% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合65%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑥		名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校に在籍する児童生徒が各種大会参加による県外児童生徒との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	県外及び離島で開催される各種大会へ派遣される児童生徒に対し、渡航運賃の補助を行う。 補助割合:1/2	補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。	【R4成果目標】 保護者対象アンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。 【今後のスケジュール】 令和13年度まで継続して支援を行う。継続して支援を行うことで、多くの児童生徒が成長につながる機会を得られる。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業の目的として「県外児童生徒等との競争や交流を通して児童生徒の成長につなげる」とあるので、その検証としてアンケートに「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」を含めた項目を設定した。
1	⑦		特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内各小・中学校へ特別支援教育支援者を配置:37人	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合95%以上	【今後のスケジュール】 小中学校における、特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援を行い、円滑に学校生活を送れるよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①		ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R6	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PRイベント「名護スペシャルデー」を開催する。	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保 ・札幌ドームで「名護デー」開催 ・春季キャンプ見学者の誘致促進	プロ野球キャンプ時における見学者数28,950人以上	今後も球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み、見学者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通じた観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②		名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R7	本市への関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。市民や関係機関と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。	・プロモーション支援の実施 ・プロモーションイベントの開催 ・情報発信の拡大	・アンケートによる認知度向上80%以上	観光プロモーションの実施(年5回)	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	H31 ～ R6	市内の中小規模の事業者の新商品の開発、既存商品の高付加価値化や新たな販売システムを構築することにより、販路拡大及び売上増加を図る。	・事業者選考を実施:100万円/社 ・ハンズオン支援:2回/月/社 ・専門家派遣:2回/社	・商品開発数 (新商品、高付加価値化商品):3品 ・ふるさと納税返礼品登録数:3品	昨年度開発した商品のフォローアップを行いつつ、新たな商品開発の支援をすることで、地場産業の活性化につなげる。	選考する事業者数を3社とし、新商品または既存商品の高付加価値化した商品開発数を支援数と同数とし、出来上がった商品は全てふるさと納税返礼品として登録する目標としている。
2	④	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R3 ～ R4	PFI等導入に向けたトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等の実施	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等の完了	【R5成果目標】 ・公園来訪者数:〇人 ・公園来訪者の満足度向上の割合:〇割 【今後のスケジュール】 R4:トライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等	【R5成果目標設定の考え方】 R4年度事業においてR5年度目標値を設定する。
2	⑤	名護市武道場整備事業	R3 ～ R6	大会やスポーツ合宿等スポーツコンベンションに寄与する目的で武道場を整備する。令和4年度は基本設計を行う。	基本設計業務の実施	基本設計の完了	【今後のスケジュール】 R5:実施設計 R6:整備工事 R7:供用開始	
2	6	名護市スポーツパーク基本計画策定業務	R4	アーバンスポーツ活動拠点としてのスポーツパーク整備(スケートボード場、3x3コート等)に向け、施設の建設候補地、整備計画及び管理・運営計画等の基本的な考え方を定めた「名護市スポーツパーク基本計画」を策定する。	基本計画策定業務の実施	基本計画策定業務の完了	【R4年度成果目標】 策定するスポーツパーク基本計画の中で、施設利用者数、大会・合宿件数等の目標値を設定し、当該数値を目標としたスポーツコンベンションの推進を図る。 【今後のスケジュール】 R4:基本計画策定	【成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツコンベンション推進を成果目標として設定する。
2	7	名護市21世紀の森体育館機能強化事業	R4 ～ R6	大会・合宿誘致件数の増加等スポーツコンベンションに寄与する目的で大型空調を整備し、21世紀の森体育館の機能強化を図る。今年度は基本計画を策定する。	基本計画の策定	基本計画の完了	【R7年度成果目標】 九州大会以上の大会件数 15件 【今後のスケジュール】 R4:基本計画の策定 R5:実施設計 R6:整備工事	【R7成果目標設定の考え方】 21世紀の森体育館で実際に行われた九州大会以上の大会件数を参考に目標を設定した。 R3年度21世紀の森体育館で開催された九州大会以上の大会件数 5件 R7年度は、21世紀の森体育館での九州大会以上の大会件数を15件(200%増)を目指す。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	3		名護市テレワーク人材育成事業	R3 ～ R4	地域経済の立て直しを図るため、在宅でも可能な新たな収入源として、市民に対しテレワーク環境を構築するとともに、テレワーカーとしての人材育成及び就労支援などを実施する。	名護市民50名のテレワーカー登録を実現し育成を図る。	・テレワーカー50名の育成 ・高難度業務研修終了者10%	テレワーカーの育成継続とスキルアップ支援を行う。	育成人数は前年度同様とした。
	4	①	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R8	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入導入支援:30頭以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合12%以上	本事業で導入した子牛のセリ販売価格とそれ以外の販売価格を比較することで、ブランド化の促進の成果として評価する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
	4	②	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画策定事業	R4 ～ R4	畜産振興を図るため、重要な畜産資源の一つである山羊の生産性向上及び消費拡大に向けた基本計画を策定する。	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画の策定	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画の策定の完了	【R5成果目標】 策定する基本計画の中で、年間のと畜頭数等、畜産(山羊)振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした畜産(山羊)振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 当該基本計画に基づき、畜産(山羊)振興施策を実施する	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた畜産(山羊)振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。
	4	③	名護市農林水産振興計画策定事業	R4 ～ R4	市農林水産業の魅力や優位性を活かした振興の実現のために総合的かつ計画的な方針を示す振興計画を策定する。	振興計画の策定	振興計画の策定完了	【R5成果目標】 本事業において策定する農林水産振興計画の中で成果目標を検討することとし、農林水産物の産出額を後年度に発現する効果として取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 計画において策定した振興方針に基づく施策の展開により、本市農林水産業の振興の効果が産出額として反映されるものと考えられるため。
	5	①	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R6	救急救命士等の資格を持つ会計年度職員3名を採用し救命処置普及強化支援員として各種救命講習を一般、学校、事業所を対象に実施する。名護市内の事業所を対象にまちかど救急ステーションとして認定(更新)の実施する。市内のコンビニエンスストアにAEDを設置。	・救急救命士等の資格を持つ会計年度職員の採用・・・3名 ・各種救命講習の開催(救急法 普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 上級救命講習 普及員講習)・・・150回以上 3000名 ・まちかど救急ステーションの認定(更新)・・・3件(3件) ・市内コンビニエンスストアへのAED設置・・・前年度開店した2店舗へ設置	・救急救命士等の資格を持つ会計年度職員の採用・・・3名 ・各種講習のアンケートにおいて「不安だができる」と「できる」と回答した割合が80%以上 ・まちかど救急ステーションの認定(更新)・・・3件(3件) ・コンビニエンスストアへのAED設置・・・前年度開店した2店舗への設置	R4年度～ ・支援員3名/年採用 ・各種講習開催一般・事業所の向けの講習を継続しながら、幼少年向けの講習を増やし応急手当の重要性を学ばせる ・まちかど救急ステーションの認定(更新)を継続し協力できる事業所を増やす ・コンビニエンスストアへのAED設置については設置率100%を目標にして継続する	幼稚園、小中学校の講習を増やし、継続することによって応急手当が身につく、自然と応急手当ができるようする。講習会のアンケートを実施することで、受講者の理解度を確認し、講習の質を高める。応急手当が「できる」、「不安だができる」市民を増やすことで応急手当が実施でき、救命率の増加につながると考えている。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	②	ハブ等対策事業	H27 ～ R13	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	ハブ捕獲器の設置総数:700器 犬用捕獲器稼働数:5器以上	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 捕獲器の設置を増やし、咬傷被害件数を減らす。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	③	環境再生・活用整備事業	H29 ～ R7	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場として活用する河川に整備する。	・用地取得 ・物件補償 ・橋梁整備工事(磁気探査含む) ・河川整備工事	・用地取得の完了 ・物件補償の完了 ・橋梁整備工事(磁気探査含む)の完了 ・河川整備工事の完了	【R8成果目標】 ①環境学習参加数116人 ②地域の自然を活かした憩いの場として活用できたか(80%以上)を含め、市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4～R7: ・用地取得 ・物件補償 ・橋梁整備工事、河川整備工事 R8: 供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
6		スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催:4回	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【R5成果目標】 ③市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名 【今後のスケジュール】 引き続き参加者やスポーツ関係者のニーズに対応した市民参加型のスポーツ教室等を開催する。	【R4成果目標設定の考え方】 ①②対象者のうち大多数が意識が高まった又は指導力が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R4成果目標設定の考え方】 ③過去の実績を勘案して設定した。
7		名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	R1 ～ R4	持続可能で安定した公共交通の導入に向けて、コミュニティバスの実証実験を行い、本格運行に向けた検証を行う。	・実証実験運行計画の策定、広報計画の策定・実施 ・コミュニティバス実証実験の実施 ・実証実験の評価(需要や課題等の把握) ・地域公共交通協議会の開催	・コミュニティバス実証実験の実施 ・地域公共交通協議会の開催 ・実証実験の評価	【R5成果目標】 コミュニティバス年間利用客数:24,000人 【今後のスケジュール】 本事業で得られた結果を基に、公共交通不便地域の解消に向けたコミュニティバスの導入を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 R3年度実証実験(運賃無料)の利用実績で月平均利用人数を算出し、年間の利用客数を算出した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			多世代交流施設整備基本計画策定業務	R3 ～ R4	子どもや子育て家庭に対する支援を強化するため、子どもの健やかな育ちを地域で見守り、子育て家庭の相談窓口として切れ目のない支援が行え、子どもから高齢者までの多世代が集うことができる機能等を備えた多世代交流施設を整備する。	基本設計の策定	基本設計の策定完了	【R8成果目標】 ・子育て支援機能に係る利用者数 ・高齢者の利用者数 ・施設全体の年間使用者数 【今後のスケジュール】 R5:実施設計、造成外構設計、土質調査 R6:造成外構工事 R7:建築工事 R8:供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 基本設計において、整備する施設規模等を勘案し設定する。
9			21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業	R4 ～ R6	これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となる為の必要機能を精査し、具体的な整備計画を策定する。	基本計画・基本設計の策定	基本計画・基本設計の策定完了	【R7成果目標】 市内観光客入込客数 【今後のスケジュール】 R5:実施設計 R6:工事 R7:供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 基本計画・基本設計を踏まえて、当該エリアに必要な機能を洗い出し、目標値を設定する。
10			名護市総合交通ターミナル(仮称)整備計画策定事業	R4 ～ R4	名護市はこれまで豊かな自然を生かしたまちづくりに取り組んできたが、名護湾をはじめとする地域資源を十分に活用できていないことや、近隣町村に観光名所が点在しており、素通り型の観光地になっていることなどが課題となっている。 令和3年度に策定した名護湾沿岸(名護漁港周辺エリア)実施計画をもとに、名護漁港周辺エリアの魅力向上の取組として、名護市総合交通ターミナル(仮称)を整備し、市民及び来訪者の公共交通に関する利便性の向上を図る。	名護市総合交通ターミナル(仮称)整備基本計画の策定	名護市総合交通ターミナル(仮称)整備基本計画の策定	【R5成果目標】 策定する基本計画の中で、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業において策定する基本計画の中で観光誘客に係る目標値を決定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該計画に基づいた目標値を基に施策を実施していくことを目標とする。
11			名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R7	名護自然動植物公園は、名護市の観光振興に寄与する拠点施設であり、機能強化することにより、滞在観光への取り組みを図る。	・名護自然動植物公園 基本計画	・名護自然動植物公園基本計画完了	【R8成果目標】 年間利用客数312,000名 【今後のスケジュール】 R5:基本設計・実施設計 R6:建築工事・土工工事 R7:建築工事・土工工事	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R8	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区景観形成への支援((都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金)) ・令和5年度以降の重点地区整備についての事前調整・検討	・助成金による景観形成整備の完了(8件) ・令和5年度以降の整備箇所の設定	【R9成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R9成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R13	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15カ所	市内における観光客の年間ハブ咬傷被害2件以内	【今後のスケジュール】 既存捕獲器の設置箇所を再考し、観光客に対するハブ咬傷被害を0件を目標として安心安全な観光を推進する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	糸満イベント推進事業	H24 ～ R13	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う	・糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助 日程:令和5年1月 会場:シャボン玉石けんくくる糸満、南浜公園市民広場等 内容:地域伝統芸能、一般団体演舞、県内アーティストステージイベント、市民参加型イベントの開催など	糸満ふるさと祭り ・来場者数:10,000人	【今後のスケジュール】 イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら令和13年度まで継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し、また会場変更及び新型コロナウイルス感染症を考慮し設定した。
2	③	観光地公園環境美化強化事業	R4 ～ R13	西崎運動公園、山巔毛公園、みどりの遊歩道の花木の植栽管理、美化清掃等を行い、魅力ある観光地づくりに取り組む。	西崎運動公園、山巔毛公園、みどりの遊歩道の美化強化。	観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地として魅力ある景観を維持するため、令和13年度まで継続して事業を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。
3	①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R13	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不適応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・市内小中学校に学習指導等支援員・自立支援員を配置。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数 0% 中学校数学 -1%	【今後のスケジュール】 ・各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年3回程度)も実施。市内全小中学校の学力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	英語指導事業	H24 ～ R13	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	小中学校18校(分校含)・適応指導教室へ英語指導助手7名派遣、毎月研究会実施。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-1%	【今後のスケジュール】 ・小学校の英語授業数の増加に伴い、現在の英語指導助手人数で対応することは困難の為、増員(7名→10名)により支援体制強化を図る。 ・月1回の英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 小学校 毎年上昇する数値という捉え方ではなく、全体としてどれほどの興味の高まりを達成したかを指標とした。 中学校 過去の実績を参考に設定した。
3	③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R13	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者2人、補助担当者1人、教育相談員2人)。教育相談に必要な巡回用自動車2台借用。	復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率)	【今後のスケジュール】 ・適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。遠隔授業を取り入れを検討する。	過去の実績を参考に設定した。
3	④	障害児学習環境づくり事業(小中学校)	H24 ～ R13	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒の学校生活の安全面を支援する為、特別支援教育支援員を各学校へ配置する。また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図る為、特別支援教育指導コーディネーターを派遣する。	市内小中学校へ特別支援教育支援員配置。小中学生16校 特別支援教育支援員29人(1校1人～4人)特別支援教育指導コーディネーター1人を各学校へ派遣。	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 ・特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各園・研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	④	障害児学習環境づくり事業(こども園)	H30 ～ R13	発達障害を含む様々な障害を持つ児童に支援ヘルパーを配置する。	こども園に支援ヘルパーを配置し、様々な障害を持つ児童の支援を行う。障害児特別支援ヘルパー9人。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度100%を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 特別支援ヘルパーへの研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R13	子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員1名任用、小中学校へ派遣、授業支援、技術的支援実施。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 ・引き続き、情報教育支援員を派遣する。 ・電子黒板、デジタル教科書・タブレット等の教材が十分に活用できるよう支援する。 ・遠隔授業の導入を支援する。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3	⑦	糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業(電子黒板購入)	R4～ R4	特別支援教室の増加、特別教室(音楽・理科教室等)のICT教育に対応する為、不足している電子黒板を購入する。	電子黒板不足台数の購入 <不足台数>64台購入	・児童生徒にアンケート調査を実施し、特別支援教室、特別教室でICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	【今後のスケジュール】 電子黒板の新しい活用術を研究する。また職員へ技術的支援により授業の電子黒板の活用率を上げていく。アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒が電子黒板活用により、授業が分かりやすくなったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R13	・スポーツ観光の一層の充実を図るため、プロ野球や社会人野球キャンプの誘致をめざし、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・防球ネット整備工事 ・上記工事に伴う磁気探査・現場施工管理・特別単価調査 ・バックネットラバーフェンス設置工事	・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。	【今後のスケジュール】 現在受入している合宿誘致数に併せプロ野球や社会人野球キャンプを施設整備することにより誘致する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	①	母子生活支援事業	H29 ～ R13	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・住宅支援7世帯 ・相談件数500件 ・各種講座(技術力・子育て等)の開催5回 ・子どもへの学習支援12か月	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	【今後のスケジュール】 自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 当該事業の実績(H29年度～R2年度)及び事業内容を見直し設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	販路拡大事業	H24 ～ R8	物産展及びフェアの開催や、海外への販路の可能性を調査し、市内中小企業の販路拡大を支援することで売り上げの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・海外向けパッケージデザインなど販促活動を支援する講習等の開催 ・海外販路拡大のための調査、販促支援 ・物産展の開催 ・糸満フェアの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外向けパッケージデザインなど販促活動を支援する講習の開催 4回以上 ・物産展の開催 4回 ・糸満フェアの開催 1回 ・糸満フェアの来場者 20,000人 	<p>出展を通じた商談会の実施による、企業間の取扱品目等の把握と定着に向けた支援等を行う。</p> <p>海外への販路開拓の調査を活かし、海外販路拡大の支援を行う。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。海外販路を見据えることから、講習会を4半期に一回は行うこととして設定した。</p> <p>・糸満フェアの来場者は平成30年度が15,000人、令和元年度が24,000人、令和2年度と3年度はコロナの影響で中止となり、現在のwithコロナでは元年度比において減少が予測されるため、20,000人を目標とした。</p>
7	①	水難救助車整備事業	R4 ～ R4	水難事故出動指令受理後、迅速な救助活動を実施することを目的として、水難救助車を整備し、これに伴い、各種水難救助資機材を装備するとともに、車両内で潜水隊員がウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、現場到着後に迅速な救助活動ができる体制を整える。	水難救助車等整備 1台	水難救助車等整備 1台	<p>【R5年度成果目標】水難救助車を活用した救助訓練を実施し、水難救助体制の強化を図る。年間訓練回数36回以上(内訳 月1回×12月×3警備)</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】近隣消防本部の実績を参考にした。</p>
8	①	省エネ設備化推進事業	H24 ～ R6	公共施設の省エネ設備化を行うため、今年度は南浜公園のLED化に係る設計及び中央図書館の空調設備を更新する。	遊歩道のLED化工事の設計完成 中央図書館の空調設備取替工事の完了	遊歩道のLED化工事の設計完成 中央図書館の空調設備取替工事の完了	<p>【今後のスケジュール】R4～R6: 整備工事</p> <p>【R6成果目標】 中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】</p> <p>【R7成果目標】 南浜公園LED化によるCO2排出量の削減【89,699kg】</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】消費電力をシミュレーションし設定した。</p> <p>【R7成果目標設定の考え方】過去の実績を参考に設定した。</p>

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
 R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内事業者の収益の向上を図るため、商品開発研修や新商品開発のハンズオン支援、パイヤーを招へいた商談会やWEB等を活用した情報発信等の事業者支援を行う。	・参加事業者数(30事業者) ・ワークショップ開催数(5回) ・ハンズオン支援事業者数(10事業者)	新商品開発数(10商品)	【今後のスケジュール】 商品開発は時間がかかるため、早期に事業に着手する必要がある。また上半期は座学や商品開発支援を中心に、下半期はテストマーケティングや商談会等、販路拡大支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 市内の物産製造事業者や飲食店、工芸作家の数を考慮すると、30事業者以上が参加することで、10商品程度の新商品開発は可能だと考える。
1	②	音楽資源活用事業	H24 ～ R13	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽資料の常設展示 ・企画展の開催(3回) ・音楽イベント等の開催(1回)	観光客来館者数:790人 動画視聴数:3,140回	【今後のスケジュール】 R2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、観光客来館者数が大幅に減少した。イベントは、入場制限を設けるなどの措置を講じ、イベントを動画配信をする取組をはじめている。今後も、おながく村の情報発信を続け、観光客の誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。観光客来館者数の目標設定だけでなく新たに動画配信視聴数を成果目標に追加する。
1	③	音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、音楽のまちをPRし、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信(10月～12月) ・音楽イベント等の開催(3回)	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:54,050人	【今後のスケジュール】 音楽関連情報の発信や音楽イベントを開催し、観光客の誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 目標値までの伸び率を勘案して設定した。
1	④	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R13	文化の振興および観光客の拡大に向け、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の設備の機能充実を図る。	・沖縄市民会館等耐震改修及び大規模改修工事トイレ増築に係る追加設計業務委託	・沖縄市民会館等耐震改修及び大規模改修工事トイレ増築に係る追加設計業務委託の完了	【R7年度成果目標】 供用開始後1年目の目標を以下のとおりとする。※コロナウイルスの影響がない直近3年間の実績の5%増 大ホール年間利用客数 112,530人 中ホール年間利用客数 26,020人 【今後のスケジュール】 R4:実施設計完了 R5～:整備工事	【R7成果目標設定の考え方】 利用者数はコロナウイルスの影響がない直近3年間の実績の5%増とした。
1	⑤	国際交流事業	H24 ～ R13	多国籍住民の相談窓口を開設し、生活上等の困難の改善を図る。 市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談 ・多言語語学講座(英語・スペイン語等) ・多国籍住民等との交流会	来所者数5,600人	【今後のスケジュール】 今後も多言語相談を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 今後も多言語語学講座、多国籍住民等との交流会を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去3年(H30～R2)の実績平均の8割で換算 5,574⇒5,600

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのPRや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	①エイサーを活用したPR活動 ・エイサーグッズ製作・配布 ・エイサーのまちPRバナー等設置 ②沖縄全島エイサーまつりの充実 ・まつり会場の空間演出	・エイサー会館来場者数:20,600人 ・沖縄全島エイサーまつり来場者数:10,000人	【今後のスケジュール】 今後も地域の伝統芸能であるエイサーの保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、エイサーのまち沖縄市及びエイサー会館等エイサーを活用したPR活動を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑦	観光宣伝事業	H24 ～ R13	国内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・ガイド養成講座(16回)、モニターツアー(25回)の実施 ・各種メディアやWEB・SNSを活用した観光広報活動業務 ・観光情報誌「沖縄市GO」の印刷 ・スポーツツーリズム関連業務	・主要ホテル宿泊延べ人数:162,888人	【今後のスケジュール】 ・観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動の実施および観光体験や新メニュー創出等の支援を継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑧	文化芸能推進事業	H25 ～ R13	沖縄県で令和4年度に開催される「美ら島おきなわ文化祭2022」等をはじめとする、文化芸能の推進に係る事業について全体コーディネートを行う。	国民文化祭オープニングイベント(1回) 沖縄市文化芸術祭(1回)	イベント参加者数 3,000人	【今後のスケジュール】 市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する。	【R4成果目標設定の考え方】 現在利用可能な空き店舗や公共ホール等を勘案し、利用者が一日に観賞可能な公演数を設定。
1	⑨	観光統計調査事業	H30 ～ R13	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げる。	・観光入込統計調査及び分析の実施 ・観光関連団体等との勉強会開催	・観光入込統計調査・分析による実態把握 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化	【今後のスケジュール】 観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業の成果目標は、調査結果を活用した実績について成果目標を設定すべきであるが、検証が困難であるため、定性的な指標を設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	スポーツコンベンション推進事業	H24 ～ R13	<p>プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致によるスポーツ合宿宿泊者数の増加や、プロスポーツ団体等のPR活動・交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。</p> <p>また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催に向けた機運醸成や、東京2020オリンピックで注目を集めた「アーバンスポーツ」について、アーバンスポーツに関連するイベントを開催するとともに、アーバンスポーツパーク整備による地域交流イベント開催の可能性等、さらなるスポーツコンベンションシティの推進を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体活動支援、スポーツコミッション強化、スポーツ合宿誘致・受入等のスポーツコンベンション推進活動の支援 ・FIBAバスケットボールワールドカップ2023機運醸成 ・アーバンスポーツパーク整備基本計画の策定 ・アーバンスポーツイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿延べ宿泊者数 13,493人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 155,340人 ・FIBAアジア地区予選大会 来場者数 8,000人/回 ・アーバンスポーツイベント来場者数 4,000人 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>スポーツコミッションを主体としたスポーツ合宿の誘致等に取り組むとともに、プロスポーツ団体の機運醸成を図り、スポーツコンベンションの推進に取り組む。</p> <p>FIBAバスケットボールワールドカップ2023に向けて機運醸成を図る。アーバンスポーツパーク整備による地域交流イベント開催の可能性について調査及び検討する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して設定した。</p>	
2	②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	<p>モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モータースポーツイベントへの支援 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者数: 42,000人 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>モータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高める</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>	
3	①	緑化景観推進事業	H30 ～ R5	<p>沖縄市の玄関口である南インター前に四季折々の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
3	②	リュウキュウマツ保全事業	R4 ～ R13	<p>沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。</p>	<p>市内公園内のリュウキュウマツ約120本に薬剤注入</p>	<p>薬剤を注入した約120本のマツのうち、約116本(97%)の枯死被害を防止</p>	<p>10月頃に薬剤を注入した約120本のマツの葉の赤色への変色による枯死状況を確認する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>被害拡大を防止するために、薬剤注入マツの97%を枯死させない数値として設定した。</p>	
4	①	こども科学力育成事業	H24 ～ R13	<p>こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを学校で体験する出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①出前科学教室(130コマ) ②科学研究支援(6校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上) 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため不特定多数が参加するイベントは行わず、学校を対象とした出前科学教室等に注力して実施する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>	

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	①標準学力調査 ②学力調査(中3) ③後学習支援教室業務 ④学習支援コーディネーター(1名) ⑤学習支援員(23名) ⑥中学校ALTコーディネーター(1名) ⑦日本語指導員(4名) ⑧小学校ALT(12名) ⑨中学校ALT(7名)	・全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校:国との差±1ポイント以内を目指す。 中学校:国との差-5ポイント以内を目指す。	【今後のスケジュール】 引き続き各種支援員等を配置して個別最適な学びを推進することにより、全国学力調査の正答率向上と学習意欲の向上に取り組んでいく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	①就学支援委員(30名) ②公認心理士(1名) ③認定心理士(2名) ④保健師(1名) ⑤就学支援事務(1名) ⑥特別支援教育コーディネーター(1名) ⑦特別支援教育補助者(31名) ⑧スクールソーシャルワーカー(1名) ⑨学校支援教育補助者(8名) ⑩適応指導教室相談員(1名) ⑪適応指導教室指導員(3名) ⑫適応指導教室巡回支援指導員(3名) ⑬幼稚園特別支援担当(42人:補助者含む) ⑭幼稚園特別支援教育補助者(7人) ⑮幼稚園特別支援アドバイザー【臨床心理士】(1名)	・特別支援教育について、対象となる園児・児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度85%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率 30%以上	【今後のスケジュール】 特別な支援が必要な園児・児童・生徒や不登校・学力不振の児童・生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。
4	④	青少年等支援事業	H25 ～ R13	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	①青少年教育相談指導員 7人配置 ②青少年指導員の夜間街頭指導 延べ 1,760人 ③若者相談窓口担当相談員 1人配置	①午前・午後巡回指導件数 前年度比17.2%減 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比16.8%減 ③若者の主訴改善件数 31.6%増	【今後のスケジュール】 今後も、青少年の健全育成を図るため、相談業務、体験活動、午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を引き続き行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進する。	市内中学生13名を語学学習や県内ホームステイを5日間程度体験するプログラムを実施する。	・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合90%以上	【今後のスケジュール】 国際的な視野を持つ人材育成するため、ホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	⑥	学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。	ICT支援員 15人 (内勤3名含む) ICT支援員コーディネータ 2人 巡回支援校数 24校	授業にICTを活用して指導できる割合: 80%以上 ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合: 80%以上	【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想の推進や児童生徒の情報活用能力の育成のため、学校のICT化を引き続き支援していく。	【R4成果目標設定の考え方】 文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」を参考にした。
4	⑦	生活困窮者学習支援事業	R4 ～ R13	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	被保護世帯の中学1・2年生(定員: 20名)に対する学習支援等の受験指導を行う。	①学習教室への出席率: 85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率: 10% ③通学生徒の高校進学率: 95%以上	【今後のスケジュール】 基礎学力の向上から高校受験対策等まで盛り込んだ学習支援を実施し、最終目標である高校進学達成に繋げていく。	【R4成果目標設定の考え方】 沖縄県学校基本調査及び文部科学省による不登校の定義を参考に設定した。
4	⑧	博物館機能強化事業	R4 ～ R6	学校教育および社会教育の充実を図るため、国指定名勝に指定された「アマミクスミイ 越来グスク」のほか、市の歴史や民俗、自然をテーマとした郷土博物館展示室および、講座・体験機能強化の基本計画を策定する。	博物館機能強化の基本計画を委託、策定する。	基本計画の策定完了	【今後のスケジュール】 R4: 基本計画 策定 R5: 実施設計策定 R6: 工事実施 再開館	【R4成果目標設定の考え方】 過去の入館者実績を勘案して設定した。
5	①	就労等支援事業	H24 ～ R13	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。 また、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。	・就労相談 約3,300人/年 ・職場体験 40件	・就職決定者割合18.2% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談や職場体験等の支援を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 ・就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	②	産業集積推進事業	R2 ～ R7	創業ワンストップ相談窓口や創業スクールにおける創業支援、投資家や金融機関との面談機会を設ける等、スタートアップ支援を行うことにより、関係人口を増加させながら、企業誘致に取り組み、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。 さらに、本市の社会情勢、取り巻く環境の変化に対応するため、企業誘致及び雇用施策の現状、課題を踏まえた効果的な施策の実施を検討する。	・創業スクール実施回数(スクール最終回としてのピッチイベント含む)3回 ・創業相談件数(個別相談)100件 ・スタートアップ型創業機運醸成イベント 10回 ・支援先スタートアップの県内外ピッチイベント出場支援 10社 ・投資家や金融機関と起業家の面談実施回数 20回 ・企業誘致雇用施策基本方針の策定。	創業スクール卒業生: 15名以上 創業者数: 20名 スタートアップ支援団体数: 5団体	【今後のスケジュール】 ・R4年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図る。 さらに、本市の社会情勢、取り巻く環境の変化に対応するため、企業誘致及び雇用施策の現状、課題を踏まえた効果的な施策の実施に繋げるため調査及び方針を検討する。	【R4年度の成果目標設定の考え方】 スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組むことを踏まえたうえで、過去の実績や、他自治体の実績を基に勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	地域防災対策事業	H25 ～ R13	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保、防災倉庫の整備を行う。	・防災組織の結成(5組織) ・防災組織資機材・倉庫整備(5組織) ・防災倉庫整備(4箇所)	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	【今後のスケジュール】 自主防災組織及び資材整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資する考え、成果目標と設定した。 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した。
7	①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の検討を行う。	跡地利用計画(素案)の作成	跡地利用計画(素案)の作成	【今後のスケジュール】 跡地利用計画(素案)を基に、事業化に向けてより具体性のある計画に適宜更新を行い、最終的には事業計画に反映させる。	【R4以降成果目標設定の考え方】 地権者や市民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
8	①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的に、市民や県民等に対して東部海浜地区開発事業のPRを行うとともに、防災計画の策定、人工ビーチ運営等の調査、土地処分の検討、広報資料の作成、事業アドバイザー業務を行う。また、効果的に東部海浜地区への企業誘致を図るため、県外企業にヒアリングを行い公募条件等の整理を行う。	①県外企業誘致ヒアリング ②PRイベント実施 ③防災計画策定業務実施 ④人工ビーチ運営等調査業務実施 ⑤土地処分検討業務実施 ⑥広報資料作成業務実施 ⑦事業アドバイザー業務実施	①公募条件整理に向けたヒヤリング(サウンディング)の実施9回(36社) ②来場者等へのアンケートによる認知度(65%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ③防災計画策定業務実施 ④人工ビーチ運営等調査業務実施 ⑤土地処分検討業務実施 ⑥広報資料作成業務実施 ⑦事業アドバイザー業務実施	【R4成果目標】 公募条件等に係る土地処分の整理 【今後のスケジュール】 県内外企業等に公募条件整理に向けたサウンディング等を実施する。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度が向上し、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。 国・県の埋立事業の進捗に応じて、東部海浜開発地区の魅力向上に向けての調査・検討業務などを実施。	【R4成果目標設定の考え方】 ・本事業の企業誘致ヒアリングの成果目標は、企業誘致件数等を設定すべきだが、人工島の埋立が未完了であり検証が困難なため、本年度以降の成果目標として設定した。 ・PR事業の効果が図られたと考えられる値として、3年間の事業認知度向上率を考慮し設定した。 ・各種事業業務実施件数で設定した。
9	①	平和推進事業	H30 ～ R13	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。	①沖縄市民平和の日記念行事開催 ②平和学習資料の作成	①視聴者数 500人 ②視聴者数 120人(配信4ヶ月後の目標値)	【今後のスケジュール】 今後も沖縄市民平和の日記念行事等、平和における啓発事業を開催し、平和について考える機会の創出を図る。	【R4以降成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	① 商店街等活性化事業	R1 ～ R13	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	イベント実施件数(2件)	営業店舗増加数(1件)	【今後のスケジュール】 誘客効果の高いイベントの企画実施により、地域の魅力を高め、営業店舗数のさらなる増加を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 商業活動を活性化するためには、その活動を行う店舗の増加が望ましいため、営業店舗増加を成果目標に設定した。	
11	① 沖縄こどもの国推進事業	H30 ～ R8	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客促進のため、沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画を策定する。	沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務の実施	沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務の完了	【今後のスケジュール】 沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務の完了後、計画に基づき各種ソフト事業を展開し、令和5年度は入園者数75万人を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 令和元年度に策定した施設整備マスタープランにおいて、目標入園者数の設定を行った。	
12	① 沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R8	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実に図る。	・親水エリア整備 ・園内環境演出サイン整備	年間目標入園者数 70万人	【今後のスケジュール】 年間目標入園者数 令和 4年度:約70万人 令和 5年度:約75万人 令和 6年度:約75万人	【R4成果目標設定の考え方】 令和元年度に策定した施設整備マスタープランにおいて目標来園者数を設定しているが、今後、コロナ禍による国内外からの観光誘客への影響も想定される。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	②	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R13	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽樹の管理(除草清掃・防除工) ②プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理を継続して行っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 事業の目的である魅力的な観光地としての景観形成を図られたかどうかを含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
1	③	瀬長島環境美化強化事業	R4 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化作業を行う。	瀬長島における広場等の環境美化実施	来島者に対し、観光地としてふさわしい景観形成と感ずるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 来島者の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証する。
1	④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業	R4 ～ R5	豊崎美らSUNビーチにて遊泳エリア等の環境改善を図ることを目的に、基礎調査結果を踏まえ、後年度の整備に向けて遊泳エリア等の調査測量を行う。	・現地の調査設計業務 ・海浜公園指定管理者等の関係機関との調整	設計業務の完了	【今後のスケジュール】 遊泳エリア等の環境改善・施設整備に向けた航路浚渫工事及び磁気探査業務 【R5成果目標】 ビーチ利用者数:20,000人	R5成果目標については、過去のビーチ利用者数に基づき設定した。 【実績】 平成28年度:20,433人 平成29年度:21,215人 平成30年度:13,198人 令和元年度:15,501人
1	⑤	豊見城市観光PR事業	R4	首都圏及び地方大都市で、駅構内での物産展やトレインジャック広告、特産品の配布、本市に関連するノベルティの配布等を行い、豊見城市の更なる認知度向上を図る。	首都圏及び地方大都市にて物産展等を行う。	実施場所における来場者数 札幌 5,000名以上 大阪 5,000名以上 首都圏 7,500名以上	【今後のスケジュール】 全国的な知名度が高い「瀬長島」や「豊崎地区」を筆頭に、豊見城市の観光地や特産品に興味を持ってもらい、豊見城市に行きたい、住みたいと思ってもらえるように県外へのPRを行う。 【R5成果目標】 令和5年度入域観光客数 710万人	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R13	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。	臨床心理士配置:各1名 (就学前・就学後)	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者や保育士等の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考		
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		R4成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
									今後の展開方針等	補足説明等
2	②		放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R13	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者に対し利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。 対象人数:205人分	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】利用者支援を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正並びに、保護者の負担軽減及び利用者の増加を図る。	【R4成果目標設定の考え方】保護者のうち大多数が「負担が軽減された」と考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
2	③		障害児保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	加配保育士配置数 60名	・加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・加配保育士の配置割合 市内障害児(対象児)に必要な加配保育士等の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	【今後のスケジュール】加配保育士にかかる人件費補助を実施し、対象児を預かる施設への支援を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 ・加配保育士の対応への満足度 特別な支援を要する子を抱える保護者の負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。 ・加配保育士の配置割合 過去の実績を参考に設定した。	
3	①		特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:29人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にあることから、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。	複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。	
3	②		学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校の教諭の補助として学力向上推進補助員を配置し、個に応じたきめ細かい支援を行うとともに、学力調査を年1回実施し、学力到達度を確認・授業改善へ繋げることで学力向上を図る。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人 全国標準学力調査の実施 小1～中2:年1回 学力調査の実施 中3:年1回	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.8ポイント以上 ②中学校:+0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。	記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。	
3	③		スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	スクールソーシャルワーカー3人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校3校を巡回する。	支援対象ケース改善率:48.4%以上(改善ケース件数/支援対象ケース件数)	スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。	問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	R4事業内容		今後の展開方針等	補足説明等
3	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	学習支援補助員を3人配置する。 適応指導教室:2人 中学校:1人 登校支援員を小学校8校に1人ずつ配置する。	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校対策としての学習支援員、登校支援員の継続配置により登校復帰ができていない児童生徒の支援を行う。	不登校要因によっては長期的な支援が必要な事案もあることから、切れ目なく継続した不登校対策が必要。
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を派遣する。	外国人英語講師(ALT)を市内3中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師(JTE)を市内8小学校に派遣する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そうは思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。	興味・関心度アンケートにおいてJTE派遣に対しマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の育成を図るため、情報教育指導補助員を派遣し、ICT機器を活用した授業を支援する。	情報教育指導補助員派遣:5人	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R4年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたという回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が90%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。	令和4年度以降のアンケート結果割合の平均値が90%以上となるよう継続支援を行う。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費補助費の一部(航空運賃し80%)を補助 300名 × 36,000円 1/2 = 5,400,000円 × 80% = 4,320,000円	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、県外の児童生徒との競争及び交流を増やす機会を支援する。	アンケートを実施し、視野が広がったか(80%を目安に)調査する。
3	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内中学生から選抜された青少年リーダーが海外(ハワイ州)との交流を通して、国際的視野を広め、能力の向上に取り組むことで、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図る。	・市内中学生20名を対象にハワイ州の青少年団体とのオンライン交流等を行う。	事業実施後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたいまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地域地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラム実践していく。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
3	⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおり、より効果のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	電子情報連携発信 1,025件 地域資料収集作業 5地域 歴史資料の電子化 80,000点 電子地図系コンテンツ作成 4件	webサイトアクセス数 60,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 5種類	【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数60,000回/年を目標とし、更なる向上を目指す。	成果目標値は類似機関と市公式ホームページ(文化課担当)等の年平均アクセス数より平均値を積算して設定した。
4	②	歴史・文化企画展開催事業	R4	豊見城市の戦後史を中心に企画展を開催し、文化振興や観光振興に寄与する。	企画展の開催:2回 巡回展の開催:市内5施設	企画展1回あたりの来場者数 683人	企画展の開催 年2回 平均来場数 680人以上 作成したパネルは小中学校や市内施設に貸し出しを行う。	新型コロナウイルス感染症流行のため、R2～3年度は企画展の開催中止や、大幅に来場者数が減少したため、H29～R1年度の3か年を平均値を設定した。
4	③	組踊学校鑑賞事業	R4	組踊を小学校4校で上演し、組踊の普及・継承を図る	組踊鑑賞会の実施:4校	市内4小学校の対象児童数 延べ835名(高学年対象)	【今後のスケジュール】 R6年以降に進級した児童を対象に学校組踊の上演を検討する。	市内4小学校の4年生～6年生を対象に設定した。新型コロナウイルス感染症の予防状況によっては対象児童の変更はある。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R13	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更 プロチームへの誘致活動 環境整備のための要望調査 県内の先進自治体視察及び情報収集 サッカーゴールの追加整備	サッカーキャンプ誘致件数: 2件/年	【今後のスケジュール】令和5年度以降指定管理制度導入による削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R4成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。
5	②	豊見城市民体育館機能強化事業	R4 ～ R4	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設など、施設の機能強化を行い、ナショナルチームレベルの合宿や公式の国際試合開催などのスポーツコンベンションの誘致を促進し、観光振興を図る。	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の実施	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の完了	【R5以降成果目標】 ・スポーツコンベンション誘致件数: 3件/年 【今後のスケジュール】 令和6年(2024年)デフバレー世界選手権の誘致に向けて活動する。	【R5以降目標設定の考え方】 令和5年度以降、合宿誘致を実施し、チーム合宿による誘客による観光振興の成果目標とする。
5	③	低炭素社会構築事業(都市公園等省エネ設備導入促進事業)	R4	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、都市公園内の照明灯等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出を抑制する。	実施設計の実施工事の実施	実施設計の完了 工事の完了	【R5成果目標】 本市の都市公園の消費電力(排出される温室効果ガス)を65%抑制する。 【今後のスケジュール】 R4: 実施設計完了 R4: 整備工事	【R5成果目標設定の考え方】 ・外灯のLED化により約80%の抑制が図られる。 ・管理棟などの建物の消費電力があり、これらは変化がない。 ・外灯と建物などのその他消費電力を加味しておおむねの数値として65%とした。
6	①	自主防災組織・自治会防災対策事業	R4 ～ R8	島しょ県という地理的要因により、災害時に県外からの物資供給や人的支援の遅れが想定されることから、市内を訪れる観光客分の備蓄食料を整備し、防災力の向上を図る。	・観光客分の備蓄食料 9,445食	観光客避難者向けの備蓄 ・R4年度備蓄食料 備蓄率100%	【今後のスケジュール】 令和5年度以降は、自主防災組織、自治会への補助をおこない、本市の防災力向上をはかる。	【成果目標設定の考え方】 想定される観光客避難者数に対して、備蓄食料の提供が途切れることのないよう、備蓄率の最大値(100%)を目標として設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	商品プロモーション事業	H25 ～ R13	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援を行うことで、市内中小企業等の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展への出展支援 ・PR活動 ・商品開発及び既存商品のブラッシュアップ ・商品開発スキルアップ支援(商品開発講座等)	・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上 ・商談成立件数12件以上 ・参加事業者へのアンケートで商品開発等への参考となったか(80%以上)	【今後のスケジュール】 売上効果が高くなるような仕組みを継続して構築していき、事業者の自助努力で商談成立に結び付ける商品を開発出来るよう助言等を行い事業者のスキルアップに繋げていく。	【R4成果目標設定の考え方】 売上額及び商談成立件数について、過去の実績を勘案して設定した。商品開発スキルアップ支援については、参加事業者のうち、大多数が参考になったと考えられる値として設定した。また、支援内容のあり方についてアンケートで検証する。
1	②	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R13	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る	県内外の事業者に対するヒアリング30社以上	物流モデルの創出件数(3件以上)	県内外事業者に対するヒアリングなどを実施し、これまで実証してきた内容以外の新たな物流モデルの構築に向けた取り組みを行う。	
1	③	研究開発支援事業	H30 ～ R8	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	研究及び実証共用機器使用に係る経費補助	研究開発件数:4件	今後も市内研究施設を十分に活用し、市内業者による商品開発の推進を図る。	過去の実績を勘案し設定。
1	④	うるま市石川地域まちづくり推進事業	R4	既存公共施設の有効活用、隣接自治体との産業連携・補完強化、教育機関との連携による発展可能性のある産業分野の導入可能性調査等を実施し、若年層をはじめとする就業・交流・にぎわい拠点となる石川地域のまちづくり実現に向けた計画を策定する。	うるま市石川地域まちづくり推進計画の策定実施(上位・関連計画の整理、意向調査、既存公共施設の現況調査、隣接自治体との産業・広域連携の在り方検討、教育機関との連携、新たな産業の導入可能性調査、施策展開の優先順位及び時間軸の検討、委員会運営等)	うるま市石川地域まちづくり推進計画の策定完了	【R4成果目標】 策定するまちづくり推進計画の中で、若年層の域内就業者数の創出に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R4 まちづくり推進計画策定 R5 実施計画策定等 R6～ 計画に基づく施策展開	策定するまちづくり推進計画の中で、目標値を設定し、目標達成に向けた個別具体的な各種施策を展開する。
1	⑤	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4	世界遺産「勝連城跡」や島しょ地域等の地域が有する歴史文化や伝統芸能、観光資源等のソフトパワーを基軸とした新たな観光産業の創出及び観光施策の展開を行うためのまちづくり計画を策定する。	うるま市勝連・与那城地域まちづくり推進計画の策定実施(上位・関連計画の整理、意向調査、既存施設等の現況調査、新たな観光産業の導入可能性調査、施策展開の優先順位及び時間軸の検討、委員会運営等)	勝連・与那城地域まちづくり推進計画の策定の完了	【R4成果目標】 策定するまちづくり推進計画の中で、当該地域主要観光施設の来場者数の目標値を設定し、当該数値を目標とした各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R4 まちづくり推進計画策定 R5 実施計画策定等 R6～ 計画に基づく施策展開	策定するまちづくり推進計画の中で、目標値を設定し、目標達成に向けた個別具体的な各種施策を展開する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	企業誘致推進事業	H24 ～ R8	うるま市内の産業集積地に企業誘致を図り、新たな産業の振興と雇用の創出を図る。	①企業訪問による情報収集 ②開発事業者に関する情報収集 ③企業誘致関連セミナーへの参加 ④月間報告書による進捗状況の報告 ⑤ポータルサイトの作成 ⑥平安座地区におけるポテンシャル調査	①開発事業者へのアプローチ:10件 ②ポータルサイトの完成 ③平安座地区における調査業務の完了	【今後の取組】 ①ポータルサイト等により本市の持つ投資環境をPRする場を設けることにより、企業誘致活動の促進を図る。 ②平安座地区のポテンシャル調査結果を踏まえて企業誘致の方向性を検討する。	過去の実績を勘定して設定。
2	①	就労支援事業	H28 ～ R13	求職者等に対するきめ細かな就職支援を行い雇用の拡大につなげる。 また、市内学校の児童生徒に対しキャリア教育を実施し、勤労観や職業観の醸成を図る。	①求職者(失業者含む。)への総合的な就業支援の実施 ②求職者及び就業者へのスキルアップ支援の実施 ③小中高生へのキャリア教育実施 ④市内における雇用環境や就業環境の現状分析、求職者や企業等への調査(アンケート、ヒアリング)、雇用拡大に向けた方向性および目標の検討	①就労支援を行った新規雇用者数255人以上 ②小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証 ③調査業務の完了及びうるま市就業促進アクションプランの策定。	【今後のスケジュール】 求職者に対し、継続的な支援体制の強化を図るとともに、求職者及び就業者に対しスキルアップ支援を行う。また、将来を担う児童・生徒の就業意識の向上や就労観・職業観の醸成に努める。 策定した「うるま市就労促進アクションプラン」を指針とし、次年度以降、計画を策定し、総合的かつ効果的な雇用対策・就労支援を講ずる。	【R4成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・大多数の小中高生が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
2	②	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R13	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・新規雇用者を対象にした人材育成の実施 ・テレワーカーを対象にした人材育成の実施	・新規雇用者を対象にした人材育成の完了 ・テレワーカーを対象にした人材育成の完了	【R4成果目標】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率 90%以上(1年後) ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 135名 【今後のスケジュール】 今後も人材育成支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率については、過去の実績を勘案して設定した。 ・テレワーク人材育成については、育成計画を基に設定した。
2	③	次世代型ものづくり人材育成事業	R4 ～ R6	製造業関連の人材育成を行い、安定的な人材供給と付加価値の高い高度な技能を持った人材を養成することで、産業の振興を図る。	①ME研修：基礎知識の習得 3人 ②PM研修：具体的事例をテーマとした研修 2人 ③CE研修：PMよりもレベルアップした研修 2人 ④短期研修:短期的な技術研修(1～5日間) 50人 ⑤企業連携イノベーター育成:3人	研修受講生へのヒアリングアンケートでの満足度等 80%以上	市の基幹産業である製造業の技術者を中心とした他産業への振興の波及、展開、発展を促す施策へ昇華させる。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度末)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	観光誘客促進PR事業	R1～R6	県内外へメディアを活用したうるま市の観光PRや、イベントの際の情報発信を行い、イベント閑散期の際に行う観光客の誘客を図る。	①県外での誘客促進PR 4月～11月 1回以上実施 ②観光イベントの実施 12月～2月 1回実施 ③メディアを活用した発信2回以上	・イベント来場者数 5,000人以上 ・アンケート調査(満足度)70%以上	【今後のスケジュール】 滞在型観光への転換を図り市内経済の活性化を図る。	「メディア活用による戦略的観光誘客促進事業」と「観光イベント連携・交流事業」の事業を組み合わせた事業となっている。
3	②	第2次うるま市観光振興ビジョン改定事業	R4	現行計画策定時に整理した課題に加え、各施策の取組状況や社会情勢、環境の変化等を踏まえ、現行計画で掲げた7つの数値目標及び4つの重点プロジェクトの中間見直しを図り、令和8年度までの4か年における実効性の高い観光戦略に改定することを目的とする。	・基礎調査の実施 ・観光まちづくり推進協議会の開催 ・庁内会議の開催	第2次観光振興ビジョンの改定完了	改定した観光振興ビジョンをもとに、各観光振興施策を展開し、うるま市観光の継続的な発展及び地域経済活性化を図る。	
3	③	共創型ワーケーション推進事業	R4	令和2年度～令和3年度「ワーケーション推進事業」において示された戦略を元に、単なる観光目的にはとどまらないワーケーションを手段として、首都圏企業と地元企業及び行政との事業共創・地域課題解決のビジネスモデル化を促しワーケーションを取り巻く産業全体の振興を図る。	①市内で提供可能なコンテンツの整理 ②ワーケーション誘致のための情報発信 ③共創ワークショップの開催 ④共創型ワーケーション検討会の開催 ⑤成果検証及びフィードバック ⑥うるま市内におけるワーケーション等拠点施設の整備可能性調査	事業共創案件 3件 ワーケーション等拠点施設整備可能性調査の完了	本事業で生まれた共創案件の継続的支援と、民間主導での自走化を目指した後継事業の立案	
3	④	うるま市島しょ地域振興事業	R4～R6	新たな離島振興計画に掲げられている「島々がそれぞれの個性と潜在力を発揮し、活力と希望に溢れる地域社会を実現」するため、過疎化や高齢化が進み、活動できる人材が不足する離島において、離島を支える産業振興体制の構築とコミュニティ経済の振興に向け、多様な人材の関りにより産業振興・地域経済の活性化を図る。	・問合せ件数 30件 ・プロジェクト連携地元事業者数 3社 ・自治会との会議 3回	・地域への滞在者(世帯)数 15世帯 ・プロジェクト創出数 5件	自治会の課題や実施したい企画を確認すること等、地域の課題と地域外人材の能力をマッチングしプロジェクトをきっかけとした地域への継続的な関係性を構築する。	「活動人口」は「関係人口」に近い考えであるが、地域活動を行う良い人材を指す。離島においては、活動できる人材が不足していることが大きな課題の一つであることから、本事業で構築した方法を横展開することで沖縄県内離島の活性化に繋がる。
3	⑤	島人ベンチャースクール事業	R4～R6	所得や失業率が高い一方で、起業意欲が高い沖縄県及びうるま市において、起業支援を通して市民所得の向上を目指すことを目的とする。	起業支援10組	起業者数 5組 創業セミナー参加者数 5組		【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘定して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑥	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R7	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会の開催 ・スポーツ合宿誘致活動 ・事業効果測定(来訪者数の把握・直接消費額の算出) ・受入環境整備 ・整備機材(トラクター・エアレーター)の導入実施 ・防球ネットの設置 ・野球場機能強化に係る調査、計画 ・陸上競技場機能機能強化に係る設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ・合宿件数 10件以上 ・整備機材(トラクター・エアレーター)の導入完了 ・防球ネット設置の完了 ・野球場機能強化に係る調査、計画の完了 ・陸上競技場機能機能強化に係る設計の完了 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和元年度に設立したスポーツコンベンション推進協議会を受入主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組み、さらなる経済的効果の拡大に繋げていく。</p> <p>また、令和3年度に建設したクラブハウス及び、今年度整備予定の整備機材(トラクター・エアレーター)を活用し、さらなる受入環境の向上を図り、スポーツコンベンションの拡大を行う。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>過去3年の実績最高値を参考に設定した。</p> <p>H30年度 15件 R1年度 8件 R2年度 6件</p>
3	⑦	サイクルツーリズム推進事業	R2 ～ R6	モデルルート上の環境整備(協力店舗等へのサイン、工具等の設置)WEBサイト、SNS等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・受入環境の整備(ベンチ、自転車ラック、案内標識の設置等) ・WEBサイトを活用した国内外向けプロモーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルルート上の環境整備の完了 ・メディア等を活用した観光誘客プロモーションの完了 	<p>R2年度の事前調査内容に基づき、受入環境整備及びプロモーションを実施することによりサイクリストの誘客の拡大を図り、サイクリングルート周辺商業施設等の消費拡大に繋げていく。</p> <p>【R5成果目標】</p> <p>サイクリストの来訪者数:300人以上</p>	<p>R3年度サイクリスト来訪者数の1.5倍を誘客することを目標とした。</p>
3	⑧	島アートプロジェクト事業	H24 ～ R6	島の風景と融合した「アート」を活用した展示会やイベントを創出することで、島しょ地域における交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会開催 ・アートイベント開催 ・島しょ地域取組PR ・来場者満足度調査 	<p>イベント参加者:8,000人以上(開催日数10日以上)</p> <p>イベント参加者満足度:85%以上</p> <p>イベント関係者満足度:85%以上</p>	<p>地域住民と一体となったアートイベントを継続することで、アートをととして地域住民が目指す地域活性化の取り組みを実施していく。</p>	<p>過去の実績を勘案して設定した。</p>
	⑨	モータースポーツ振興事業	R4 ～ R6	モータースポーツの推進による観光産業の振興により、地域の活性化を図るため、本市におけるモータースポーツ振興の導入可能性について基礎調査を行う。	<p>モータースポーツ振興可能性調査の完了</p>	<p>モータースポーツ振興可能性調査の完了</p>	<p>【R5成果目標】</p> <p>・調査事業の中で、本市において導入可能なモータースポーツ事業の検討を行い、その実証イベントをR5年度に実施し、イベント来場者数を目標値として設定する。</p> <p>【今後のスケジュール(予定)】</p> <p>R5 実証イベント及び施策の検討</p> <p>R6 実証イベント及び検証結果を踏まえた実施計画の策定</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>実証イベント来場者数の設定については、イベント内容や規模、開催場所等を勘案し、適切な目標値を設定する。また、イベントについては、近隣市町村と連携する等、効果的な実施方法の検討を行う。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	⑩		石川多目的ドーム機能強化事業	R4 ～ R7	主に闘牛大会の会場として活用されている石川多目的ドームについて、様々なイベント開催ができる施設への機能強化を図り、年間を通じてイベントの開催が可能となる施設整備を行う。	多目的ドームの機能強化 ・大型ビジョンの設置 ・土面保護材の設置 ・防風・雨除けネットの設置 ・LED電球の設置	・大型ビジョンの設置完了 ・土面保護材の設置完了 ・防風、雨除けネットの設置完了 ・LED電球の設置完了	ドームでのイベント利用の向上 R5年度:35回 R6年度以降:40回以上	過去の利用実績を勘案して設定した。 R1年度:26回 R2年度:22回 R3年度:28回
	⑪		「闘牛のまち・うるま」PR事業	R4 ～ R6	闘牛文化の保存・継承・活用と観光・商工業の活性化を図るため、「闘牛のまち・うるま」をPRする。テレビ・ラジオ等の活用、動画、パンフレットや闘牛関連飲食メニュー・グッズの制作、闘牛場周辺のラッピング等を行う。また、家畜運搬車両へのPR看板設置費用に対して補助を行う。	テレビ・ラジオ等番組制作、闘牛関連動画、パンフレットや闘牛関連飲食メニュー・グッズの制作、闘牛場周辺のラッピング等を業務委託により実施。また、家畜運搬車両へのPR看板設置費用に対して補助を行う。	①冬季間の闘牛大会の観客動員数3,000人以上。 ②闘牛関連飲食・関連グッズ提供事業者 10社以上。	【今後のスケジュール】 闘牛大会観客動員数増加が闘牛文化の継承と地域経済への貢献につながるよう、事業内容見直し、成果目標更新をしつつ、継続して闘牛文化そのものの魅力発信と、「闘牛のまち・うるま」のPRを行う。	【R4成果目標設定の考え方】 ①現状、闘牛大会はその大会知名度により、集客数にばらつきが生じている。そこで、常に会場が満員になることを目標として数値を設定。 ②闘牛関連飲食メニューやグッズの提供店は現在1～2店舗しかなく、闘牛の地元経済への貢献度が低いため、提供店舗を開拓することを目標とした。
	⑫		観光防災危機管理対策事業	R3 ～ R6	平常時からの減災対策として、観光危機管理対策に関する知識等の普及啓発を図るとともに情報伝達体制を強化する。	・勉強会(2回)、訓練(1回)の実施 ・翻訳機器類等の配備(避難所5箇所以上) ・防災アプリ機能強化の検討 ・大型LEDビジョンの設置(2基)	・勉強会新規参加事業者数:8団体 ・訓練新規参加団体:3団体 ・翻訳機器類等の配備完了 ・大型LEDビジョンの設置完了	【今後のスケジュール】 継続的に勉強会や訓練を実施し、R5年度に事業者から情報収集するシステムを構築し、R6に防災イベントなどを実施し、市民・観光客・事業者への観光危機対策に関する知識等の普及啓発を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 勉強会及び訓練の新規参加者数については、昨年度の実施状況を参考に設定。
	⑬		ロードパーク活性化プロジェクト	R4 ～ R6	うるま市の4大観光の一つである海中道路のほぼ中心に位置するロードパークの魅力創出と機能強化を図ることを目的に、基本計画の策定を行う。	活性化基本計画の策定 ・現状把握、基礎調査 ・関係機関等のヒアリング ・現状の問題、課題の整理 ・整備内容の検討 ・基本計画図の作成 ・管理運営計画	活性化基本計画の策定完了	【今後のスケジュール】 R5 実施設計 R6 施設整備 R7 供用開始	
	⑭		勝連城跡を中心としたうるまの総合的魅力的プロモーション事業	R4 ～ R5	勝連城跡を中心としたうるまの文化・観光・物産等の総合的魅力的プロモーションを実施し、市内周遊滞在型の観光誘客を図ることを目的とし、実行委員会へ補助金交付を行う。	・実行委員会の開催 ・事業実施に向けたプロモーションの実施(ポスター制作等)	・事業実施のための会場確保 ・事業の企画内容およびプログラム決定 ・プロモーション活動の実施	R5年度 プロモーションイベントの実施 ※シティプロモーションによる市内来訪動機付けを行い、観光誘客を図る。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R6	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る	津堅島農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施 ・堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部補助。	津堅島農業支援業務の完了	【R5成果目標】 津堅ニンジン反収2.0t/10a 【今後のスケジュール】 津堅ニンジンを含めた栽培に係る支援を実施し、津堅島における農産物の増産に取組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	②	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R7	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	R4強化型パイプハウス3,000㎡設置、農業用機械の導入、生産農家5戸	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入の完了	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める。 ・R5成果指標については、公募後に決定した対象品目に応じて令和4年度に決定する。	【R4成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を参考に設定する。 (参考) R2:なす出荷量7.9t 葉野菜1,500kg/10a かぼちゃ960kg/10a トルコギキョウ25千本/10a トマト
	③	病害虫防除資材補助事業	R4 ～ R8	事業実施主体による市内農家の病害虫防除に係る資材の購入経費補助事業に対して補助金を交付する。	病害虫防除資材の適正な利用を促すための補助事業を実施する。	病害虫の適期防除により蔓延予防を図る。	病害虫のまん延防止・被害軽減のため、適正防除により、病害虫まん延を防止する。	【R4成果目標設定の考え方】 本県は、亜熱帯気候の特性から農作物における病害虫が周年発生し、その発生模様は、多様なものであり、近年新たな病害虫発生が確認されるなど、新たな問題も生じており、これら病害虫のまん延防止・被害軽減のためにも適正防除の確立が課題となっている。そのため、適性防除により病害虫まん延を防止して、安定出荷できることで沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「安定的・持続的な農林水産業の推進」が出来るようになる。
	④	うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業	R4 ～ R5	うるま市農水産業振興の一層の充実を図るため、拠点施設であるうるま市農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシェ)の機能強化を図る。	・大型ビジョンの設置	大型ビジョン設置の完了	【R6成果目標】 売上前年比25%以上の増加 【今後のスケジュール】 ・駐車場の拡大(用地買収及び整備) ・防風設備の設置	【R6成果目標設定の考え方】 大型ビジョンの設置及び駐車場の整備が完了し、施設の来客及び売上が増加を見込む。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	ICTを活用した特色ある学校づくり事業	R2 ～ R4	児童生徒が減少傾向にある彩橋小中学校、津堅小中学校、与勝第二中学校の3校において、本市に拠点を置く企業と連携し、そのリソースを活用することにより、インターネットを利用した学校間・生徒間で協働で取り組む部活動やプロジェクト学習などを実施し、地域内外と連携して課題解決や価値創造に取り組める人材育成を図ることにより特色ある学校づくりを行い、生徒数の増加及び学力向上を図る。	・参加児童生徒数 40名 ・学習プログラムの開発 2件	・参加した生徒のライフスキル自己評価10項目平均10%増 ・本取り組みに起因する生徒数の増加3名	地域をテーマにし、課題解決策や新たな価値の創造について取組み、小規模校にない共同作業の充実感と、大切さを学習させ、地域での実践的な活動につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 特色ある学校づくりに取り組むことで学校の魅力が増し、児童生徒のライフスキル(生きる力)を向上させ、児童生徒数の増加につなげるため。
	②	小学校学力向上対策推進事業	h24 ～ R13	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・個別学習支援員配置 ・課外塾講師配置 ・デジタル学習ドリルを活用した個別学習	・沖縄県学力調査沖縄県平均正答率と本市の差を0にする(算数) ・全国学力学習状況調査における平均正答率30%未満の児童の割合の県との差を0にする。(算数)	個別学習支援員とAI学習ドリルを併用し、授業だけでなく、放課後学習指導等での運用も行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	③	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・個別学習支援員配置 ・課外塾講師配置 ・デジタル学習ドリルを活用した個別学習	・沖縄県学力調査沖縄県平均正答率と本市の差を0にする(数学) ・全国学力学習状況調査における平均正答率30%未満の生徒の割合の県との差を0にする。(数学)	個別学習支援員とAI学習ドリルを併用し、授業だけでなく、放課後学習指導等での運用も行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ R13	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。	①居室借上数(10部屋) ②技術力向上支援(12日間) ③家計簿管理支援(120回) ④支援世帯に合った個別支援(50回) ⑤児童生徒の生活・学習支援(小学生週6日 15名)(中学生 週3日×2クラス10名 合計20名) そのうち 中学3年生5名については1月～2月 補講有 ⑥高等学校卒業認定試験受験者支援	①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(100%) ②就労スキルアップ講座資格取得者(20名) ③学習習慣の定着度(90%)	・支援が必要な家庭への周知活動を工夫し、強化する。 ・支援世帯の年齢層、世帯構成に合わせた支援計画を作成する。 ・県母子会やハローワーク等と連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向けた支援を行う。 ・児童生徒の生活・学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 ・R4年度より高等学校卒業認定試験を受験するひとり親の学習支援を行う	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を踏まえ、ひとり親の自立を促すための指標を設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	①	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・SSWr配置人数 4名	・相談及び支援の件数 1000件 ・問題等を解決した件数 40件	各関係機関や家庭支援員、民生委員等と更なる連携を図り、問題解決と自立の糸口を見つけ出す。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	②	教育相談事業	H24 ～ R13	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	教育相談員配置数(9人)	相談件数実績に対するケース終結の割合を34%以上を目標にする。	【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える。	【R4成果目標設定の考え方】 過去のケース終結割合を勘案して設定した。
	③	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	適応指導教室指導員配置数(2人)	体験活動に参加することができた割合87%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合74%以上	【今後のスケジュール】 入級後も安定して通級できるよう、継続して支援体制を整える。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	④	うるま市スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R4	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	・外部指導員の配置 25名	・生徒等へのアンケート 80% ・部活動加入率 58% ・教員へのアンケート 80%	指導者の更なる充実を図りながら、市内9校への取り組み内容の周知を行い、未実施部活動への参加を促す。また、技術力向上を図りながら、ケガ防止対策の事業内容に取り組んでいく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	⑤	作業療法士巡回相談事業	R4 ～ R13	発達障がい等により、学校生活にうまく適応できず困り感のある児童生徒の行動と心を理解し、支援方法や指導方法、環境調整等を工夫改善し課題解決への対応を図る。	・学校巡回相談 ・講演会	・相談・支援件数 52件以上 ・問題改善率 50%以上	相談・支援を通して保護者の理解を高め、教職員のスキルアップに取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			海中道路周辺海域自然環境再生事業	R4 ～ R5	自然環境の悪化が課題となっているうるま市海中道路周辺海域の、「自然環境の再生・維持・活用」及び自然環境再生後の利活用をとおした地域活性化を推進することを目的とし、実施する。 令和4年度においては、自然環境悪化要因のひとつとなっている海中道路西口交差点南側海域に直接流入している与那城庁舎横用悪水路排水の直接浄化設備の設置計画を策定する。	設置計画の策定	設置計画の策定完了	令和5年度:設計業務・設置工事 令和6年度:供用開始 令和2年度以降、当該海域においては、地域住民の協働のもと、干潟耕耘や浄化材散布等の自然環境再生活動を実施しており、その活動直後は、一時的ではあるが、環境の改善が確認されている。 しかしながら、対象海域には、与那城庁舎横を通る用悪水路から絶えず環境負荷の高い排水(例 BOD:80mg/l)が流入しており、前述の活動のみでは、自然環境再生の実現に限界がある。当該用悪水路排水の直接浄化と自然環境再生活動を併せて実施することで、より高い事業効果が期待できる。	設備供用後の成果目標(予定) 【環境改善】 一般的浄化設備性能に基づき設定 ● 該当水路水質 令和4年度 BOD:80mg/l 令和6年度 BOD:20mg/l ● 海域(該当水路接続点)底質実施計画に基づき設定 令和4年度 硫化物:0.061mg/g 令和10年度 硫化物:0.019mg/g ● 臭気指数 実施計画に基づき設定 令和4年度 17 令和10年度 15未満
9			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R13	景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観修景に関する助成を行い整備することで、観光地としての魅力向上を図る。	まちなみ景観助成の実施	まちなみ景観助成の実施の完了	【今後のスケジュール】 景観・風景づくりを推進し、観光地としての魅力向上を図る。 【R8年度成果目標】 景観地区指定地域について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含めたアンケート調査(満足度80%以上)	【後年度の成果目標】 景観地区に指定されている地区について、まちなみ景観助成事業を実施し、前回アンケート調査から5年を目途とし、観光地としてふさわしい景観であると概ね肯定的であると考えられる数値として設定した。
10			自主防災組織活動強化事業	H25 ～ R8	自主防災組織における防災士の資格取得支援をはじめ、防災教育や防災訓練、防災資機材の点検や整備を行い、災害時における地域の組織力の醸成を目的とする。	自主防災組織における防災士の育成、防災マップ等作成補助及び資機材整備	防災士資格取得支援 61名 (自主防災組織 61団体)	【今後のスケジュール】 自主防災組織との調整を行い、「自助」、「公助」、「共助」を原則として人材育成を進め成果目標の達成につなげていく。 【R5～R8成果目標】 防災士取得:24人	【R5以降の成果目標設定の考え方】 自主防災組織結成 61団体 各自主防災組織に2名づつ配置を予定 R5～R8 各24名 計96名

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R6	新たな交通システムの実現に向け、実際のフィールドにおいて、導入に向けた実践的な実証事業を行う。	新たな交通システムの検討及び調査	本格運行を見据えた実証計画の作成。 公共施設間連絡バス 年間利用者数:17,500人	【R5成果目標】 年間利用者数:22,500人 【今後のスケジュール】 R3:新たな交通システム検討、実証実験 R4:実証実験(継続)、有償計画と運行体制の構築 R5:有償での実証実験	【R5成果目標設定の考え方】 過年度実績を元に30%の増加を図るものとして設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業	R4 ～ R9	国指定文化財(名勝及び天然記念物)となっている八重干瀬の、国立公園等への指定、将来的には世界自然遺産登録を目指すため、八重干瀬とその周辺地域について自然資源の現況を把握し、保全活用体制の整備を図る。	業務①:水深10m以浅の海域についてサンゴを主とする生物の分布状況概況及び攪乱状況、ならびに隣接沿岸の陸域植生について概況調査を実施する。 業務②:対象地域について、概ね水深30m以浅の海底ならびに隣接陸域地形のレーザー測量のデータを購入する。	業務①:約3.9万haの対象地域の約10m以浅のエリアのサンゴ分布概況作成 業務②:約3.9万haの対象地域の約30m以浅のエリアの詳細地形図取得	【今後のスケジュール】 業務①、②をもとに、国立公園等指定にふさわしい自然環境特性を明らかにするため、R5年度の詳細調査に発展させる。 また、保全対策が必要となる攪乱状況が確認された際には、その詳細な把握と対策立案を検討する。	対象地域の面積は、現在、国指定名勝及び天然記念物「八重干瀬」の面積に、海底を含め他地形的連続性が示唆される宮古島島尻地区・南静園までを加えた約3.9万haとした。なお、環境省が定める「国立公園及び国立公園の候補地の選定及び指定要領」では国立公園候補地の要件として3万ha以上としてることも勘案した。
2	①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地アクセス道路の環境美化の実施:32路線	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観形成が図られていると感じた値として80%以上を設定し、アンケート調査の数値を基に本事業のあり方を検討する。
2	②	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園12箇所の環境美化実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	持続可能な観光地域づくり推進事業	H24 ～ R8	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する。	①観光PRイベント等への参加 ②新規航空路線就航に向けたPR活動 ③観光マネジメント体制構築業務	入域観光客数605,300人以上	【今後のスケジュール】 プロモーション活動を継続的に実施し、令和4年度入域観光客数605,300人以上を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及びコロナウイルス感染症の影響を勘案し設定した。
3	②	閑散期におけるスポーツ合宿誘致検証事業	R4	観光客数が落ち込む冬場(閑散期)における誘客を促すため、長期滞在型スポーツ合宿誘致の実現可能性について検証する。	閑散期におけるスポーツ合宿誘致の検証	スポーツ合宿実施団体数:60団体	【R4成果目標】 スポーツ合宿実施団体数:60団体 【今後のスケジュール】 本事業で得られた成果を基に、本市におけるスポーツ合宿誘致を促進し、閑散期(冬場)における安定的な誘客につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績(R2年度スポーツ合宿実施数8件)に、本事業で実施するモニター合宿50件を加えた数を上回る数値を設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	③	観光循環バス自走化実証事業	R4 ～ R6	観光循環バスの将来的な自走化運行を実現へ向けて、採算性のあるルート・ダイヤの検討を行う。	観光循環バスの本格運行の利用促進が図られるルート・ダイヤの検討及び利用者、関連事業者の課題把握。	採算性のあるルート・ダイヤの選定。	事業採算性を踏まえたルート・ダイヤの選定を行い、完全自走化を目指した取り組みを行う。 事業の最終目標として、1時間半間隔で、16本/日(往復)の路線バス運行を行う。	【R4成果目標設定理由】 ルート・ダイヤの選定について、利用者及び関連事業者(各観光関連施設等)へのアンケートやヒヤリングを行い、本事業の課題を把握。また、バス路線の採算性を検証し、今後の事業展開へ繋げる。
4	①	"宮古島産の牛"生産推進事業	R4 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う	・優良母牛更新80頭/年	・素牛の年間出荷頭数:4,176頭 ・素牛の平均販売額700千円	【今後のスケジュール】 宮古島産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 ・直近4ヶ月(R3.4月～7月)の出荷頭数の平均348頭×12ヶ月=4176頭 ・素牛の平均販売額はH28～R2の平均額700千円
4	②	地産地消による地域内経済循環システム構築事業	R4 ～ R13	市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ブランドづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。	学校給食 ・地産地消コーディネータ実証 地産地消ブランド制度検討 ・制度の検討・骨子の立案 地域内経済循環分析システムづくり ・調査設計及び体制構築	学校給食における地産食材利用率の向上(13%以上)	【今後のスケジュール】 学校給食及びその他の飲食、小売、ホテル等への地産食材の利用率向上を図り、地域内経済循環を高めていく。併せて、地域内経済循環分析の仕組みを構築することで、事業や民間の取り組み効果を見える化する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施:21回(普通救命講習Ⅰ/15回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/3回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動 ・訓練用入形10体購入	①救命講習会受講者数 1200名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	今後も新型コロナウイルス感染予防対策を行い講習会を継続的に開催し目標数値を達成するとともに、市民の救命能力の向上を図る。	令和3年度11月末までの実績を考慮し設定を行った。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	①	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・社会福祉士配置:1人 ・スクールソーシャルワーカー配置:5人 ・問題行動学習支援員配置:3人	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	②	選手派遣支援事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される際の旅費の一部を補助する。	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	③	宮古島市文化ホール舞台設備等機能強化事業	R4	宮古島市文化ホールの舞台設備を機能強化し、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場を確保する。	宮古島市文化ホール舞台照明設備等の設備更新	宮古島市文化ホール舞台照明設備等の設備更新工事の完了	【R5年度成果目標】 施設利用者(入場者)数:42,000人以上 施設設備の機能強化を図り、実施イベント等について、より充実した内容の検討を行い、利用者の増加に繋げる。	※ 過去の実績を勘案し設定 【令和元年度の40,166人を基準】 基準年度から5%程度の利用人数増で設定。
7	①	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R3 ～ R4	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港からの航空貨物輸送販路拡大支援(物産展など)	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	【R5成果目標】 下地島空港における航空貨物取扱量:630t/年 【今後のスケジュール】 下地島空港において航空貨物輸送体制を構築することで、農水産業の振興・生活物資の共有安定・観光客受入体制の強化に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 事業者へのヒアリングを基に設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	①	地下水保全調査事業	H29 ～ R4	東添道地下水流域の流域界位置精度向上調査を行う。	1)東添道地下水流域は市の規制対象となっている水道水源保全地域に指定されているが、その流域境界位置精度は高くない。そのため境界位置が不明瞭な東添道南西部境界面での調査を行い、その流域保全範囲の精度を高め今後の地下水保全につなげていく。	1)東添道地下水流域の流域界位置精度向上調査の完了	【今後の展開】 定期的に地下水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に合う保全方法を検討していく。	1)調査結果を基に検討していく。
9	①	宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R6	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	地上機器購入(R4分)及び引込ケーブル設計を行う。	地上機器購入(R4分)及び引込ケーブル設計の完了。	【R7成果目標】 近隣観光施設利用者を対象として、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4: 地上機器購入。引込ケーブル設計 R5: 地上機器等購入。電線ケーブル入線工事。通信引込管路設計及び設置工事 R6: 通信ケーブル設計及び入線工事 R7: 供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
10	①	バス停上屋整備事業	R4	観光客が強烈な日差しや風雨を避け快適にバス停を利用できるようにするため、観光客が多く利用する大型商業施設付近のバス停上屋を整備する。	バス停上屋設置工事(1基)を実施する。	・バス停上屋設置工事(1基)の完了 ・バス停利用者を対象として、快適にバスを利用できるようになったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R4: バス停上屋設置工事(1基) R4: 供用開始 供用開始～事後検証前 利用者アンケートの実施	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。バス停上屋設置～事後検証までの期間の利用者を対象とする。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	スポーツツーリズム推進事業	R4 ~ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理(利用による損傷に強くする)	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	【今後のスケジュール】 良質な芝生の維持管理を行い、サッカーキャンプ定着に向けて取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定
1	②	第2次南城市観光振興計画検証調査事業	R4	第2次南城市観光振興計画の取組の効果を検証するため、中間評価として、本市の観光振興における進捗状況の確認、見直しを行う。	第2次南城市観光振興計画の評価検証の実施	第2次南城市観光振興計画の検証・見直しの完了	【R5成果目標】 一人当たりの観光消費額:16,000円 【今後のスケジュール】 計画書(改訂版)を基に、南城市の観光振興を進めていく。	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画(第2次観光振興計画)の中間値を参考に設定した。
1	③	デジタルアーカイブ事業	R4 ~ R13	観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・文化財活用コンテンツの取り組み:3エリア ・資料情報の充実化および新規資料の公開 5,000点	・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 ・デジタルアーカイブ閲覧数60,000pv以上	【今後のスケジュール】 継続してアーカイブの充実化および利用普及の取り組みを行い、地域の観光振興および地域振興を図る。	【R4成果目標の設定の考え方】 R3の実績を勘案した。 ・R3年度 965件(実績) ・R3年度 56,376pv(実績)
1	④	南城歴史文化発信事業	R4 ~ R8	南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通じた地域振興を図るため、歴史文化発信拠点を整備するため、基本構想を策定する	・歴史文化発信拠点基本構想の策定 ・不動産鑑定委託 ・地籍測量委託	歴史文化発信拠点基本構想の策定完了	【R9成果目標】 年間来館者数 18万人	【R9成果目標設定の考え方】 斎場御嶽過去3年の平均来場者数を参照
1	⑤	奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業	R4 ~ R6	奥武島いまいゆ市場に飲食スペースの整備を行い、施設の利便性を向上させることで、更なる県内外の観光客を誘客し地域の活性化を図る。	基本設計	基本設計の完了	【R7成果目標】 ・施設利用者にアンケート調査を実施し、飲食スペースの整備により利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・繁忙期(7~10月)の奥武島への来島者数〇〇人増	【R7成果目標設定の考え方】 ・事業の成果目標として、施設利用者へのアンケートを実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。 ・R4年度に人流ビッグデータを活用し、現在とコロナ禍前の繁忙期(7~10月)の奥武島への来島者数を調べR7成果目標を設定する。
2	①	学習支援員配置事業	R4 ~ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員9名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置人数については検討を行い、児童生徒の個々の学力に応じた学習指導を行い、学力向上に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	特別支援教育支援員配置事業	R4 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・市内4幼稚園:特別支援教育支援員4名配置 ・市内8小学校:特別支援教育支援員30名配置 ・市内4中学校:特別支援教育支援員5名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象については検討を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
2	③	ICT支援員派遣事業	R4 ～ R7	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	市内13小中学校にICT支援員2人を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 効果的に、ICTを授業に活用してもらうため、ICT支援員を継続的に派遣する。	【R4成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。
2	④	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	R4 ～ R5	GIGAスクール構想で整備したタブレット等との連携や、ICT活用によるわかる授業、魅力ある授業の質を保障することを目的に、市内各小中学校へ電子黒板を整備する。	南城市立各小中学校における電子黒板整備	電子黒板整備:143台	【R5成果目標】 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【R5成果目標設定の考え方】 本事業の効果についてアンケートにより検証する。
3	①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R8	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	優良母牛導入頭数:60頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	【今後のスケジュール】 今後も発育能力の高い優良繁殖牛を継続して導入し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
3	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数:60頭	乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,988kg以上(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上	【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 前年度の実績を勘案して設定した。
3	③	耐候性野菜栽培施設整備事業	R4 ～ R6	気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備することで、農家の生産量の増加及び南城市産野菜の産地形成を図る。	耐候性ハウス約3,000㎡(約10棟)	耐候性ハウスの整備完了	【R5成果目標】 農産物の生産量については、要望調査後に決定した対象品目に応じて決定する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象品目に応じて、「沖縄県農業経営技術指標」、「沖縄県野菜栽培要領」などの10aあたりの収量から勘案し設定する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	① デジタルのまちづくり推進事業	R4	県内下位に位置する市民所得の向上や知念、久高島地域の過疎対策、新しい生活様式に対応した観光客受け入れ体制の強化などの地域課題解決を図るため、デジタル技術を活用した取組を推進し、持続発展可能なまちづくりを目指す。	デジタル田園都市構想(仮称)の策定	デジタル田園都市構想(仮称)に、地域課題解決に係るいずれかの取組を盛り込む。	【R5成果目標】 デジタル田園都市構想(仮称)に記載した事業の実施:1事業	【R5成果目標設定の考え方】 構想に記載した事業を順次、実施し、デジタル技術を活用したまちづくりを推進するために、R5ではデジタル田園都市構想(仮称)に記載した事業の1事業の実施とした。	
5	① 佐敷海岸海辺のまちづくり推進事業	R4	佐敷海岸にある、人工海浜、マリナー跡地や静穏な海域を利用した海洋性レクリエーションなど、海辺を活用したまちづくり構想を策定する。	(仮)佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了	(仮)佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了	【R5成果目標】 関係機関(県、市)による新たな活用及び整備に向けた協議:2回	【R5成果目標設定の考え方】 佐敷海岸については、管理者が複数いることから整備等について協議(調整)する必要がある。	
6	① 低炭素なまちづくり推進事業	H28 ~ R5	二酸化炭素排出量の削減を図るため、公共施設の照明機器や空調機器を省エネ型の機器に切り替える。	・設計業務の実施 ・LED照明柱、地中配線整備の実施	・設計業務の完了 ・LED照明柱、地中配線整備の完了	【R6成果目標】 南城市文化センター 78.03t/年 削減 大里中学校グラウンド 13.2t/年 削減	【R6成果目標設定の考え方】 既存の照明や空調を省エネ化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	スポーツコンベンション 観光振興事業	H25 ～ R4	冬春季におけるスポーツ合宿の実施増加、受入環境の充実を図るため、陸上競技場第3種公認の更新に対応した陸上競技用備品の整備及び野球のキャンプ・合宿で使用するバッティングゲージ等を整備することにより、合宿誘致の増加及び施設の機能強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3種公認に対応した陸上競技用備品の整備 ・野球場バッティングゲージの整備 ・サッカーゴールの整備 ・施設整備用トラクターの整備 ・テニスコート備品整備 ・トレーニングルーム備品整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3種公認に対応した陸上競技用備品の購入 ・野球場バッティングゲージの購入 ・サッカーゴールの購入 ・施設整備用トラクターの購入 ・テニスコート備品の購入 ・トレーニングルーム備品の購入 	<p>【R5成果目標】 合宿誘致件数：56件以上</p> <p>【今後のスケジュール】 R4年度 第3種公認対応陸上競技用備品購入完了 野球場バッティングゲージ購入完了 サッカーゴール購入完了 施設整備用トラクター購入完了 テニスコート備品購入完了 トレーニングルーム備品購入完了</p> <p>R4年度 陸上競技用備品及びバッティングゲージ等供用開始</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
2	①	観光施設機能強化事業	R4 ～ R5	観光誘客や環境教育の活用を図るため、本村における観光施設の機能強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの森遊歩道実施設計の実施 ・学びの森遊歩道改修工事の実施 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修実施設計の実施 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの森遊歩道改修実施設計の完了 ・学びの森遊歩道改修工事の完了 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修実施設計の完了 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修工事の完了 	<p>【R5成果目標】 ・遊歩道年間利用者数：1,800人以上 ・奥ヤンバルの里年間利用者数：4,600人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 R4年度 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修工事 R5年度 ・学びの森遊歩道改修工事 ・供用開始</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 過去(H30年度～R2年度)の実績を勘案して設定した。</p>
3	①	やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R6	村内の観光施設における外来種及び重要な種の分布状況を把握するとともに、必要に応じて外来種の対策を講じる。また、村営林道を中心とした監視体制強化及び外来種や希少種等の分布状況の調査を行い、現状を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・村内観光施設における外来種防除対策の実施 N=2か所 ・村営林道における林道パトロール及び外来植物等の分布調査の実施 N=12本 	<ul style="list-style-type: none"> ・村内観光施設の外来植物減少率 A=50%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件 	<p>【R5成果目標】 ・村内観光施設の外来植物減少率 A=50%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件</p> <p>【今後のスケジュール】 R5観光施設及び村営林道防除等の業務 R6観光施設及び村営林道防除等の業務</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	学習支援配置事業	H25 ～ R13	村内小中学校に学習支援員を配置し、授業に遅れのある子を集中的に対応し、特に基礎的な学力を定着させることで、学力到達度調査による平均正答数の向上を狙う。	学習支援員の配置 ・小学校 2名(各校1名) ・中学校 1名	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答数の差を以下の範囲内で収める。 ・小学校 国語:-1.73ポイント以内 算数:-2.39ポイント以内 理科:-2.00ポイント以内 ・中学校 国語:-0.87ポイント以内 数学:-0.80ポイント以内 理科:-2.03ポイント以内 社会:-0.50ポイント以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員を配置し、基礎的な学力を定着させることで、沖縄県学力到達度調査の平均正答数の上昇に取り組む。	【R4成果目標の設定の考え方】 過去(H29年度～R1年度)の実績を勘案して設定した。 ※R2年度はコロナウイルスにより未実施のため
4	②	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ～ R13	英語支援員を配置することにより、児童の英検jr.の取得率や沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答数の上昇につながる。	英語支援員の配置 ・認定こども園・小学校・中学校 2名 ・中学校(専属) 1名	・認定こども園・小学校 英検jr.取得率 ブロンズ 42%以上 シルバー 35%以上 ゴールド 26%以上 ・中学校2年生 沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答数の差を以下の範囲内で収める。 英語:-0.90ポイント以内	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員を配置し、児童の英検jr.取得率や、中学2年生の英語の沖縄県学力到達度調査の平均正答数の上昇に取り組む。	【R4成果目標の設定の考え方】 ・英検jr. R2年度の実績を考慮 ・中学2年生英語 過去(H29年度～R1年度)の実績を勘案して設定した。 ※R2年度はコロナウイルスにより未実施のため
4	③	学習支援教室委託事業	H28 ～ R13	学習支援教室(無料塾)を設置し、中学3年生の高等学校への進学を支援する。	学習支援教室(無料塾)を設置し、中学3年生の高等学校への進学を支援する。 対象:中学3年生 設置期間:7月下旬～翌年3月(週3回) ・1日当たりのコマ数:3コマ(3時間) ・実施科目:国語・数学・理科・社会・英語 ・実施形態:委託	受講生の高校受験合格率:100%	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援教室(無料塾)を設置し、中学3年生の高校進学を支援する。	【R4成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	①	多自然川づくり事業	H24 ～ R4	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	・河川工事の実施(L=121m)	河川工事整備率 100%(1,011m/全体延長L=1,011m)	<p>【R5成果目標】 整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数 20人</p> <p>【今後のスケジュール】 令和3年度 河川整備工事 令和4年度 河川整備工事 令和5年度 供用開始</p>	【令和5年度目標設定の考え方】 類似の商店街観光誘客イベントを参考に設定した。 類似の観察会(辺土名川水生生物観察会)等を参考に設定した。
6	①	森林公園多目的施設整備事業	R4 ～ R5	令和5年度における多目的施設建設のため、令和4年度には実施設計業務を実施する。	多目的施設実施設計業務の実施	多目的施設実施設計業務の完了	<p>【令和6年度成果目標】 年間利用者数:13,058人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 R4年度 多目的施設実施設計業務の完了 令和5年度 多目的施設工事管理業務の完了 多目的施設建築工事の完了 多目的施設電気設備工事の完了 多目的施設機械設備工事の完了 令和6年度 供用開始</p>	【令和6年度の成果目標設定の考え方】 過去のおもちゃ美術館利用者実績を勘案し設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	大宜味村観光情報発信事業	H24 ～ R13	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつりを開催し、誘客を促進する。 また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援	産業まつり参加者数 約5,000名 (参考 H29年度 役4,400名 H30年度 役4,700名 PRイベントの参加者数 約11,000名以上	【産業まつり】 同時開催している国頭村までのシャトルバスを配置し、まつり参加者数の増加に繋げる。 雨降りなどの天候の悪い日はグラウンドなので足下が悪くなるため、別会場での開催も検討する。 【PRイベント】 新規開拓地も視野にイベント交流人口11,000人以上を目標に村内外にてPRイベントを実施する。	
1	②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置(二人) ・各保護・捕獲器の設置(ハブ:40台、犬:3台、猫:10台) ・保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施 ・保護した野良猫の譲渡強化を図るため、愛護団体と連携し保護ネコの引き渡しを実施する。	①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:23.08%以上 ③保護した猫の譲渡:150件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	
1	③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R9	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・護岸整備工事の実施 L=200m	・累計河川工事整備率 90% (2,358m/全体延長2,600m)	【今後のスケジュール】 R4 一部供用開始、護岸等整備工事 R5 護岸等整備工事 R6 護岸等整備工事 R7 護岸等整備工事 R8 護岸等整備工事 R9 護岸等整備工事・台帳整備 R10 全体供用開始	
1	④	塩屋湾周辺整備計画策定事業	R4 ～ R5	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の活用・整備等を示す塩屋湾基本構想計画を策定する。	・前提条件の整理 ・エリアゾーニング ・ロードマップの作成	塩屋湾周辺整備基本構想の策定	【R4成果目標】 策定した基本構想を基に、観光・産業振興に向けた施設整備など、今後の塩屋湾周辺の活性化に向けた展開及び目標について設定する。 【今後のスケジュール】 基本構想を基に基本計画の策定を行う。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	大宜味村エコツーリズム推進事業	R4 ～ R5	大宜味村内観光ガイド育成に関するテキスト作成を行い、現場研修及び試行プログラムなど、大宜味村の観光に関する資質向上を図る。	大宜味村内観光ガイドの育成及び観光に関するマニュアルの作成	大宜味村内観光ガイド育成に関するテキスト作成	【R4成果目標】 大宜味村の観光ガイド育成に関するマニュアルの作成を行う 【今後のスケジュール】 観光事業人材の育成及び確保者数村民10人目標値として設定する。	
2	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	将来の大宜味村を担う児童生徒の基礎学力の定着を図る為、村内の小学校1校と中学校1校に学習支援員を配置する。	・小学校3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校2名(1年～3年 2名)	沖縄県学力向上到達度調査の5教科を対象に県平均正答率との差を0ポイントまで引き上げる。 ①小学校 0.0ポイント以上 ②中学校 0.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 小学校は県平均正答率に達していないため、県平均以上を目指し、事業を継続していく。中学校は前年度目標数値を超えたため、目標数値を比較0まで引き上げる。	
2	②	地域支援員配置事業	H25 ～ R13	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等に対して生徒を支援する地域支援員を配置する。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 (対象:小学校及び中学校)	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	【今後のスケジュール】 現在不登校者0であり今後も事業を継続し、不登校者0を維持していく。	
2	③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	生涯学習講座 12回以上開催	講座受講者数:240名以上	【今後のスケジュール】 本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図る。	
2	④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R11	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒への県外派遣支援	児童生徒が広視野を持てたか(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援し、広い視野を持った人材の育成を図る。	
3	①	カラキ活用推進プロジェクト事業	H28 ～ R13	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖等を行う。	・挿し木苗の栽培管理の実施 ・鉢上げ作業の実施 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の実施 ・苗の配布実施 ・講習会の開催(年1回以上)	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催(年1回以上)	【R4成果目標】 開発した商品を活用した村内事業者:11店舗以上 【今後のスケジュール】 これまで加工方法や商品開発方法について検討した成果をもとに1次加工及び商品開発を行う。また、事業終了後については、増殖した優良系統のカラキ苗は農家へ配布して定植をする。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①		パインアップル品質向上生産施設整備事業	R4 ～ R4	高品質なパインアップルを生産するため、ハウス施設の整備に対し補助を行う。	ハウス施設整備の支援	ハウス施設の設置完了	<p>【R5成果目標】 パインアップルの植付、肥培管理</p> <p>【R7以降成果目標】 ハウスパイン収量4,800kg/10a R7収量 6,178kg/1,287㎡ R8収量 6,178kg/1,287㎡ R9収量 6,178kg/1,287㎡</p> <p>【今後の展開方針】 導入農家に対し、計画とおりの出荷ができるよう必要な指導及び支援を行う。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 パインアップルは植付から収穫まで2年程度要することからR5に植付し、R7に収穫を行う。 収量は、沖縄県公表資料を参考に設定した。</p>
2	①		特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R8	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が、円滑な学校生活が送れるよう、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数(全4名) 2小学校に各1名(計2名)、 1中学校に2名	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	<p>【今後のスケジュール】 学校教職員とスクールソーシャルワーカー等と特別支援教育支援員が情報を共有し、連携を取ることで円滑な学習環境を提供することにより学力向上に繋げる。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象児童の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
3	①		小中学校電子黒板設置事業	H26 ～ R4	将来の本村や沖縄振興に資する人材育成や沖縄が抱える学力向上における課題克服の為に村内小中学校の教室に電子黒板を整備し、児童生徒に解りやすく効果的な授業を実施し、学習意欲を高め学力向上を図る。	村内小中学校の教室へ電子黒板を設置する。 設置数 20台	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 各教職員の電子黒板活用スキルの向上を図り、児童生徒の県及び国の学力検査(テスト)のレベルアップを図る。</p>	<p>【R4成果目標の設定の考え方】 村内小学校 3校 設置教室数 14 村内中学校 1校 設置教室数 6</p>
4	①		東村自然環境保全事業	R3 ～ R8	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、赤土等流出が著しく酷い古島川流域における土本的対策の基本設計を行い、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する。	R3年度に実施した発生源調査及び実態に応じた土本的対策の検討を踏まえ、基本設計を行う。	R3年度に実施した発生源調査及び実態に応じた土本的対策の検討を踏まえ、基本設計の完了。	<p>【R10年度以降成果目標】 降雨時、海域への濁水排出基準濃度200mg/l</p> <p>【今後のスケジュール】 R5:実施設計(工区①)の実施 R6:工事(工区①)の実施 R7:実施設計(工区②)の実施 R8:工事(工区②)の実施</p>	<p>【R10成果目標設定の考え方】 R3年度の発生源調査・対策内容等を踏まえて、海域へ流出する赤土の具体的な海域への濁水排出基準値を設定する。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	①		東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)が村民及び県民との交流を通じて、本村の移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材の育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。	・研修生受入 4人 ・染め物や沖縄料理、方言等の沖縄文化を学ぶとともに村民及び県民との交流を実施。	研修に参加した子弟が帰国後、本村と移住先国子弟との友好親善、沖縄文化の振興に貢献できる人材として、活躍出来ているか(80%以上)を東村人会にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・受入事業は定期的に継続し、相互の情報交換を行いネットワーク向上を図る。 ・相互交流も定期的に継続する。	
6	①		東村健康づくり事業	R3 ～ R6	村民の健康増進を図るため、(高江区・有銘区)の2地区に健康器具を設置する。	健康器具設置工事	健康器具の設置工事の完了	【R10成果目標】 ・メタボ該当者を27.6%(R2)から0.6%減の27%に下げる。	R10年度成果目標については、27.6%(R2)から26.4%(県平均)を引いた1.2%の半分0.6%減を目指す数値とした。 設置後、効果の検証を数年かけて実施していき、R15には、メタボ該当者が県平均26.4を下回る。
7	①		東村博物館機能高度化事業	R4 ～ R7	生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である村立博物館の施設機能高度化を実施する。今年度は基本設計を行う。	基本設計の実施	基本設計の完了	【R4成果目標】 年間利用客数4,200人 【今後のスケジュール】 R4: 基本設計 R5: 実施設計 R6: 建築・設備工事 R7: 建築・設備工事	【R4成果目標設定の考え方】 東村観光振興計画の数値目標を参考に設定した。
8	①		福地川周辺利活用構想策定事業	R4 ～ R4	福地川周辺の活用、整備等を示す福地川周辺利活用構想を策定する。	・現状・課題の整理 ・動向調査、事例調査 ・関係機関ヒアリングの実施 ・構想の策定	福地川周辺利活用構想の策定	【R4成果目標】 策定した構想を基に、福地川周辺域の開発、エリアを活用した観光コンテンツの造成を図る。	R4年度の構想を踏まえ、具体的な目標値を設定する。
9	①		環境保全・ネコ適正飼養推進事業	R4 ～ R4	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、本村における飼いネコ及び飼い主不明ネコの実態調査を実施する。	村内における飼いネコ・飼い主不明ネコ・地域ネコの現況を調査し把握する。	①飼いネコの飼養状況：全件把握 ②飼い主不明ネコ・地域ネコの生息地・頭数把握	R4の調査を踏まえ、対応策・目標値を設定。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもので。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもので。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10	①	沖縄県復帰50周年記念事業	R4 ～ R4	沖縄県本土復帰50年を記念して、復帰までの歴史や村の移り変わりをデジタル化し、ホームページ上で公開、各施設にて展示会を開催することで、復帰前後の村の文化と歴史を若い世代へ継承することを目的とする。	①東村の記録(写真、資料等)の収集・デジタル化 ②東村の歴史展開催	①展示会来場者数:120人/日(20人/日×6公民館=120人/日) ②来場者にアンケートを実施し、展示会の満足度(70%以上)を目標として、事業の効果を検証していく。	各字公民館や東村の公共施設で写真展を開催し、復帰前後の東村の歴史を振り返る。	【R4成果目標設定の考え方】 コロナ禍であることを踏まえ、類似事例の実績より算定した。 また、実施の効果検証をアンケートにて行う。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	小中学校にそれぞれ特別支援員(有資格者)と特別支援員(無資格者)を配置する。 ・小学校 特(有)3人 特(無)8人 ・中学校 特(有)1人 特(無)3人	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に必要な数の支援員を計画的に配置する。	【R4成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。キャリア教育を通して基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さや長所を違う場所から見たり、新しい環境に適応できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つげるため、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	・各校の授業カリキュラムと地域の人材を把握、活用、連携し子ども達の職業観を育む活動を行う。 ・職業観、経営意識を育むため、子ども達が自分たちで考えたイベントやテナント運営を行う。 ・県外事業所を活用したインターンシップを行う。 ・講演会を開催する。	本事業によって基礎的・汎用的能力が育まれ就業に対する意識の向上が図られたか(向上度80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 キャリア教育を通して児童生徒の基礎的・汎用的能力を身につけ職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。	
1	④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。	・臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(62%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 障害を有する児童生徒が、集団生活や日常生活に対応できるよう教育支援を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑤	教育相談事業	R2 ～ R13	不登校や問題行動等を課題を抱える児童生徒や保護者を対象にカウンセリングによる支援を行い、不登校の改善を図る。	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。 相談員 2人	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったかを含め、学校及び保護者に対するアンケート(87%以上)により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 不登校や問題行動等の課題を抱える児童生徒や保護者の相談を受け、不登校の改善に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の課題解決が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥	人材育成事業	H24 ～ R13	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、児童の視野を広げ、教養に対する意欲を高めることで、人材育成を図る。	小学生を対象に、山形県酒田市の児童と文化学習会等の交流や、東北地方の気候、暮らし、文化等を学ぶ。 派遣児童数:36人	交流を通じて児童の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、児童の視野を広げ、人材育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑦	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学中の中学生2人をハワイ州に、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 留学生徒数の増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の保護者がより、国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証をする。
2	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。また、併せて観光客の安全確保のため危険生物等の除去を行う。	・今帰仁城跡及び村内観光地並びに観光ルートの美化作業の実施。 ・観光地として魅力的な景観形成を図る。 ・危険生物等を除去する事で安全の確保を図る。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。併せて観光客が訪れる機会が多い海辺やその周辺地域において確認される危険生物等の除去を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてはアンケートにより検証する。
2	②	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R13	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、世界遺産・今帰仁城跡の魅力観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	・ガイドによる来訪者の案内 12,000名	【今後のスケジュール】 来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	【R4年度成果目標設定の考え方】 案内者数は過去の実績より算出 H25:実績(11,419名) H26:実績(12,603名) H27:実績(12,782名) H28:実績(12,095名) H29:実績(12,040名) H30:実績(13,614名) R1:実績(11,130名) R2:実績(5,070名) ※緊急事態宣言による閉鎖91日間あり R3:目標(11,000名)R3.10未現在(1,354名)見込(4,800名) ※緊急事態宣言による閉鎖108日間あり R4:目標(12,000名)

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度末頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		R4成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2	③	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R13	教育旅行民泊事業者の受入体制を強化及び誘致活動を行い、継続した着地型観光を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・専属職員の配置3名 ・新型コロナウイルス感染症の影響により減少した受入民家数の回復を図る ・県内外での誘致活動 ・新しい生活様式に沿った民泊受入の実施 ・コロナの影響により減少した民泊を補うため、日帰り体験など宿泊を伴わない受け入れも実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の予約人数12,000人(70校) ・レポート校の増加 ・満足度向上 ・2泊5食プランの増加 ・日帰り体験の増加 ・関連団体との連携強化 	【今後のスケジュール】 今後も継続的に教育民泊事業者の受け入れ体制の強化及び誘致活動を行い、また日帰り体験などの受け入れも行い、今帰仁村を好きになってくれる人々の増加を図る。	【成果目標設定の考え方】 民泊宿泊人数10,000人 日帰り体験人数2,000人 計 12,000人	
2	④	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3 ～ R13	村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊及び体験プログラムの創出 ・効果的な情報発信 ・宿泊観光者把握のための調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・創出した宿泊体験15件のプログラムからブラッシュアップを行い、5件の販売を行う。 ・新たなプログラム創出 	【今後のスケジュール】 ・宿泊観光者のデータ蓄積更新(データ及びテキストマイニングによる継続的な分析実施) ・継続的な事業者との連携及び地域資源の再発見によるプログラムブラッシュアップと新規構築、また商品化	【成果目標設定の考え方】 現状宿泊＝1泊と捕らえ、連泊客数の増加を目標化する	
2	⑤	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントの支援を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 ・古宇利ハーフマラソン ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり ・今帰仁まつり	村内で実施する以下のイベントの運営費等に対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」(11月・2月) ・古宇利ハーフマラソン(4月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(2月) ・今帰仁まつり(10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・現代版組踊「北山の風」来場数:1,150人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,500人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:3,000人/日 ・今帰仁まつり来場者:10,300人 	【今後のスケジュール】 新型コロナウイルス感染症で落ち込み気味の村経済の活性化を図るため、村内で開催するイベント等の支援を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	⑥	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	1月～2月に、今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	【今後のスケジュール】 繁忙期においても観光客が安全でスムーズに入場できるよう、交通整理員を配置して安全確保に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 環境客が安全でスムーズに入場することを目的に、交通整理員が配置された箇所において事故が無いことを目標として設定した。	
2	⑦	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行う。	河川改修工事の実施。	全体計画における10.7%整備(累積整備率74.7%)	【今後のスケジュール】 R4 供用開始 供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか(70%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 魅力的な景観形成が図られたかは、観光客に対するアンケートを実施、大多数が肯定的であると考えられる数値として70%以上を設定した。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑧	景観形成強化事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備とそれに伴う設計・測量・用地補償等を行う。 ・簡易舗装及び排水溝設置工事測量設計委託業務	景観に沿った道路整備のための測量設計委託業務の完了。	【R9成果目標】 魅力的な景観が形成されたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 ・全体整備計画 R4～R8の5年間で観光アクセスルート約5kmを整備する。	【R9年度成果目標設定の考え方】 事業の目的である魅力的な景観が形成されたについて当該事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については大多数が肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
2	⑨	今帰仁城跡MRコンテンツ受入強化事業	R4	最新の映像技術(MR)を用いて開発した「体験型ゲーム THE BATTLE OF NAKIJIN」の更なる満足度向上のため、映像コンテンツ重複システムを開発し、受入体制の強化を図る。	映像コンテンツ重複出力システム開発 ・スペクタービュー開発 ・MR機器 1機 ・モニター2台 体験者視聴映像共有用 受付窓口設置用	・今帰仁城跡の来訪者数30万2千5百名。 ・今帰仁城跡への来訪者の満足度80%以上(アンケート実施)	MR体験者数の増加、満足度向上を図る。 MR体験を通して、来訪者の満足度向上や、歴史に興味がなかった方の歴史に触れる(来場する)きっかけにし、今帰仁城跡の観光資源としての活用促進につなげる。	・MR体験者数の増加。月平均30名。 →令和4年4月より運用開始しており事業実施前後で比較できる対象が少ないため、4～7月の月平均8.5名を基に設定した。1日1組、月30名とした。 ・満足度80%以上(アンケート実施) →指標については、大多数が満足していると考えられる数値として80%以上と設定した。
3	①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R13	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛ブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	今年度は21頭の導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合105%以上	【今後のスケジュール】 ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 また未導入農家に対しても導入に向け働きかけ村内全域の母牛品質向上を図る。 ・導入全体計画 189頭以上(R4)	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R13	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内750カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 ハブの生息域拡大が懸念されるため、今後も引き続き捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R4 成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目標として設定した。
1	②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R8	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回	・伝統興行来場者数:742人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4 ～ R6	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	町観光協会へ補助金の支出 1件/年	町認定ガイドの養成:15人/年	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町認定ガイドを養成し、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	本部町観光危機管理計画策定事業	R4 ～ R5	災害等における観光客の安全・安心を確立するため観光機械管理計画を策定する。今年度は観光危機管理の勉強会を行い基礎啓発を行う。	観光危機管理計画の理解	評価される観光リゾート地の形成に向けて観光危機管理の必要性について理解が図られたかアンケートを実施(80%以上)。	【今後のスケジュール】 R4 観光危機管理基礎啓発 R5 観光危機管理計画の策定	【R4成果目標設定の考え方】 観光事業者等のうち大多数が観光危機管理における理解が図られたと考える値として設定した。
1	⑤	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R4 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の環境美化作業を行う。	国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に除草作業を行い、魅力的な観光地としての景観形成を推進する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
2	①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R6	肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入及び人工授精等の支援を行う。	・採卵用優良雌牛の導入 2頭 ・優良子牛の生産に向けた人工授精等の補助	・採卵用優良雌牛導入の完了 ・優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了	【R6成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格:その他の子牛のセリ平均価格以上 【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良子牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【R6成果目標設定の考え方】 従来の子牛のセリ価格を上回るよう設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	R4 ~ R8	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
2	③	みかんの里機能強化事業	R4 ~ R5	柑橘の集荷作業効率化のため、伊豆味みかんの里総合案内所の出荷及び選果作業場と機材を整備する。	出荷選果場の整備 146㎡	伊豆味産みかんの売上高 20,400千円	【今後のスケジュール】 整備施設を活用し、伊豆味産みかんの販売量の拡大を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 地域農業振興の達成度を図るための指標として、直近で純利益の出た平成29年度の売上高と同等の売上高を目標に設定した。
2	④	もとぶ農産物産地形成事業	R4 ~ R6	病害虫を防除し、灌水環境の課題を解決するため、パイプハウス施設に灌水設備等の付帯設備を加えた一体的な整備に対する支援を行い、農産物出荷量の向上を図る。	パイプハウス施設及び付帯設備の整備に対する補助 4,104㎡ 生産農家 4戸	パイプハウス施設及び付帯設備の整備の完了 4,104㎡	【R5成果目標】 ピーマン収穫量8,600kg以上(10aあたり) 【今後のスケジュール】 今後も要望に応じて栽培施設の整備に必要な支援を行い、出荷量の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部作成品目別技術体系・収益性事例のピーマンの収量を参考に設定した。
2	⑤	有機物リサイクル推進事業	R4	畜産農家の経営の安定と体質強化のほか、環境に配慮した生産体制を構築するため、家畜排せつ物を町内農業で循環させるために必要となる備品の整備を行う。	ホイルローダーの購入 1台 堆肥運搬車の購入 1台 マルチチッパーの購入 2台	堆肥管理備品の購入完了	【R5成果目標】 家畜排せつ物の受入 571トン 【今後のスケジュール】 今後も継続的に家畜排せつ物の適正な処理と耕畜連携による土づくりなど、資源循環型農業を促進する。	【R5成果目標設定の考え方】 堆肥化施設の規模から、あぐ一豚生産農場の年間排出量の1/3を年間受入可能と想定し、令和5年度は稼働初年度であることから受入想定量の半分を目標値に設定した。
3	①	本部型就業意識向上支援事業	H29 ~ R13	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(7校) 教職員向けマナー研修の実施(1回) 企業プレゼン大会の実施(1回) 町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	働くことへの興味・関心が高まった割合(80%以上)を含め、小中高生へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に産学官の連携したキャリア教育を行い、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が町内産業への理解や興味が深まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	②	テレワーカー人材育成事業	R4 ~ R6	町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施することで、テレワーカー人材の育成を図る。	・テレワークに関する各種セミナーの開催(受講者50名) ・テレワーカーの就労支援(業務斡旋1人1回ずつ実施)	テレワーカーとして就労した人数(受講者の25%以上)	【今後のスケジュール】 今後も継続して講座等を開催し、テレワーカーの人材育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 他の自治体の類似事業による就労者数を勘案して設定した。
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -3.8ポイント以上 中学校 -5.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	特別支援教育環境充実事業	H28 ~ R13	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 9名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R13	観光客や地域住民のハブ咬症被害防止を図るため、村内各地に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 450箇所	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲器設置エリアの見直し ・マウスの長期生存率向上のための検証 ・捕獲器の改良	【R4成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
1	②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントやプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・イベントの開催 ・観光誘客プロモーションの実施 ・観光案内人の配置 ・観光誘客人の配置	・イベント入場者数:5,700人以上 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ150万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 ・イベント入場者数、宿泊客数過去の実績及びコロナ禍による観光への影響を勘案して設定した。 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	赤間総合運動公園機能強化事業	R4 ～ R7	スポーツ合宿受け入れの環境を向上させるため機能強化に向けた条件をとりまとめ、整備内容を明確にした計画を策定する。	赤間運動公園全体の機能強化整備内容の策定。	赤間運動公園の機能強化整備計画業務策定の完了。	【今後のスケジュール】 機能強化整備計画を基に、計画的な改修及び追加整備工事を行いスポーツ合宿環境の充実を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施し、スポーツ合宿の受け入れ研修を成果目標として設定した。
1	④	赤間野球場電光掲示板整備事業	R4	野球場電光掲示板の機能拡張を実施し、プロ野球等キャンプや大会等の受け入れ体制の確保やそれに伴う観光誘客を図る。	・野球場電光掲示板実施設計 ・野球場電光掲示板整備工事	・野球場電光掲示板実施設計の完了 ・野球場電光掲示板整備工事の完了	【R5成果目標】 プロ野球等キャンプや大会等の受け入れ入及び自主練習件数:6件以上 【今後のスケジュール】 R4 電光掲示板実施設計の完了 電光掲示板整備工事の完了 R5～ 供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率 100% 特別支援教育支援員配置数 幼稚園4園:4人 小学校4校:9人 中学校1校:3人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 特別支援教育支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、園児児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	① 恩納村景観むらづくり計画改定事業	R4 ～ R5	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るために、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。本年度は上位関連計画との整合性・基礎的條件の整理や景観形成重点地区指定にむけた基礎調査及び地区住民意向の把握、ワークショップを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・上位・関連計画との整合性、基礎的條件の整理等 ・アンケート調査の実施 ・ワークショップの開催 ・かわら版の作成・配布 ・関係団体との意見交換、各種会議 ・景観形成重点地区(案)の検討・作成 ・景観計画改定(案)検討・作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画改定(案)作成の完了 ・景観形成重点地区(案)作成の完了 	<p>【R6成果目標】 策定する景観計画において、景観保全に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R5景観計画の策定 景観形成重点地区の指定 準景観地区の指定検討 R6計画に基づき施策を展開 R7事業効果検証、実施事業の改善</p>	景観計画で設定した目標値に向けた景観保全施策を実施していくことを成果目標として設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、パワーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入 ・キャンプ会場改善工事 ・野球場整備機械購入	・阪神春季キャンプ見学者数(43,000人)	【今後のスケジュール】 今後も人員配置やプロの競技環境の確保、受入体制の構築に取り組みキャンプ受入による観光誘客を図る	【R4成果目標の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して設定した。
1	②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸術文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を11回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を3回以上行う。 【事業アーカイブ及び映像制作配信】 過去に開催した事業の写真や映像等の記録動画の公開と新規映像配信(文化講座、ライブ収録配信など)を3項目行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,778人以上) ・お出かけ公演対象者数(2,893人以上)	【今後のスケジュール】 今後も文化振興及び魅力発信に取り組み、村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保を図ると共に、村外からの誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1	③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25～ R13	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光人材の育成等を行う。	・観光誘客プロモーション活動の実施 ・観光プログラムの開発 ・観光人材の育成 ・年間を通じた村内イベントの開催(3回) ・情報発信力強化に向けた外部専門家(アドバイザー)の招請	・宜野座村の観光入客数(12.1万人)	【今後のスケジュール】 観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント(伝統芸能等) ・会場設営 ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数(8,540人/2日間)	【今後のスケジュール】 今後も花火の演出やイベントの充実化に取り組み、新規リーダー獲得に向けて観光誘客を図る。	【R4成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R13	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	美化作業員配置 3名	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も観光地として魅力的な景観形成を図るため、事業継続に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。
2	①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 松田小学校 2名 宜野座小学校 4名 漢那小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ※令和2年度より調査実施対象の変更あり 小学校 5年・6年(算数)	【今後のスケジュール】 学習の基礎的・基本的な知識・技術の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R4成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 宜野座中学校 5名 (英語、国語、数学、理科、社会 各教科1名)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ※令和2年度より調査実施対象学年に変更あり 中学校2年(国語・数学・英語)	【今後のスケジュール】 学習の基礎的・基本的な知識・技術お確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R4成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、国立幼稚園において預かり保育を実施する。	・預かり保育担当職員配置数 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 3名 漢那幼稚園 2名	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するネットアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も幼稚園と連携した預かり保育に取り組み、保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図る。	【R4成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	1	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R13	<p>①有機の里推進協議会を開催し、エコ農産物の生産販売拡大に向けた取り組みについて協議を行う。</p> <p>②農業栽培指導技術員により、農家に対し栽培指導(土づくり、害虫防除方法、台風対策等)を実施し安定した農産物の生産につなげる。</p> <p>農業栽培技術員や農家と連携して有望な栽培品目について生産体制を構築する。さらに、特産品加工直場センターと連携して有望作物の情報やエコファーマーにつながる可能性の高い農家の情報、新たな販路の情報収集を強化しエコ農産物の生産拡大につなげていく。</p>	<p>①栽培指導回数 (480回)</p> <p>②生産販売目標 (116t)</p>	<p>①エコファーマー認定数 3名</p> <p>②エコ農産物販売目標 116t</p>	<p>エコ農産物の生産拡大を図るため、令和2年度まで継続して栽培指導及び販路拡大を行っていく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>
3	②	さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R13	<p>本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による営農指導や巡回指導を行う。</p>	<p>さとうきびの営農指導・巡回指導を実施</p>	<p>令和4年さとうきび生産量 5,084t</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も営農指導によって、農業者一人一人のほ場管理の向上や、担い手の確保を行いながら、村内のさとうきび生産量の向上を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】沖縄県令和3年さとうきび生産振興計画値(案)を元に設定した。</p>
4	①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	<p>観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。</p>	<p>作業員配置1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去、解体 ・不法投棄防止看板の設置 	<p>・観光地における不法投棄件数:10件以下/年</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も不法投棄を減少させ、景観向上を図ることで、観光振興につなげていく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>
4	②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R13	<p>観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光各所のパトロール:12回/月 ・ハブ捕獲器設置:村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除 	<p>観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も引き続き、来村者が安心して観光できるよう危険生物の駆除等を行っていく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>
5	①	宜野座村企業誘致促進事業	H28 ～ R13	<p>定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するための企業誘致活動、広報普及活動等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致ブース出展・招聘セミナーの実施 	<p>①企業誘致ブース来場者250名</p> <p>②招聘セミナー参加者/企業数 20人/10社</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も村への新規進出企業誘致のため、事業推進に必要な活動を委託する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】過去の実績に加えて、コロナウイルス感染症の社会情勢を勘案して設定した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	②	国際交流事業(第7回世界のギノザンチュの集い)	R4、R9	世界各地で活躍するウチナーンチュが、5年に1度母県に集う世界のウチナーンチュ大会に併せて、宜野座村人会関係者を故郷宜野座村へ案内し、オンライン参加者を含めたハイブリット方式で歓迎することで村民との交流を図り、世界のギノザンチュネットワークの継承・発展を図る。	村内バスツアー 世界のギノザンチュ若者シンポジウム 第7回世界のギノザンチュの集い	海外参加者(オンラインを含む)を対象に、アンケートを実施し、「交流を深めることができた」、「ルーツが沖縄であることを再確認することができた」、「次世代への継承が重要であると感じた」との回答を70%以上得る。	各国宜野座村人会が自国に帰った後、村人会活動の活発化を図り、村と各国村人会の繋がりを維持・発展させていく。	対象者である海外参加者(オンラインを含む)の半数以上から、前向きな回答が得られるとして70%以上と設定し、当事業を検証する。
7	①	小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 ・グッジョブ連携協議会の開催(2回) ・周知広報等の取組み(SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施)	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、産学官が連携して各学校のニーズにあったキャリア教育を支援し、児童生徒の就業意識の向上に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	プロ野球チームやプロサッカーチームの春季練習場として使用されている金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター及び金武町ベースボールスタジアムの芝管理やグラウンド整備により競技環境整備を強化することで、今後も継続してスポーツキャンプの受入れを図る。また、受入れ時の感染対策の強化や衛生環境を向上することで、受入れ体制の強化を図り、当該箇所への誘客を円滑にすることを目的とする。	プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置) 競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備) プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備(清掃、感染対策) スポーツ教室の開催	R4年度プロチーム4チームの受入	受け入れたプロチームの継続受入を図り、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	
1	②	金武町観光振興等推進事業	R1 ～ R8	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指す。	○観光物産PR業務 ○情報発信業務 ○地域活性化イベント業務 ○観光PRツール制作業務 ○観光Wi-Fi整備業務	①媒体等による情報発信企画・実施数:9件 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:1,972人 ③観光Wi-Fiの整備	【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 ①②過去の実績を勘案して設定した。
1	③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3 ～ R5	ベースボールスタジアムグラウンド内外と周辺環境を一体的な整備を行うことで、プロキャンプの継続的な誘致、利用者及び観戦者の増加に繋げ、地域の活性化や観光振興に寄与することを目的とする。	○ダッグアウト、音響設備、2階トイレ改修工事の完了 ○屋外倉庫新設工事の完了	○ダッグアウト、音響設備、2階トイレ改修工事の完了 ○屋外倉庫新設工事の完了	誘致団体目標数 R8年度:6団体 引き続き、プロキャンプの継続した誘致、利用者及び観客者の増加に取り組む。	誘致団体の指数については、過去の実績を参考に設定した。
2	①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R8	本町の雇用状況の改善を図るため、求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、及び求職者や町内事業所の従業員のスキルアップのための各種講座開催、町内の小・中学生へキャリア教育等を実施するため、金武町就活支援センターに補助金を交付する。	求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。 ①各種講座10回 ②キャリア教育8回(小学校3回、中学校5回)	①就業率10%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き職業相談や講座、セミナー等を実施し、雇用拡大を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 ・就業率・資格取得率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R13	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	小中学校学習等指導員配置数:7人 (内訳) ○日本人英語指導員:小学校2名 ○外国人英語指導助手:小学校2名、中学校2名 ○英語コーディネーター:教育委員会1名	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差 -4%以上 ②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	【今後のスケジュール】 引き続き小中学校へ日本人英語指導員及び外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置し、サポートしながら児童・生徒の学力(英語)向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	中川幼稚園に在園する園児の午後の保育を中川区事務所に業務委託し、預かり保育を実施する。	預かり保育の実施 対象:中川幼稚園児 実施場所:中川幼稚園 支援員:4名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 引き続き保護者の育児負担を軽減し、就労の促進を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	特別支援教育支援事業	H24 ～ R13	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面におけるサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置する。	特別教育支援員配置数 17名 (内訳) ○小学校13名 ○中学校4名	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員を配置し、個々に応じたサポートを行う。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	シマヌチュ国際交流事業(世界のシマヌチュ大会)	H28 ～ R9	本町と移住各国、移住国同志のネットワーク強化等を目的とし、県主催の世界のウチナンチュ大会に併せて、町独自の世界のシマヌチュ大会を開催する。	本町と海外在住者との交流を深めるため第7回世界のシマヌチュ大会を開催する。	シマヌチュ大会に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動出来ているか(80%以上)を金武町人会にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き各国金武町人会との交流を綿密に図り、町と各国との国際交流事業の種類や幅を広げ、発展、継続を促進させる。	【R4成果目標設定の考え方】 シマヌチュ大会に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として育成されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R13	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている目撃場所や観光地の清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 ・捕獲器15基設置 (週1回の巡回)	・ハブ咬傷による健康被害0件	【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	1	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
3	1	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	ゆりの植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球	令和4年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	【R5成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 (R5目標 40,000人)	※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 ・H29:30,000人 ・H30:26,000人 ・H31:36,000人 ・R2 :中止 ・R3 :中止
3	2	観光地クリーン事業	H27 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受入体制を強化する。	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 城山周辺、リリーフィールド公園、ミースイ公園、伊江港周辺、ニヤティヤ洞、湧出、青少年旅行村	魅力的な観光地として景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加に努めるべく、観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	3	観光誘客整備事業	H26 ～ R4	<p>村の観光振興を図るため、伊江島ゆり祭り誘客向上業務、その他イベント等による観光誘客を行う。</p>	<p>①誘客整備に係る取組 ・観光案内版機能向上事業の実施 ②誘客推進に係る取組 ・伊江島ゆり祭り誘客向上業務 ・観光誘客推進事業の実施 ・観光交通経営安定化支援事業の実施 ・伊江島ハイビスカス園HP制作業務の実施 ・観光インフォメーション委託業務の実施</p>	<p>①令和4年度伊江村入域観光客数：96,000人 ② ・ゆり祭り等のイベント来場客に対して、アンケート調査を実施、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ・ゆり祭りを含む集客イベントでのブース来場者数：20,000名</p>	<p>①誘客整備に係る取組 ・観光地の案内板等を整備し利用者の満足度向上へ繋げる。 ②誘客推進に係る取組 ・来島者へのアンケート調査を実施し効果を検証する。 ・県内外において、継続したPR活動を実施し、伊江村への観光誘客に繋げていくための取り組みを実施する。</p>	<p>①※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 R2実績：39,464人 R1実績：121,820人 H30実績：127,754人 ②ゆり祭り来場客のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p>
4	1	確かな学力を育む学習支援員配置	H25 ～ R13	<p>児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより学力の向上を図るため、学習支援員等を配置する。</p>	<p>・学習支援員の配置 小学校(2校8人配置) 中学校(1校4人配置)</p>	<p>・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。</p>	<p>【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取組を継続的に実施していく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
4	2	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	<p>村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。</p>	<p>各種大会派遣費の助成：1,550人</p>	<p>・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>(今後の展開) 派遣費助成人数(累計) R13年度末時点：約15,500人</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。</p>
5	1	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R13	<p>高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子供たちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。</p>	<p>・小学生36名 中学生118名 ・企業訪問・体験1回 ・職業人講話3回 ・島のみりよく発信1回</p>	<p>・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 大多数の児童生徒(80%以上)に就業意識の向上が図られるよう展開していく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒の就業意識向上が目的であるため、大多数の児童生徒が目的達成したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。</p>
6	1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R5	<p>村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。</p>	<p>整備工事の実施</p>	<p>整備工事の実施完了</p>	<p>【R6成果目標】 ・施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和学習の促進が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	1	伊江村循環型農業促進事業	R4 ～ R6	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。	・原料回収車等購入 ・自走式攪拌機導入	堆肥製造量 R4年 2,100t	堆肥製造量 R4: 2,100t R5: 2,500t R6: 3,000t	【R4成果目標設定の考え方】 過去3か年の製造量実績の平均値を上回ることを目標として設定した。 【販売実績参考】 R1: 2,970t R2: 1,565t R3: 1,565t(予定)
8	1	伊江島の歴史・保存継承事業	R4	復帰前後を知る、村民や関係者にインタビューを行うとともに、次代を担う児童・生徒の演劇や創作の歌などを収録し、映像化を行う。また、沖縄復帰50周年に係る詩などを作成し、復帰記念イベントを通して発信・普及させることで、若い世代が歴史に触れ、学び、継承していく機会を作る。	・映像制作の実施 ・記念イベントの開催	・映像制作の実施完了 ・イベント来場者へのアンケート調査を実施し、沖縄の日本復帰及び当時の伊江村の状況について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	【R5成果目標】 作成した映像を、小中学校の平和学習などで活用し、児童生徒へのアンケート調査において、沖縄の日本復帰及び当時の伊江村の状況について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	【成果目標設定の考え方】 次代を担う若い世代や、児童生徒が沖縄(伊江村)の日本復帰時の状況について理解が図られたと考えられる値として設定した。
9	1	ICT支援員配置事業	R3 ～ R4	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	村内3学校にICT支援員1名を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	【今後のスケジュール】 ICT支援員を効果的に活用するため、次年度以降も継続してICT支援員を配置する。	【R4成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、対象者のうち概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
10	1	外国語指導員派遣事業	R3 ～ R13	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	外国語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	・児童生徒の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援に取り組むことで、小学生の英語への興味関心を高める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。
11	1	伊江村墓地団地造成事業	H29 ～ R6	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成工事を行う。	・造成工事の実施	・造成工事の実施完了	【R7成果目標】 ・個人墓から村営墓地団地への契約件数: 5件 【今後のスケジュール】 R4~6: 整備工事	【R7成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を基に設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12	1	ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4	ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	ひとり親家族等に対して利用料を減免した学童保育施設に対し、補助を行う。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き利用者への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
13	1	離島定住環境基盤整備事業	R4 ～ R5	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できる施設を整備する。	・荷さばき施設の実施設計 (場所:伊江港、220㎡)	・荷さばき施設の実施設計の完了	【今後のスケジュール】 R5施設新築工事	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	②	危険生物駆除事業	H25 ～ R13	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を行う。	・観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器200器設置 ・定期的な巡回・管理の実施及び処分 ・餌用マウスの飼育(繁殖)管理 ・危険周知看板100枚の管理	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	【今後のスケジュール】 咬傷被害場所や、設置箇所における捕獲数等を参考に、設置箇所の変更等柔軟に事業を執行し、個体数の減少、咬傷被害0件を目指す。	
1	③	ヨミタンJOHO県外発信事業	R4 ～ R13	本村の認知度向上と誘客を図るため、観光情報ラジオ番組を制作し、県外へ発信する。	・コミュニティFM放送による番組制作・県外への発信 ・番組及び読谷村の県外PR活動	・ラジオで発信した観光情報(観光地・イベント)への入込客数:100万人以上 ・県外での聴取PR活動人数:12,000人以上	【今後のスケジュール】 ラジオ放送を通じた観光情報を旅前で発信する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	読谷村屋内運動場基本設計策定事業	R4	本村のスポーツ振興を図るため、新たな運動施設として屋内運動場の整備に向けて基本設計を行う。	基本設計の策定	基本設計の完了	【R8成果目標】 年間利用者数10,000人 【スケジュール】 R4:基本設計完了 R5:実施設計完了 R6以降:整備工事	【R8成果目標設定の考え方】 利用者は本村の体育施設の数値を参考に設定した。
1	⑤	読谷村スポーツコンベンション促進事業	H24 ～ R6	年間を通じたスポーツキャンプや大会・イベント等を誘致し、キャンプ等受入時の地域関係団体の協力強化並びに、スポーツから繋がる関係人口や企業のアプローチを行うことでの更なる地域活性化を促進する。 また、キャンプ期間中や年間を通じたのチームファン層等を誘客するための本村の観光や物産をPRイベントや情報発信を行い、村内への誘客を図る。	・各種スポーツキャンプ等誘致活動(3回) ・キーパーソン招へい(2団体以上) ・実証キャンプ支援(2団体以上) ・キャンプチーム本拠地等での観光誘客活動(3回) ・キャンプ期間中の集客イベントの実施(1回)	・スポーツコンベンション受入件数...15件以上 ・県外誘客イベントPR観客数...30,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数...15,000人以上	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ等について、新規及び継続的なチームについて誘致を行い、地域への波及効果の最大化を図るために受入体制の強化も行う。また、県外においてファン層等に向けた観光・物産のPRイベントや一年を通じた情報発信を行うことで、村内への誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績の勘案及び新型コロナウイルス感染症の影響を加味して設定した。
1	⑥	読谷陸上競技場北側植栽整備事業	H30 ～ R4	冬の季節風(北風)による競技への影響やスポーツキャンプ時の北風対策のため、読谷村陸上競技場北側に植栽を整備する。	整備工事の実施	整備工事の完了	【R5成果目標】 スポーツキャンプの受入 5件 【スケジュール】 H30:基本設計完了 R4:整備工事完了 R5以降:供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 スポーツキャンプ受入数は読谷村陸上競技場の過年度実績を参考に設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	<p>村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するため支援員を配置する。</p>	<p>・村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 ・村立5幼稚園:各1人 ・村立5小学校:各2人 ・村立2中学校:各2人 ※必要に応じて支援人の配置に変更あり ・教育委員会に特別支援教育専門員を1名配置</p>	<p>特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証し、評価者は対象となる児童生徒の保護者とする。</p>
3	①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ R13	<p>現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを作成・公開する。</p>	<p>沖縄語データベース(単語・民話・音声)の追記及び公開</p>	<p>HP(データベース)アクセス数:800件</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も沖縄語に親しみ、日常的に使用する機会を増やす取り組みを継続する。これにより沖縄文化の基層である沖縄語の保存継承を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 令和3年度に引き続きHP(データベース)アクセス数:800件を見込む</p>
3	②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ～ R5	<p>ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。</p>	<p>整備工事の実施</p>	<p>整備工事の一部完了</p>	<p>【R6成果目標】 来訪者及び来館者数 座喜味城跡:205,500人 ユンタンザミュージアム:40,500人</p> <p>【今後のスケジュール】 R4年度:整備工事(土木) R5年度:整備工事(土木・建築) R6年度:供用開始</p>	<p>座喜味城跡の来訪者数は、コロナ禍以前の令和元年度世界遺産座喜味城跡の訪者数を基準に目標を設定し、ミュージアム来館者数は、建設当初の目標値を踏襲して設定した。</p>
3	③	歴史資料の整理活用事業	R4 ～ R13	<p>沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。</p>	<p>貴重な歴史公文書等の整理</p>	<p>貴重な歴史公文書等の整理一部完了</p>	<p>【R6の成果目標】 読谷村の歴史、文化への理解が深まったとする回答割合:80%以上</p> <p>【今後のスケジュール】 歴史資料の整理、保存、公開を順次進め、それら資料を利用者へ提供し、村の歴史、文化への理解を深めることに寄与する。</p>	<p>本事業のあり方については、アンケートにより検証していく。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R8	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外マーケティングやプロモーションを行う。	・県外プロモーション出展・調整及びテストマーケティング(2回) ・観光客向け県内プロモーション(4回) ・周知用媒体ツール(ヤチムン・琉球ガラス冊子、パンフレット)の作成	・陶器市の来場者数 14,776人 ・物産展売上金額 72,750円 ・展示会商談数 25件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外プロモーションを実施し、本村の工芸品の認知度を高め、販路の拡大及び現地消費を目的とした観光誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	①	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計策定事業	R3 ～ R5	瀬名波通信施設跡地の土地利用を促進するため、非農用地部分の実実施設計を行う。	非農用地部分の実実施設計委託業務の実施	令和4年度瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計委託業務の完了	【今後のスケジュール】 実施設計完了後は、非農用地の整備ができる方法の検討及び換地計画にむけ関係機関との調整を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 瀬名波通信施設跡地利用として非農用地部分の整備計画が進む設計を行うことを勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	① 観光プロモーション事業	R3 ~ R13	観光プロモーションツール等を有効活用し、観光関連イベント等においてプロモーション活動を行い、観光客の誘客を図る。	観光PRイベントへの参加(3回)	町入域観光客数 792千人以上	【今後のスケジュール】 今後も魅力的な観光情報を発信し、本町を知ってもらう機会を創出し、成果目標の達成につなげていく。	【R4成果目標設定の考え方】 実績及び施設の受入可能人数を勘案して設定した。
1	② 嘉手納町移民パネル制作事業	R4	嘉手納町の移民の歴史や世界各地のカデナーンチュエに対する町民の知識や理解を深めるため、パネルを作成する。	パネル制作 15枚 パネル展の実施	パネル展を実施し、アンケートを実施する。 アンケート結果でパネル展来場者が世界各地に存在するウチナーンチュエへの興味が高まったと回答した割合が80%以上	【今後のスケジュール】 パネル制作、パネル展の実施	【R4成果目標設定の考え方】 パネル展への来場者の内大多数の世界各地に存在するウチナーンチュエへの興味が高まったと考えられる80%以上に設定する。
2	① 学習支援事業	H24~ R13	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の実態に応じた学習指導を行う。	学習支援員の配置数 小学校:5人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査の算数・数学において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-0.5ポイント以上 中学校:-7.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、「県の正答数に満たない児童生徒」へ重点的に支援するとともに、対象者に合わせた補習の内容の工夫や対象者を明確にして関わる職員で共有することで、支援の効果を高める。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	② 英語力強化事業	H24~ R13	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英会話指導員の配置数 小学校:2人 中学校:1人	①英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 (小学校) 学級担任が授業のなかで英会話指導員(ALT)をモデルとして会話等を例示し、児童のアウトプットを中心とした授業への転換を強化する。 (中学校) 授業の中で英会話指導員(ALT)と教科担当教師との会話等、適切に例示を行うことで、実用的な英語学習の充実の強化を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	③ 生徒指導強化事業	H24~ R13	不登校生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るため、中学校へ生徒指導支援員(生徒指導補助員)を配置する。	生徒指導支援員配置数:1人 スクールソーシャルワーカー(SSW)配置数:1人	不登校出現率 2.6%以下	【今後のスケジュール】 不登校の要因が「遊び非行型」から「心因的な要因」へと移行してきていることをうけ、要因の「心理的な要因」をさらに細かく分析し、要因に合わせた対応をおこなう。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	④	秋田交流学習体験事業	H26～R4	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、授業改善等についての研修を行う。	<p><秋田県への派遣> 児童生徒：20人、教員：9人</p> <p><秋田県からの招聘> 教員：3人</p>	<p>①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたという回答</p> <p>②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組んでると回答</p>	<p>【今後のスケジュール】 コロナ過においてR2～R3年度においては、事業を実施できなかった。感染症対策を万全に行い実施するとともに、招聘教員による公開授業や事業の報告会を行い、おおだて型探究授業のよさを理解させ、各学校の授業改善を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 ①派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> <p>②大館市では、「子ども達の学び合いを核としたおおだて型探究授業」が展開されている。本町では、このおおだて型探究授業をモデルとした「嘉手納の探究型授業」を推進しておその授業改善への取組について、アンケートを実施し、本事業の効果を検証することとした。</p>
2	⑤	特別支援教育強化事業	H28～R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	支援員の配置数 17名 (内訳) 小学校：13人 中学校：4人	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置するとともに研修の内容において、具体的な多様な支援方法について充実を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
3	①	雇用促進事業	H25～R4	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設 90日	<p>①相談者のうち就職が決まった人数：10人以上</p> <p>②相談者のうち就職が決まった人数の割合：3.0%以上</p> <p>※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。</p>	<p>【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
4	①	廃棄物リサイクル事業	H25～R4	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 854t以上/年	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去5年間の搬入量の平均処理量を基に設定。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30～R4	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	・嘉手納町兼久海浜公園総合運動場屋外照明設備のLED化	R4年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 ○兼久海浜公園総合運動場 3,170kg-CO2/年の削減	【今後のスケジュール】 ・今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,257,734kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進する。	【R4成果目標設定の考え方】 既存照明をLED化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R13	ワーケーション推進事業 ・ニーズ調査及び受入環境調査の提案 ・北谷町型ワーケーションの方向性の検討 ・モデルプラン作成 ・モニターツアーの計画 ・検討会議	ワーケーション推進事業 ・ニーズ調査及び受入環境調査の提案 ・北谷町型ワーケーションの方向性の検討 ・モデルプラン作成 ・モニターツアーの計画 ・検討会議	ワーケーション推進事業の完了 【R04年成果目標】 ・モニターツアーの実施 ・プロモーションの実施 ・報告書の作成	今後のスケジュール ・今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘客を図る。	「ワーケーション」はコロナ禍において成長した新たな観光スタイルのため、実績等の情報収集が現段階では困難。本事業における調査等の結果を踏まえ今後の目標値を決定する。
1	②	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ～ R04	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を運行するコミュニティバスの実証運行を行い、本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。	本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・地域公共交通会議にて、令和5年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の合意を得るためのデータを収集する。 ・収支率25%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 R5: 本格運行または廃止あるいは引き続き実証(引き続き実証を行う場合、令和3年度から令和5年度までの実績をもって改めて判断する。)	【R4成果目標設定の考え方】 ・利用者の大多数が利便性・回遊性の向上が図られたと考えられる値として80%以上と設定した。 ・令和5年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の判断について、地域関係者や事業者等を含めた地域公共交通会議にて合意を得る必要があるため、判断できるだけのデータを得る必要があるから設定した。 ・収支目標については、運航改善を実施し、目標収支率である25%と設定した。
1	③	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R5	これまで課題となっていたビーチの環境改善や、拡充整備によって新たなアクティビティを創出することにより観光誘客を図る。	R4 改良工事(園路工、休養施設工、管理施設工)	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、休養施設工、管理施設工の竣工。	【R6年度成果目標】 ・サンセットビーチ利用者数 33万人/年 【今後のスケジュール】 令和5年度サンセットビーチ改良事業。園路工、管理施設工、造園工	【R6成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R4	<p>小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務)</p> <p>中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。</p>	<p>小学校4名(各校1名、幼稚園兼務)</p> <p>中学校2名(各校1名)</p>	<p>小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差1.9ポイント以上</p>	<p>引き続き英語指導助手を配置する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 小学校:対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>中学校:過去実績を勘案して設定した。</p>
2	②	日本語指導学習支援員配置事業	H25 ～ R4	<p>日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。</p>	<p>日本語指導学習支援員配置:2名</p>	<p>日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 日本語指導が必要な児童が今後増加し、県からの加配教諭の配置が無い場合、状況を踏まえながら日本語指導学習支援員配置人数を増員配置する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。</p>
2	③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R4	<p>児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。</p>	<p>小学校4名(各校1名)</p> <p>中学校2名(各校1名)</p>	<p>沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.8ポイント以上 中学校 Δ0.4ポイント以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
3	①	跡地利用推進事業	H24 ～ R8	<p>今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ桑江南側地区:地権者への継続的な情報提供 ・キャンプ瑞慶覧倉庫地区:アクセス橋整備に係る予備設計 ・キャンプ瑞慶覧(インダストリアル・コリドー)地区:都市機能・土地利用の配置パターン検討、まちづくり手引書作成、跡地利用計画に向けた工程表作成、地権者意向調査 	<ul style="list-style-type: none"> (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・アクセス橋整備に係る予備設計の完了 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成 	<p>【R9成果目標】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【R9成果目標】 (桑江第一タンクファーム) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p> <p>【R9成果目標】 (インダストリアル・コリドー) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上</p>	<p>数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R6	残された自然資源の保全・活用を図るための基礎情報となる生物調査を行う。	北谷町河川生物調査報告書(仮称)の作成	北谷町河川生物調査報告書(仮称)の作成完了	<p>【R7成果目標】 町立博物館、大型宿泊施設等におけるパネル展示等を行い併せてアンケートを実施し、「保全意識が高まった」80%以上。</p> <p>【今後のスケジュール】 R5年度：北谷町河川生物調査報告書②(仮称)の作成およびクジラ骨格標本作成 R6年度：北谷町緑地生物調査報告書(仮称)の作成</p> <p>R5年度末に完成予定の博物館において以下3点を念頭に成果を展示公開し利活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重さをPRするとともに保全意識の醸成を図る。 ・観光資源としての価値を高める。 ・町、地元業者等と連携した情報共有 <p>R13年度：第2回大規模モニタリング調査</p>	【R7成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
5	①	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R6	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)の土地の先行取得を実施する。	・基金の積立	特定事業の用に供する土地取得目標6,577.44㎡(達成率92.7%) ※達成率：先行取得目標面積(96,000㎡)に対する累積取得面積の割合	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、各種施策の実施につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。
6	①	北谷町文化発信拠点整備事業	H24 ～ R5	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 博物館においては日本固有の縄文文化と沖縄特有の文化を体験できるサービスを町民や沖縄県民へ提供する。また、国内外から訪れる観光客にも同サービスを提供することにより、沖縄観光の新たなコンテンツ作りを目指す。	町立博物館建設工事(R4分)：全体出来高40% ※債務負担行為を設定し、R4～R5の複数年契約予定	町立博物館建設工事(R4分)：全体出来高40%の完成	<p>【R6成果目標】 年間利用客数25,000人</p> <p>【今後のスケジュール】 R4～R5：整備工事 R5年度末：供用開始</p>	【R6成果目標設定の考え方】 博物館総合調査の統計値(同規模施設の来館者数)を参考に設定した。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R13	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験型交流事業:14事業	体験交流人数:580人以上	【今後の展開方針】 継続的に魅力ある講座を企画し、参加者の確保に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 各講座の定員総数以上を目標として設定した。
1	②	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・青年エイサーまつり:R4年8月～9月開催 ・北中城しおさいまつり:R4年8月～9月開催 ・ひまわりin北中城:R5年2月～3月頃開催	・青年エイサーまつり来場者数:6,400人 ・北中城しおさいまつり来場者数:24,000人 ・ひまわりin北中城来場者数:57,800人	【今後のスケジュール】 まつりを通じた伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継続して実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	③	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	新型コロナウイルスの感染状況に左右されることなく、村内観光情報や特産品の紹介ができるよう、ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションのDXの推進を図る。 また、国外からの誘致も見据えて、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高めるため、情報アクセスポイントの運営並びに観光誘客のためのデータの分析を行う。	・観光イベントでのプロモーション ・インターネット上での観光案内の強化 ・観光情報アクセスポイント運営 ・ビックデータ収集・分析による観光動向調査	・PRブース来場者数:1,700人 ・観光案内ページの閲覧数:14,000回 ・Free Wi-Fiアクセス数 8,500/月	【今後のスケジュール】 コロナ禍における観光業への影響を踏まえ、SNSやウェブサイトでのプロモーションの開拓を図るとともに、観光基盤の強化・観光動向データ分析を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	④	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R5	村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。	・運行日数:350日以上 ・運行ルート:2ルート	年間利用者数:5,500人	【今後のスケジュール】 新たな交通モードによる実証実験を行い、複数での比較検討を踏まえ、村に最適な交通モードの本格運行に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	⑤	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスイベントの開催:2回 ・ウェルネスワークショップの開催:5回 ・ウェルネスモニターツアー開発及び実施:3回	・ウェルネスイベント総参加者数:300人 ・ウェルネスワークショップへ総参加者数:75人 ・ウェルネスモニターツアー総参加者数:30人	【今後のスケジュール】 ウェルネスイベントやウェルネスツアーを北中城村ウェルネスツーリズムプログラムとして定着させ、健康長寿ブランドとして村内への誘客を図っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加者数の上限を下記のとおり制限し、成果目標を設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R4	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	公共用地の取得:425㎡	全体用地取得率:100%	【今後のスケジュール】 取得した公共用地を踏まえた跡地利用計画(素案)を検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2	②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、土地利用計画(素案)の検討を行う。	跡地利用計画(素案)の検討	跡地利用計画(素案)の作成	【令和4年度以降】 跡地利用計画(素案)作成後、当該素案に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R4以降成果目標設定の考え方】 地権者や村民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
2	③	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ R4	キャンプ瑞慶覧喜舎場ハウジング地区の跡地利用を推進するため、フルインター化計画を推進しながら、返還予定区域の見直しを認められなかった場合に備え、返還後に円滑な跡地利用を進めるために検討を行う。	・返還後の整備計画案の作成 ・返還後の整備スケジュール検討 ・事業手法及び事業フレーム検討	・整備計画案の作成	【令和5年度以降成果目標】 本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R5以降成果目標設定の考え方】 地権者や村民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
3	①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R13	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・登録企業の開拓:30件 ・求職者への個別支援:40件 ・新型コロナウイルス感染症による失業者等への支援:30件	就業率:5%以上	【今後のスケジュール】 求職者が求める求人企業の開拓を進め求職者と求人企業のマッチング向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
3	②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。	・ジョブシャドウイングの実施(小学校2校) ・職場体験の実施(中学校1校) ・キッズJOBクラブの実施 ・出前フォーラムの実施(高校1校) ・キャリア教育講演会の実施	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。	【今後のスケジュール】 追跡調査の結果も踏まえ、企業や学校、地域との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。
4	①	営農支援強化事業	H24 ～ R13	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備を支援する。	・営農指導員の配置:2人 ・パイプハウス施設の整備補助:2基	指導した農家の年間出荷額:4,373千円以上	【今後のスケジュール】 農業者に対し生産・販売体制の支援を行うことで、農業経営の安定化に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R7	耕作放棄地を利活用するため、医食同源・農福連携・健康長寿への取組みに資するエリア整備に向けた事業マネジメントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第一段階～第三段階における民間事業者による各種施設整備・供用開始に向けた整備状況の把握・支援・調整管理 ・第四段階及び第五段階整備に関する民間事業者の誘致、実施地の確保 ・良好な事業展開に向けた協定書の更新、エリアマネジメント組織設立に向けた推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備着手と令和4年度内での事業化の目処を付ける。 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた事業計画の策定 ・第四段階整備以降の実現に向けた事業計画案の策定 ・第四段階整備以降の事業者の誘致 ・地域協定書の更新 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4で循環型農業ゾーン及び体験農園施設ゾーンの整備完了、再生可能資源を活用してエネルギー(年間20万KWh)を生産し、コンテナ式水耕施設(40F)5基の移動と200坪程度の園芸施設に供給を行い、農産物の生産にも着手。また、事業の持続的な効果と環境保全の図っていくためのエリアマネジメント組織を設立。 ・R5では、第二段階整備(地域振興施設(医食同源レストラン、農産物直売所等)、観光農園、水耕栽培施設・園芸ハウスなどの生産施設ゾーンの整備)、第三段階整備(医療・福祉健康増進施設の整備)に向けた事業調整・整備着手への準備作業 ・R6では、第四段階及び第五段階整備に向けた事業調整・整備着手への準備作業 	【R4成果目標設定の考え方】 R2事業報告を踏まえ設定した。
5	①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英会話指導員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校:1人 ・中学校:1人 ・幼小兼務:1人 	英語検定の受験者数:258人	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>国際性豊かな人勢育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。</p>	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
5	②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した小・中学生向けの英語講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生クラス:前期32回、後期32回 ・小学生クラス:前期32回、後期32回 	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>継続した事業展開により、米国語学教室(ESL)レベルに到達できるよう、受講生の取得率向上を目指す。</p>	【R4成果目標設定の考え方】 英語力の習熟度が高まったと判断できる数値として「80点以上」と設定した。
6	①	歴史まちづくり計画策定事業	R4 ～ R5	本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定委員会:3回 ・住民ワークショップの開催:3自治会 ・庁内WG会議:4回 	計画策定へ向けた基礎基礎調査報告書の作成	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>R4～R5:村による計画策定 R6:国への申請及び計画の認定</p> <p>【R5成果目標】</p> <p>住民アンケート:策定した計画について、歴史情緒あるふれまちづくりが期待できると答えた割合(80%以上)</p>	【R5成果目標設定の考え方】 対象エリアの住民の大多数が、計画を踏まえたまちづくりに期待する意向を示す値として「80%以上」を設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	②	米国統治下の北中城村実態調査事業	R4 ~ R6	米国統治下における本村の歴史的経過(集落復興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移など)を明らかにするため、各種調査を実施する。	・村関連資料の整理 ・過去の聞き取り調査の音源記録の文字起こし・原稿化・話者校正 ・追加の聞き取り調査の実施 ・戦後集落地図の作成	・聞き取り調査音源記録の文字起こし(20件) ・文字起こした聞き取り調査記録の原稿化(10件)	【今後のスケジュール】 R4~R5:資料収集及び既存記録の整理 R6:編集校正・冊子発刊 【R7成果目標】 利用者アンケート:村の歴史に対する理解が深まった:80%以上	【R7成果目標設定の考え方】 報告書利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として「80%以上」を設定した。
6	③	米軍記録資料整理公開事業	R4 ~ R6	米軍関係者が記録した約1万5千点の写真・映像等の資料の分類・整理し、これらの資料を活用した企画展を開催する。	企画展開催数:1回	企画展来場者数:200人以上 来場者の満足度:80%以上	【今後のスケジュール】 整理済み資料を複製し、外部への貸し出しや常設展示などに活用する。	【R4成果目標設定の考え方】 ・来場者数は過去の類似の企画展を参考にした。 ・満足度は来場者の大多数が評価していると考えられる値として「80%以上」を設定した。
7	①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	特別支援教育支援員を配置する。 ・小学校:11人 ・中学校:4人 ・幼稚園:4人	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
7	②	学習支援員配置事業	H27 ~ R13	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、公立小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 ・小学校(2校):2人 ・中学校(1校):1人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(18.6%以下) 中学2年生:数学(28.5%以下) ○無答率 小学5年生:算数(7.0%以下) 中学2年生:数学(8.2%以下)	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、学習支援の指導力向上を図るため、学校間で連携協働し、各学校における成果・課題を共有するとともに、R3年度から導入されている1人1台端末を活用しての授業における支援が行えるよう研修等でのスキルアップを図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
7	③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ~ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1の額について補助を行う。	県外への派遣団体数:8団体(150人)	派遣された児童生徒の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	④	小中学生県外派遣支援事業(社会教育関連)	H29 ～ R13	村内に在住する小中学生に対し、県外大会へ参加する機会を等しく与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	県外大会等への派遣者数:50人	派遣された子ども達の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	【今後のスケジュール】 本事業の継続により、村内の子ども達の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。
8	①	屋宜原地区避難道路整備事業	R4 ～ R5	北中城村の大型宿泊施設へのアクセス道路である仲順屋宜原線について災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、災害に強い避難道路としての道路整備を検討する。	・道路線形の比較検討 ・道路付帯構造物の検討	道路線形・付帯構造物の検討完了	【R9成果目標】 住民アンケート:整備した避難道路について、安心安全に利用できると答えた割合(80%以上) 【今後のスケジュール】 R4～5: 道路予備設計 R6: 実施計画 R7～8: 整備工事	【R9成果目標設定の考え方】 道路利用者のうち大多数が本路線の整備効果に満足していると考えられる値(80%以上)とした。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4～R13	商業施設を誘致する地域振興基盤地を確保するためには、国道沿いの市場性の高い土地に既設する公共施設を移転させなければならないため、既設公共施設の移転先用地を取得する。また、移転後の跡地周辺におけるインフラ整備調査を行う。	用地購入(21筆)の実施 インフラ整備調査委託業務の実施	用地購入(21筆)の完了 インフラ整備調査委託業務の完了	<p>(R10年度)</p> <p>【村の農産物や特産品等の販路拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設で取り扱う村産品の生産者・加工者数70件以上(業者を含む)、村産品の販売コーナーの設置 <p>【新たな雇用創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域雇用の全体雇用の20%以上(障がい者、ひとり親家庭保護者含む) <p>【安心・安全な生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定締結1件(災害時応援協定、物資支援協定の締結) <p>【村民等のコミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントスペース、イートインコーナー設置1箇所、村との連携イベント実施1件以上/年 <p>【知名度・関心度向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設内に中城村紹介コーナーの設置1箇所、店舗アプリ等での中城村の宣伝 ・村外からの観光客数の増加、30%以上 H29年度145,000人⇒R10年度、188,500人 <p>(R11年度)</p> <p>【日常的に買物できる商業施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物利便性の向上70%以上 	<p>【R4年度成果目標設定の考え方】</p> <p>本事業の成果目標は、商業施設の誘致による住民の利便性向上等について測れる指標を設定すべきだが、本年度は用地購入のみで検証が困難なため、本年度の成果目標としては定性的な指標を設定した。</p> <p>【R10、11成果目標設定の考え方】</p> <p>商業施設供用開始後に事業効果が確認できる指標として設定した。</p>
2	①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H28～R13	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	①ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 ②吉の浦公園バスケットコート整備の実施 ③吉の浦公園放送設備整備の実施	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②整備の完了 ③整備の完了	<p>【R5成果目標】</p> <p>②バスケットコート 年間利用者数 6,000名</p> <p>③放送設備 放送設備の整備により利用者の利便性が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。</p>	<p>【R4、5成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案し設定した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R13	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプ支援の実施	キャンプ見学者数:8,640人	【今後のスケジュール】 プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2	③	村産品プロモーション推進事業	R4 ～ R13	村内中小企業の販路拡大や売上の向上を目的に、物産展を開催し商品のPR活動を行う。	中城物産展の開催	1事業者平均売上金額 139,000円以上	【今後のスケジュール】 引き続き村内商工業の振興を図るイベントとして定期的に開催し、村内事業者が商材を広くPRできる環境を整える。	【R4成果目標設定の考え方】 物産展の開催を計画している大型ショッピングセンターでの過去の実績を参考に設定した。
2	④	観光地周辺環境美化事業	H29～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	・環境美化作業員 6名 配置し、美化清掃等を実施。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き観光地及び観光地へのアクセスルートを美化清掃等を実施し、観光地として相応しい景観の形成に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	海外移住者子弟研修生受入事業	H26 ～ R6	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の指定を研修生として受け入れる。	・海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受け入れる。 ・住民への国際交流の機会の提供 ・移住の歴史について住民の興味喚起を実施する。	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き、異文化交流をとおして交流の架け橋となる人材育成に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史に、より一層興味を持ったと考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3	②	世界のナカグスクンチュ交流事業	H28 ～ R4	海外に移住した中城村出身者を招聘し、村民との国際親善交流に向け、世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会実行委員会が開催する中城村をPRするための村内視察や交流会等の開催を支援する。	・世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会実行委員会への支援	・中城村PR視察の実施 ・中城人交流会の開催 ・交流会への参加者数:270人	(今後の展開方針) ・海外の中城村出身者との交流を継続	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、情報教育補助員を配置し、授業支援を行う。	・情報教育補助員を配置し授業支援を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】引き続き、学校において情報機器ネットワークに慣れ親しむための環境整備、ITスキルの向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】(児童生徒)大多数にとって授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 (教員)大多数がICT機器活用の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。
4	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	・特別支援員配置 10人 ・相談員の配置 教育相談員 2人 心理相談員 1人	・特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・不登校児童生徒復帰率42%以上	【今後のスケジュール】日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。	【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した
4	③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援配置 2人	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.6%以上	【今後のスケジュール】数学科を中心とした授業内での学習支援を行うとともに、放課後の補習を通じた個々の生徒に合わせた学習支援を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】過去6年間の県差(-3.1～-10%)の平均値から成果指標を設定した。
4	④	子育て保育支援事業	H29 ～ R4	特別な支援を必要とする子を預かる保育施設を対象に、保育士の加配に対する支援を行い、要支援児の保育施設での生活の困難の改善を図る。	・加配職員数24名	・保育施設での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】引き続き、加配保育士を配置し、子育て保育環境の整備を図る。	【R4成果目標設定の考え方】対象者の大多数が保育施設での生活の困難が改善されたと考えられる指標として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	⑤	ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ～ R4	ひとり親家庭の育児の負担感の軽減を図るため、学童クラブが一人親家庭の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。 補助上限:5,000円/人・月	ひとり親家庭に対して利用料を減免している学童クラブへの補助を行う。	安心・安全に子供を預ける事ができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含めひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】ひとり親家庭の負担感が軽減されたかを保護者に対するアンケートにより効果を検証するものとする。検証の結果、事業継続の検討を行う。	【R4成果目標設定の考え方】過去のアンケート結果を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	①	歴史的資料整理公開活用事業	R4 ~ R8	中城村に対して一括寄贈のあった戦前から戦後間もない頃にかけて米軍関係者が撮影した1万5千点近くに及ぶ沖縄の写真・映像等資料を公開していくための整理を行う。さらに、これら資料を活用した展示会を開催をする。	各種歴史的資料の整理、展示会の実施	①歴史的資料の整理 ②展示会の開催 見学者数:3,000人	【今後のスケジュール】 R5~R7:資料の整理、情報収集、データベース化、展示会 R8:資料の管理・閲覧用システムの作成 R9~:公開	【R4成果目標設定の考え方】 展示会の見学者数は、過去の実績を勘案して設定した。
5	②	文化財整備事業	R1 ~ R5	村指定文化財「県道開削記念碑」の保存工事の実施、令和3年度に新規指定した村指定文化財「安里のムラガー」「伊舎堂のマーチュウグワ」へのサイン設置、劣化の著しい伊舎堂のマーチュウグワ」の保存に向けた調査設計を実施する。	調査設計と工事の実施	調査設計と工事の完了	【R5の成果目標】 R5:「県道開削記念碑」「安里のムラガー」の見学者各100人 【今後のスケジュール】 R5:伊舎堂のマーチュウグワの保存工事の実施 R5~:整備した文化財は、村や観光協会のホームページ、護佐丸歴史資料図書館の文化財情報システムのWeb上での公開など情報の発信、文化財巡り等での活用を図っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	③	地域多世代交流活性化事業	R3~ R4	南上原自治会で行われている組踊で使用する新規台本の作成と、衣裳・小道具の購入を行い、組踊の上演会を行う。	補助金の交付	①新規台本・道具・衣裳の製作 ②上演会の開催 見学者数:250人	【今後のスケジュール】 今後も南上原自治会の組踊の保存継承及び地域振興を図るため、年1回以上の上演会を実施する。また、中城村主催の文化まつり等でも上演を依頼する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	①	中城村農業振興推進事業	H30 ~ R8	①農業指導員及び補助員の配置及び試験栽培の実施 ②新たな推奨品目の検討	①農業指導員1名・補助員1名 重点品目の試験栽培の実施 ②新たな推奨品目の検討にむけた栽培試験を実施	①主要品目1品目の栽培試験の実施 ②新たな推奨品目1品目の栽培試験の実施	【R8成果目標】 試験栽培により得られた成果を活用し農業指導を行った農家の割合 80% 【今後のスケジュール】 引き続き試験栽培及び営農指導を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 農家の大多数に栽培試験の効果を行き渡らせる事ができたと考えられる指標として設定した。
6	②	とよむ中城産業まつり事業	H24 ~ R4	中城村内で生産・製造又は提供される産業製品を村内外へPRし、知名度の向上を目指して開催される「とよむ中城産業まつり」を開催する。	イベントを実施するための実行委員会への補助金交付	・来場者数:6,000名	【今後のスケジュール】 引き続き村内商工業の振興を図るイベントとして定期的に開催し、村内事業者が商材を広くPRできる環境を整える。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	①	平和継承促進事業	R4	再び戦争の惨禍が起きないように平和の発信地として多くの人へより一層平和継承について促進していくことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 設計委託の実施 移設工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 設計委託の完了 移設工事の完了 	【R5成果目標】 慰霊祭参加者 250人	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施(3箇所) ①運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 観光客や地元住民のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) ・文化財巡り等イベント開催:3回	文化財巡り等イベント参加者数170名	【今後のスケジュール】 今後もガイド団体等の人材育成を行い、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。
1	③	西原まつり運営事業	H27 ～ R13	西原まつりを開催し、観光誘客を図る。	西原まつりの開催の支援	まつり来場者数:17,500人	【今後のスケジュール】 今後もまつりを通して観光誘客を図り、地域活性化に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定したものをふまえて、コロナ対策の混雑緩和を考慮して目標設定している。
2	①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員2名派遣(町立4小学校)	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国語活動指導員を派遣し、外国語教育の充実を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、生徒に対してのアンケートにより検証する。
2	②	教育相談員配置事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・教育相談員配置数:3名 ・定期的な学校訪問(町立小中6校) ・教育委員会との連絡会議の実施(5回以上)	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 35%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して教育相談員が関わることで、状況の改善を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 R3の実績見込を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:8人 中学校:4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.6以上 算数 4.1以上 ・中学校 国語 0.8以上 数学 4.1以上 英語 -0.6以内	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:14人 ※状況に合わせて各学校へ配置 ※支援対象者の人数に応じて増減あり ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施(2回)	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を77%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が学園生活や学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ:8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 過年度における実施状況は、設定した成果目標を達成しており、効果的な事業展開が実施できているため、今後も継続的に事業が実施できるよう取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R13	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定する。	・確定測量の実施 ・表示登記申請の実施	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	【R5成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地内の境界確定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30～R5 確定測量・表示登記 R6 避難経路整備計画図策定 R7 避難経路整備	【R5成果目標の考え方】 避難路整備計画で定めた事業計画を基に、整備に繋げていく。
5	①	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	・求職者と企業のマッチング 20件以上 ・スキルアップ講座等 20回以上	新規雇用割合50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	①	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	・麻しん風しん(MR)予防接種の実施(接種率95%以上)	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん(MR)集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種勧奨に取り組み、接種率向上を目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。
7		官民連携によるコンパクトシティ形成事業	R4 ～ R6	・基本計画の策定(検討会、アンケート調査、パブリックコメントの実施) ・詳細事業費の試算 ・サウンディング調査	基本計画の策定	・サウンディング個別対話参加事業者数(17件以上) ・基本計画の策定完了	【R4成果目標】 策定する基本計画の中で、施設整備のあり方を明確化させ、サウンディング調査により官民連携(PPP/PFI等)手法による施設整備の実現を図る。 【今後のスケジュール】 R4 基本計画策定 R5 公募準備・資料作成 R6 民間事業者の公募、選定、契約締結	【R4成果目標設定の考え方】 R3実施のサウンディング調査参加事業者数実績を参考に設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8	復帰50周年記念事業	R4	本土復帰50年を控え、若い世代を含めた多くの町民の中で、復帰直後から現在までの文化や町の変遷の記憶が失われつつあるため、復帰以降の町の写真をデジタル化及び展示を実施し、町の文化と歴史の継承を図る。	①記録(写真等)の収集・デジタル化 ②フォトブック作成 ③西原町(村)今昔展の開催	展示会人数 10人/日	【今後のスケジュール】 フォトブックを各学校や図書館等へ配布し、いつでも復帰後の姿を確認できるようにする。	【R4成果目標設定の考え方】 コロナ禍であることを踏まえ、類似事業の実績より算定した。	
9	平和の約束運営事業	R4	西原町平和事業の一環として、西原町平和事業「平和の約束2022」を実施し、平和意識の醸成を図る。	「平和の約束2022」を開催	イベント来場者:250名	計画時点における新型コロナ対策のイベント実施方針により、会場のさわふじ未来ホール定員の50%に設定。 ※ ホール定員:504名	会場の定員の50%に設定。	
10	西原町観光PR促進事業	R4 ～ R8	交流人口の増加・歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員の配置、観光PR、町産品のPR業務にかかる経費の支援を行う。	①観光拠点施設「西原劇場」への人員配置 ②誘客イベントの実施 ③観光キャラクター運営事業 ④町産商品PR業務	①誘客イベント 2回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産商品PR 12回以上	誘客イベント、キャラクターの連携により交流人口の増加を図る。初年度のイベントの状況を踏まえ次年度以降の交流人口の目標数値を設定する。		
11	緑のリサイクル事業	R4 ～ R13	木枝廃棄物を利用した「循環のシステム」を構築し、町内家庭及び地域清掃、公共施設で出た木枝を堆肥化し、活用する。	・木枝の収集・計量・チップ化・堆肥化の委託 ・廃棄物処理施設技術管理者の研修・資格試験を受ける ・破砕機を購入する。	・木枝の収集量の把握 ・廃棄物処理施設技術管理者の資格の取得 ・破砕機を購入	【今後のスケジュール】 施設の設置場所・規模の検討	【R4成果目標設定の考え方】 ・木枝の正確な収集量の把握 ・施設整備に必要な資格を事前に取得する ・破砕機を購入する	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	・与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳まつりのCMを作成し、テレビ・ラジオ等で幅広くPRを行いより多くの集客を図り、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「ゆかたまつり」の開催、「スタンプラリー」を開催する。 ・地域活性化イベントを行い、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・屋台を製作・レンタルを行い、イベントや社交飲食業地区の空地を利用した事業の可能性を検証したい。 ・町内をアピールするリーフレットを製作したい。	・与那原大綱曳まつりへの50,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合) ・その他事業での8,000人の誘客。	・与那原大綱曳まつりや地域活性化イベントゆかたまつり、スタンプラリー等を通して与那原町の魅力を町内外に発信していく。 ・屋台の制作・レンタル等により今後のイベントや社交飲食業地区での事業展開の可能性を検証する。	
1	②	美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R13	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間(道路等)の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	・環境美化作業員配置14名による対象ルート等の美化清掃作業 ・フットライトの設置	・本事業による取組の結果、散策しやすくてきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して繁茂対策、美化作業を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる町へ再度訪れたいと、概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。
2	①	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・学習支援員 16名配置 ・特別支援教育支援員 16名配置 ・スクールカウンセラー 1名配置 ・特別支援教育コーディネーター 1名配置 ・保幼小中連携コーディネーター 1名配置 ・就学支援コーディネーター 1名配置	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	R13年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 ・対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。
2	②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、各校における英語指導の補助及び教職員とALTとの学校にあったカリキュラム作成の連携支援を行う。	・英語指導コーディネーター 1名配置	・児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	R13年度まで事業を実施するため英語指導コーディネーターを配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が満足したと考えられる値として設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H30 ~ R13	特別な支援を要する児童に対し支援をする事により、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを踏むため、個に応じたきめ細かな支援を行う事が出来るよう特別支援保育支援及び特別支援コーディネーターを配置する。	・特別支援保育支援員12名配置 ・特別支援コーディネーター1名配置	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	教諭及び児童、保護者の障害理解を図ることで、支援員配置を減らすことができる。12名→8名	【R4成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	非課税世帯等学童クラブ利用料助成事業	R4 ~ R13	非課税世帯等の児童が町内の学童クラブを利用した場合に、経済的負担を緩和するために利用料を軽減する学童へ、利用料軽減に要した費用の一部を助成する。	利用料軽減実施学童クラブへ助成。 ※10学童クラブの内、非課税世帯等の受入をしている学童クラブは全て実施してもらう。	・利用料助成対象者にアンケート実施。対象者の内、80%以上が「利用料助成により学童を利用できた、就労できた又は就労を継続できた」と回答することを成果目標とする。	継続して利用料助成を行い、非課税世帯等が学童クラブを利用しやすい環境を整え、子どもの安心・安全な居場所の確保に資する。	【R4成果目標の考え方】 助成利用者の内、80%以上の利用者の支持を設定。
4		与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ~ R13	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・海外移住者子弟研修生2名受入：日本語及び文化研修の実施 ・児童生徒・町民との交流会の実施 ・与那原町における交流会でのアンケート実施 ・帰国後の研修報告会及びアンケートの実施	・与那原町における交流会でのアンケート：違う国の文化や歴史に興味を持った人の割合：90% ・帰国後の研修報告会でのアンケート：沖縄・与那原に関心がある人の割合：90% (PR大使としての活動の実施)	交流会を継続して行うことで人的ネットワークの強化を図り、相互の文化振興や友好親善の推進へつなげていく。研修生は、帰国後積極的に町人会及び県人会活動に参加し、本町及び本県とのネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に寄与する。 また、町民の海外派遣についても、相互の国際交流の強化を図るため、計画する。	【R4成果目標設定の考え方】 両国の友好親善に資する人材の育成が図れたかを確認する。 対象者の大多数がアンケートの内容に肯定的であるという数値として設定している。
5		新しい公共交通検討事業	R1 ~ R4	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した公共交通の導入の可否を検討する	福祉型町内バスの実証実験を実施 アンケートの実施 検討委員会の実施	需要や課題等の実態把握の完了	【今後のスケジュール】 R4年度まで実証実験を実施し、R5年度の本格導入に向けて検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 高齢者や障がい者等の交通利便性を高めることを目的としているため、バスを利用した高齢者や障がい者等へのアンケートを実施し、アンケートより本事業の需要や課題等を見出し、本格導入に向けての検討をする。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	災害対策備蓄整備事業	H28 ～ R10	災害時備蓄食料等の購入・入替	<ul style="list-style-type: none"> 非常用食料 1,272食 粉ミルク 10缶 保存水(500ml) 2,304本 	<ul style="list-style-type: none"> 町民増加分及び賞味期限切れ食料等の入替 非常用食料 1,272食 粉ミルク 10缶 保存水(500ml) 2,304本 	令和5年度～令和10年度にかけて町民増加分と賞味期限切れ分を入替る。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年～令和9年各年度 非常用食料 1,272食 粉ミルク 10缶 保存水(500ml) 2,328本 令和10年度 非常用食料 1,278食 粉ミルク 10缶 保存水(500ml) 2,328本 	
7	与那原町伝統文化発信事業	R4 ～ R5	<ul style="list-style-type: none"> 与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡・伝統文化の映像を撮影し、映像コンテンツ等を制作する。 大綱曳に関する技術の記録等をとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像の撮影 コンテンツ等制作 架台の作成 大綱架台作成、旗頭架台作成、衣装の購入 大綱曳資料(緞帳)活用展示 資料館の看板設置 案内看板設置 	<ul style="list-style-type: none"> 【R5成果目標】 綱曳資料館へ3000人の誘客 【今後のスケジュール】 映像コンテンツ等を活用し、学び・体験を通して、伝統文化の継承・発展につなげる。 	過去の実績とコロナの影響を受けた時の実績及び令和4年4～6月の来館者数を勘案して設定した。	
8	与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ～ R13	公共交通の利用促進に係る、バス停環境の向上と、子どもたちへの将来の公共交通利用に係る学習会の実施、コンパクトなまちを生かした自転車利用の促進を図るための環境整備をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> ①交通教育の実施 両小学校実施・交通啓発用ポスター等の作成 ②自転車利用環境の向上に係る検討調査 ③バス停へのベンチの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ①公共交通教育の理解 参加人数の80%が理解 ②自転車利用に係る安全確保のための方策をだす ③バス停ベンチ設置率 25%以上 	本町のコンパクトな町域を生かした移動環境の向上を図る。(自転車等)また、自動車だけではなく公共交通等の利用を促進するための環境整備、意識啓発等を実施継続して実施することで、安全で安心な交通環境の構築する。		
9	新たなまちづくりに向けた公有地等活用事業	R4 ～ R13	沖縄県の均衡ある発展に向けた東海岸地域の活性化のため、本町への新たな経済効果(産業、雇用、税収等)を生み出すため、東浜地区に存する3つの公有地への企業誘致の準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> サウンディング調査の実施 土地利用基本構想、サウンディング調査を踏まえた基本計画の策定 実施方針、公募資料の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の策定 実施方針、公募資料の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 令和5年度 公募の実施 事業者の決定、契約 令和6年度 事業開始 策定された基本計画を実現可能な事業者による新たな経済効果の創出。 	策定予定の公募資料にて令和5年度に契約見込みがあるため令和5、6年度の成果目標とした。	

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ～ R5	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での歴史資料や地図等の案内板の整備を行うとともに、登山者の安全を確保するため平和学習広場の安全性を維持する為、最適な工法の詳細設計を行う。	・斜面崩落補強詳細設計委託業務一式	・斜面崩落補強詳細設計の策定	【R6成果目標】 町内の小学校へ授業の一環として、登山及び平和学習を年に1度実施し、沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	整備スケジュールに基づき設定した。 R1年度:基本計画作成委託 R2年度:実施設計委託 :用地取得 R3年度:価格調査業務 :運玉森「平和学習広場」設置工事 R4年度:斜面崩落補強詳細設計業務 R5年度:運玉森「平和学習広場」及び斜面崩落補強工事設置工事

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数:6人 ・4名 4校各1名 ・2名 中学校区各1名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う児童の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。 また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による公開授業を実施し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の実施 ・小学校4校 2年:国語・算数 3年:国語・算数 ②学力調査の実施 ・中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語 ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 6年 ・中学校2校 1年～2年 ・教員 ④外部講師による公開授業等の実施	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学2年:2科目/2科目 ・小学3年:2科目/2科目 ・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストの調査結果により個々の学力を把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる学力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 小学2年生、3年生は、標準学力調査において、平均正答率が目標値を上回ることを目標とした。 小学6年、中学1～2年は、沖縄県学力到達度調査において、前年度実績を踏まえ、目標値を設定した。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	(小学校) ・8名:4校各2名配置 (中学校) ・4名:2校各2名配置	・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、前年度実績を踏まえ、目標値を設定した。
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:25人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。また、クラス数が増えた学校へ電子黒板一式を整備し、授業環境の効率化を図る。	・ICT支援員1名配置。 ・クラス増となった学校へ電子黒板一式の整備。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすさと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。 また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 6名配置 ・作業療法士の派遣 66日 ・Q-Uテストの実施 小学校4校、中学校2校	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上	【今後のスケジュール】 ・不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰率を22.8%以上にする。 ・多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組めるよう情報共有の場を設ける。 ・本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては、令和元年度全国値 22.8%を目標値に設定した。
1	8	中学校外国人英語指導助手配置	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+5.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 中学校外国人英語指導助手を配置し、英語学力向上に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。
1	9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要な派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数140名	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する
1	10	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R13	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も事業の必要性や効果を検証しながら園児の体力向上に効果的な事業を実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	11	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	児童生徒の大会派遣の支援延べ38名	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっと身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
1	12	南風原町学校プール日よけ設置事業	R4 ～ R5	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。	実施設計。	実施設計の完了	【R5成果目標】 日よけ設備の設置により、整備箇所において熱中症者0人。 【今後のスケジュール】 R4: 実施設計委託 R5: 整備工事、供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、成果目標を設定した。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。	・観光ルートの町道メンテナンス完了 ・公園6箇所の景観美化完了	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R13	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催:1回 ・ヒーローを題材にした舞台化:1回	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3	シマじまガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規2名 ・シマじまガイド開催12回	シマじまガイド参加者:1,700人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場及び野球場芝生の管理委託 野球場内野グラウンド整備 黄金森公園陸上競技場管理職員の配置 スポーツ合宿受入時使用する備品購入 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人 Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人 	【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	5	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> はえるん等利用数:50件 イメージキャラクターによる観光PR活動(年間100回) 	<ul style="list-style-type: none"> 観光サイトアクセス数:190,000件 	【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	6	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R6	企業誘致等による産業振興の発展を図るため南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かし、照屋地区では都市計画決定に向けた図書の作成を行う。また、津嘉山地区については整備計画図の検討を行う。	照屋地区:都市計画決定に向けた図書作成 津嘉山地区:整備計画図の検討	照屋地区:都市計画決定の図書作成完了 津嘉山地区:整備計画図の策定完了	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換を重ね、合意形成を図り南風原南インターチェンジ土地利用計画書の実現に向けて取組み企業誘致を図る。	【R4以降の成果目標の考え方】 R1～R4:土地利用計画書 策定 R5以降:事業化に向けた手続き、面的整備
2	7	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R6	本町の産業振興を図り実現可能な広域商業交流ゾーンの形成を図るため、優先して事業化を図る区域の評価、検討を行い実現化方や、意見交換会を重ね地権者の合意形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 実現化方策の検討 概算事業費の算出 地権者意見交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 実現化方策の検討完了 概算事業費の算出 地権者意見交換会の開催 	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原北インターチェンジ土地利用計画を策定し企業誘致等を図る。	【R5以降の成果目標設定の考え方】 R2～R3:土地利用計画 策定 R5以降:事業化に向けた手続き、面的整備
2	8	ふるさと博覧会事業	R4 ～ R13	ふるさと博覧会を開催し町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る。	ふるさと博覧会開催の支援	来場客数:9,000人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、ふるさと博覧会を隔年で実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	9	南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R8	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図る。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえばる良品」の認証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 商品改良相談(延べ50件) 企業マッチング相談(10件) 品質向上セミナーの実施(3回) 販路開拓セミナーの実施(2回) 地域産品の販路開拓(テスト販売の実施5回) 優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(更新含む5件) 	商品改良の実施 「はえばる良品」の認証の実施	【今後のスケジュール】 販売向上率(個数):前年度比4%以上UP	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	10	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R6	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入(2頭)の導入支援	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110% 去勢110%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R4成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。
3	1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	町内から排出される草木の堆肥化完了	<ul style="list-style-type: none"> 家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):516トン 町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):106トン 	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。
3	2	環境保全3R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 1,200トン 廃食油の収集分別量19,500リットル	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 資源ゴミのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 また分別量は、R2年度の収集分別量の実績より算出した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	<p>安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の家賃住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭・非課税世帯等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。</p>	<p>(1)家賃補助 12カ所 (2)生活保護世帯及びひとり親世帯等学童クラブ利用料支援補助 167人</p>	<p>安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助を実施していく。</p>	<p>【R4成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4	2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R13	<p>出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。</p>	<p>(1)認可外保育園への補助 3園 1.運営補助 2.傷害保険補助 3.歯科検診補助 (2)町外認可外保育園に通う町内在住者の児童の保護者への助成 31名 1.町外認可外保育児童助成</p>	<p>・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 認可外保育施設の質の向上及び保護者の負担軽減を継続的に実施する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 アンケートについては、保育の質の向上、助成による負担軽減を実感できる保護者を対象とした。また、成果目標については、大多数が、保育の質が向上した又は助成により負担が軽減され満足したと考えられる値として80%を設定し、合わせて当事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4	3	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	<p>外国人観光客の急増により、観光客から麻しん、風しんにかかるリスクが増加していることから、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。</p>	<p>①MRⅠ期接種目標率 95% ②MRⅡ期接種目標率 95%</p>	<p>外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件</p>	<p>【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して壕内外のガイド案内を実施する。	開壕日数:308日	見学者数9,000人	【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。感染症対策に関する情報発信なども行い、利用者の安全確保と安心感を持って見学してもらえるようにする。また、感染症対策として有効な見学対応として、屋外における戦跡案内の充実を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去(R1～R2年度)の実績を勘案して設定した。
5	2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数:8人 ・事前学習及び本研修を実施後、報告会を開催	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味があった児童:90%	【今後のスケジュール】 ・本事業におけるOB会との連携、事後学習の充実を図る。 ・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催などを実施する。 ・令和3年度は新型コロナウイルスの影響で県外宿泊研修ができず、リモート研修を実施した。今後も状況に応じ、リモート研修を検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 児童の平等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。
5	3	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R13	それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史をはじめとした、相互の文化と歴史の学習を実施する。	・受け入れ国の数1カ国(南米ブラジル) ・研修生(1人)の受け入れ完了 ・研修成果の報告会を開催	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:80%以上 ・日本語をさらに習得したい:80%以上 ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上 ・海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上 ・ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%以上	【今後のスケジュール】 移民地の南風原町人会と南風原町を結ぶ人材育成が目的の事業であるため、出身国の組織継続を念頭に置いた取り組みを展開したい。	【R4成果目標設定の考え方】 海外と町を結ぶ懸け橋となる人材育成が図られたかを指標化することは難しいため、お互いの文化や歴史により一層興味を持ったかを、アンケートで測ることにより、懸け橋となる人材育成が図られたかを確認する。
5	4	伝統芸能保存会育成事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。	伝統芸能保存育成補助(1件)	補助団体による伝統芸能上演等回数34回	【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承を推進するため、自治会を支援する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	5	文化財活用事業	R4	町文化財を活用した歴史の継承及び観光誘客を図るため、町指定文化財を紹介する標柱及び解説板を整備する。	標柱・解説板:7箇所の整備の実施	見学者等にアンケート調査を実施「文化財についての理解が解説板により深まった」という割合が80%以上	【今後のスケジュール】 今後も文化財を活用した歴史の継承、観光誘客を行い、県内外からの見学者が案内板を通して文化財を学び、そこから南風原町の歴史・文化への理解・関心を深めてもらう。	【R4成果目標設定の考え方】 解説板をもとに文化財を見学した人に対して、わかりやすい解説板であったかをアンケート調査し、アンケート調査での理解度(80%)と設定した。
6	1	長寿県復活食の応援事業	H25 ~ R13	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	生活習慣病予防健診の開催 健診結果説明会の開催	中学2年生の継続受診率60%(令和元年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	【今後のスケジュール】 生活習慣病予防健診結果を教育委員会や町内学校とも共有することで学童期からの生活習慣病予防を効果的に進めていきたい。	【R4成果目標設定の考え方】 生活習慣病予防のためには健診結果を経年で見えていくことが重要であり、継続受診率を見ることで事業目的の評価を行えると判断した。なお、60%は本町の特定健診継続受診率を参考値とした。
7	1	南風原町観光地域保全対策事業	R4	河川の氾濫等に伴う、観光ルートの冠水、観光施設や集落地域の床上浸水等の災害から観光客及び住民の安心・安全を確保するため、被害の軽減に向けた基本設計を策定する。	基本設計の策定。	基本設計の策定完了。	【R10成果目標】 事業完了後の令和8年度の道路の冠水被害、浸水被害件数0件。 【今後のスケジュール】 R5:実施設計 R6~R10:対策事業	【R10成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、対策事業完了後の成果目標を設定した。
7	2	南風原町観光ルート安全対策事業	R4	防災、減災への取り組みとして、台風や局地的豪雨により河川の氾濫、浸水が想定される際に、観光客や河川沿線の住民などの初期避難を迅速に行うため、河川の状態を監視するカメラを設置し、町のホームページや防災無線等でリアルタイムに情報発信ができるように整備する。	河川監視カメラ5基の整備	河川監視カメラ5基の整備完了	【R5成果目標】 ホームページ上でリアルタイムの情報を発信し、河川浸水・氾濫による人的被害件数0件。 【今後のスケジュール】 R4:整備工事 R5:運用開始	【R5成果目標設定の考え方】 河川監視カメラで、リアルタイムの河川水位情報を安全に入手し、洪水時の監視体制の強化を図り、早期の避難行動を起こす指標とする。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R13	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	・PRツールの制作配布(観光MAP等) ・県内外で行われるイベントでのPR活動(沖縄国際映画祭、ツーリズムEXPO等) ・広告掲載(観光情報誌掲載) ・外国語スタッフの配置(那覇泊港とまりん)	①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・とかしきマラソン参加者の安定確保のため、特色を前面に出したPRを展開する。 ・観光振興実施計画に基づく実績の評価(PDCA)を実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 ②大多数の観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海兵、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する	①花木植栽10箇所実施 ②美化清掃10箇所実施	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図れたか(80%以上)をふくめ、アンケートにより本事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 R13年度まで継続実施し、本村のイメージアップに務める	【R4成果目標の考え方】 対象者のうち多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する
1	③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会等への支援や、修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会への支援を行う。	・各イベントへの支援 ・観光協会への支援	①年間入域観光客数 134,800人以上 【参考指標 R1実績】 イベント来場者(参加者)数 ・とかしきまつり 600人 ・とかしきマラソン 890人 ・冬季(11月～3月)20,394人 ②修学旅行受入校数 10校以上/年	【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘り起こしや入域観光客の標準化を図る。 ・修学旅行等誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関東地区と関西地区の新規開拓に向けた取り組みを強化する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7月、8月 阿波連ビーチ 1名追加)	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	安心安全な村づくり推進事業	R4 ～ R4	持続可能な観光地の形成に向けて、村内の防犯灯が無い暗い道にLED防犯灯を設置し観光客の回遊性を高めることで、夜間においても安心安全が確保された離島特有な閑静な町並みが広がる観光地として、新たな滞在型観光客の誘致を図る。	LED防犯灯設置 18箇所	観光客を対象としたアンケートを実施し、集落内(夜間)の安心さ・安全性に関する設問に満足、やや満足と回答した割合が80%以上。	誰もがリラックスして楽しめる観光地として安心安全な村づくりを推進していく。	観光客に対し満足したと考えられる値として設定した。
2	①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間自動車航送台数 自動車 810台	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(満足度80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後の目標】 離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	【R4成果目標の考え方】 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として、アンケートを用いて満足度80%以上と設定し、検証する。
2	②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R13	渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する	年間補助回数 30回	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3	①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R13	村立小学校に学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。 <R3取組> 配置人数 村立小学校2校に各2名、計4名	渡嘉敷小学校へ支援員を2名派遣 阿波連小学校へ支援員を2名派遣	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+7.9ポイント以上	児童の学力向上及び離島の教育環境の改善を図る。	R2年度の沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率と村の平均正答率を比べ、その差をR4年度成果目標に設定。
3	②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。 <補助概要> 対象経費:交通費、宿泊費等 自己負担:一律2千円/回	島外の人との競争や交流の機会を確保することで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	保護者へアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったと考える保護者80%以上を成果目標に設定。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。	オンライン学習塾の開校 小学校5年(国語・算数)76授業 小学校6年(国語・算数)76授業 中学校1年(数学・英語)76授業 中学校2年(数学・英語)76授業 中学校3年(数学・英語・国語)168授業	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本校の平均点の差を14.1以内とする。	オンライン塾の実施継続を行い、児童生徒の学力向上を図る。	オンライン学習塾を継続し、全国平均との差を縮小する。
4	①	渡嘉敷村農村整備振興事業	R4 ～ R13	農業(農家の利便性、安全性の確保及び新規農業従事者獲得に向けたアピール)、観光(自然を感じられる散策コースとしてアピール)、環境(動植物保護のための保全活動)の3つの総合的な観点から農村地域の整備を行い、魅力と活力のある継続可能な農業振興を図る。	島の玄関口にあたる農村公園一帯の植栽・整備。その周辺の農道の草刈り作業。	村民・観光客へのアンケート 農環境が改善した80%以上	【今後のスケジュール】 沖縄らしさを活かした魅力的な農村の景観を形成することで、農業と観光業の総合的な振興を目指す。	【R4成果目標の考え方】 対象者のうち半数以上が農環境の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13	村内の指定3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、水難事故防止及び安全確保を図るため、ライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ 2名(3名) ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月 古座間味ビーチ 1名追加)	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	【今後のスケジュール】 ライフセーバー人材の確保と水難救助講習会による人材育成に努め、より安全な海水浴場づくりに注力する。	【R4成果目標の考え方】 水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、引き続き村指定の3ビーチにライフセーバーを配置し水難死亡事故0件を目指す。
1	②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R13	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともに、県外での観光PR活動の実施、PR素材の制作を行う。	・各種イベント実行委員会への補助金交付 ・県内外PRイベントの実施 ・PR素材の制作	入域観光客数112,000人	【今後のスケジュール】 一層の入域増につなげるよう、イベント内容を改善しながら、実施してゆく。	【R4成果目標の考え方】 観光客数が国立公園指定当時ほどの増加率で推移しないが、数のみならずリピーターづくりに努める。
1	③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光客誘客活動年5回 ・観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発 4回 心肺蘇生講習会 2回	・観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。	【R4成果目標の考え方】 大多数の事業所から評価が得られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。村内事業所の意見を聞くことで、観光協会職員の意識向上、スキルアップを図る。
1	④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R5	村内をはじめ、県内又は県外のスポーツ団体を誘致し、地域のスポーツ振興、活性化を図るため、本村既存の緑地公園グラウンドの照明設備の更新工事を行う。	平和の塔進入路の調査業務及び設計業務の委託	平和の塔進入路の調査業務及び設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R4:平和の塔進入路 調査業務・設計業務 R5:平和の塔進入路 工事・施工管理	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	⑤	座間味港緑地公園照明設備更新工事事業	R4 ～ R5	村内をはじめ、県内又は県外のスポーツ団体を誘致し、地域のスポーツ振興、活性化を図るため、本村既存の緑地公園グラウンドの照明設備の更新工事を行う。	実施設計の委託	実施設計の完了	【今後のスケジュール】 R5年度に更新工事を実施 利用団体数の増加を図るためのイベントの企画または村内外の団体への周知、PRを行う。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 利用団体数 5団体以上 イベント数 3回以上 【今後のスケジュール】 R4:実施設計 R5:既存設備撤去、LED投光器設置 R6:供用開始

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度末)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①		座間味村島ちやび解消 移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 利用者アンケート内容も参考に運航会社に機材の追加導入や予約時の利便性向上を求めていく。	【R4成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
2	②		座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	車両航送運賃の低減化支援	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答 80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 定住促進のため、経済的な負担を軽減し、住みよい環境づくりにつなげることで、定住を促す。 本事業について住民がどの程度継続を希望しているかも含めて、アンケート分析を行う。	【R4成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
2	③		座間味村冬季船舶運賃低減化実証実験事業	R4 ～ R6	入島手段が船舶に限られる座間味村では、オフシーズン(冬季1月～3月)における観光客の落ち込みが見られることから、冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図るため、冬季の那覇発の往復船舶運賃を低減化する実証実験を行う。	冬季(1月～3月)における船舶運賃低減化	1月～3月旅客数:8,000名以上 1月～3月上:34百万円以上	3年間実証実験を行い、実証結果に基づき料金等の設定を行い、観光客の平準化、航路事業の安定化を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④		座間味村大型2種免許取得助成事業	R4	座間味村内の唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許取得者が村内に少数であることから、今後のバス運行を安定的に続けるための運転手確保を目的とし、免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行う。	大型2種運転免許取得者への取得費用の一部助成、 取得期間の宿泊費用、交通費、船舶運賃の全額助成	助成者数10名	【今後のスケジュール】 今後の村営バス運転手を確保し、住民ならびに観光客の交通手段の確保、夏場のピーク時における観光客の利用促進、来島者の利用増加に繋がるよう取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 村営バスの運行継続、運転手確保による観光客が増える夏場の本数増便、観光客の利用拡大に向け、村営バスの安定的な運行が可能となる人数として助成者数10名を成果目標として設定した。
3	①		座間味村防災体制強化事業	R4	災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。	緊急車両(消防車)の整備	緊急車両(消防車)1台の導入	【R5成果目標】 ・座間味村消防団訓練 12回以上/年	【R5成果目標の設定の考え方】 当該車両を活用した座間味村消防団の訓練の実施により検証を行うことで、防災体制の強化に繋がると考え成果目標と設定した。 回数については、月に1回以上訓練を実施するものとし設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	座間味村地域防災計画策定事業	R4	災害への備えや発災時において住民及び観光客等の安全を確保するため、村の防災体制の基本的事項を定めた地域防災計画の全面的な見直しを行う。	座間味村地域防災計画の更新	座間味村地域防災計画の更新完了	【R5成果目標】 ・地域防災計画を活用した避難訓練の実施 1回以上/年	【R5成果目標の設定の考え方】 地域防災計画を活用した住民・観光客が参加する避難訓練の実施により検証を行うことで、防災体制の強化、観光客や住民の安全確保に繋がると考え成果目標として設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 拝所:約90箇所 アクセス道路:13路線	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所、拝所:約90箇所 アクセス道路:13路線	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R13	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	①イベント開催:1回(2日間) ②フェア出展:1回(3日間)	・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:35人 (むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー) ・イベント来場観光客数:94人(2日間) ・フェア全体での来場客数(3日間で15万人)の1割である15,000人に観光PR用の配布物を提供する。	【今後のスケジュール】 R13年度までイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	ハブ対策事業	R2 ～ R13	ハブ捕獲・駆除を行うことにより、地域住民や観光客の安心安全が確保され、観光振興と安全な生活条件の整備を図る。	・作業員の配置(3人) ・捕獲器の設置・見廻り(130基) ・捕獲器の追加設置(5基) ・モニタリング調査のための捕獲器設置(5基) ・生息しづらい環境整備(除草作業)	・ハブ咬傷被害:0件	【今後のスケジュール】 個体数の減と咬傷被害ゼロのため捕獲事業を継続して実施し、観光客地域住民の安全安心を確保する。	【R4成果目標の考え方】 令和2年度から当該事業を開始し、車両購入、捕獲器130基を購入し設置した。令和3年4月から11月現在まで39匹のハブが捕獲された。(うち捕獲器で確保したハブ31匹)。引き続きハブ駆除を積極的に行い、離島である本村の特色的な自然環境、歴史、文化などの資源を活用した着地型観光を促進するためにも、個体数の減と咬傷被害ゼロを目指す。
2	②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実及び児童生徒の学力向上を図るため、村内に村営塾を設置する。	5月から翌年3月まで月50コマの村営塾の実施	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:2ポイント以上 中学校:平均以上	【今後のスケジュール】 県学力到達度調査 ●小学校 県平均を上回る状況を継続する ●中学校 県平均以上を目標とする	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	児童・生徒派遣事業	H27 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加への参加の支援	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を続けていく。児童生徒の生きる力を育む。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	粟国村への観光入域者数:3,300人以上	【今後のスケジュール】 第四次粟国村総合計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R4成果目標の考え方】 第四次粟国村総合計画に基づき、設定した。
3	②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ～ R13	粟国⇄那覇間の車両航送利用者に対して往復運賃の半減補助を行う。	自動車航送運賃を低減するための支援実施	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減し、住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	粟国村墓地周辺環境整備事業	R4 ～ R6	墓地周辺整備に必要な調査及び基本計画を行う。	粟国村墓地周辺環境整備の基本計画を策定する。	粟国村墓地周辺環境整備の基本計画の完了	【R7年度成果目標】 墓利用者へのアンケートにて「粟国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備が図られたか」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数「粟国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備が図られたか」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	④	定住促進住宅整備事業	H25 ～ R5	人口減少抑制に向けた定住促進対策として、U・Iターン者の移住者等を受け入れる住宅の整備を行う。	定住促進住宅の基本設計、土質調査、実施設計の実施	建築工事に向けた実施設計の完了	【今後のスケジュール】 R5: 建築工事 R6: 供用開始 【R6年度成果目標】 定住促進住宅の同居世帯数(6世帯)	【R6成果目標設定の考え方】 住宅の同居可能世帯数(6世帯)で設定

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

栗国村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	和牛改良支援事業	H25 ～ R13	本村畜産業支援のため、付加価値の高い子牛の生産ができるよう県内外から母牛となる素牛としての優良雌子牛の導入を支援して畜産業の振興を図る。	優良雌子牛導入10頭	優良雌子牛導入10頭	優良仔牛(母牛になる素牛)約50頭導入(R4～R8累計) 地域内母牛の改良を行い、付加価値の高い仔牛の出荷の拡大を図る。	現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%(-22%)なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	環境保全・美化推進事業	H24 ～ R13	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	指定箇所の実施	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 これまで同様事業を実施し、渡名喜らしい観光地づくりをめざし、観光客や地域の方々が安心・快適に過ごせるよう事業を継続していく。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	観光客及び島民に対するフライト実施の支援回数50回	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) R4年度:50回	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が事業の目的である利便性が確保されていると感じたか考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	渡名喜村消防・急患搬送体制強化事業	R4	消防車及び急患搬送車両の導入	消防車及び急患搬送車両の整備	消防車及び急患搬送車両の導入完了	【R4成果目標】 消防車及び急患搬送車を活用した消防訓練を年間6回以上実施し、医療提供体制や消防防災体制の強化を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 安全性が確保されたかどうかについて消防訓練を実施し、効果を測定するものとし、2ヶ月に1回の消防訓練の実施を設定する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。	検査技師等スタッフ来島渡航費の支援。	集団検診受診率36.0%以上。	【今後のスケジュール】 引き続きR4年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。
1	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R13	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげ、受診者の負担軽減を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。
2	①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 11カ所、アクセス道路 3カ所)	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃を行い、観光地の景観と魅力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。	派遣された児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持たせたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	循環型農業推進事業(土壌改良材製造施設整備事業)	R4 ～ R6	島内での土壌改良材の自製を可能とし、現在堆肥の投入が行われていない農場へ散布を行うことで、農業生産性の向上を図る。	・実証試験(試料製造・分析等) ・土壌改良剤製造施設の基本設計 ・機器整備	土壌改良資材の実証試験および施設の基本設計、自然池の汚泥等混合による実態調査。	【R9成果目標】 サトウキビ生産量5%増	【R9成果目標設定の考え方】 本村のさとうきび増産プロジェクト取組計画において、5%程度の生産増を目標としている。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	① 大池周辺自然観察施設整備事業	R3 ～ R4	天然記念物である「大池のオヒルギ群落」等の野生動植物が生息する、特有の自然環境を活用するため、自然観察施設を整備する。	浮棧橋設計業務及び監理業務、建築工事の実施。	浮棧橋設計業務及び監理業務、建築工事の完了。	【R5年度以降成果目標】 自然観察施設整備完了後、環境保全を図ると共に、島内観光客数の増を5%以上とする。	【成果目標の考え方】 過去5年間の観光客数の平均(3,497人)に概算の見込みで5%(175名)以上と設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R13	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m(10箇所) ・作業員配置4名	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化の実施を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R13	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・文化交流イベントの開催:4回(県内:1回)	・島の観光入客者数:1,100人以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R13	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消するため、村営塾を開講し、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。	・学習支援員(塾講師)配置:1名 ・東大生によるオンライン双方向授業:授業数66授業/年、講師10名	・令和4年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	保護者の育児への負担感を軽減するため、小学校就学前の子供に対する保育及び教育を行うものの支援員を配置し、認定こども園を実施する。	・認定こども園支援員配置:6名	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・認定こども園の運営する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことにより児童・生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外へのスポーツや交流学習に参加する児童・生徒に対し渡航費の補助を行う。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R13	特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行う。 また、村民の心身の健康に関する不安を解消するため、専門医療従事者を招聘し、相談や検診等を行う。	・特定重病患者等の検診助成の実施 ・専門医療従事者の招聘	・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・特定重病患者等の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続する。 ・専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続する。	【R4成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	① 北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向け、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:300m ・過年度実施個所の給水	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	① 土づくり推進事業	R3 ～ R13	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成(50圃場)	・土壌カルテ作成(50圃場)	【R7成果目標】 ・農産物生産量 31,681t以上 【今後のスケジュール】 ・R3: 土壌カルテ作成 ・R4: 土壌改善 ・R5: 改善土壌への作付 ・R5-6: 改善土壌での収穫 ・R6: R5-6の生産量確定値	【R7成果目標の考え方】 直近7年中最大及び最小を除いた5年の農産物生産量の年間平均値に、過去の平均的な増減率を乗じた値以上を目標として設定した。	
6	① 北大東村水産業施設等海水供給施設整備事業	R1 ～ R4	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給するため、海水供給施設を整備し、鮮魚の島外出荷量の増加を図る。	・取水施設塩害対策工事の実施	・鮮魚の島外出荷量 41.1t以上/年	【今後のスケジュール】 ・R2: 施設整備 ・R3: 供用開始 ・R4: 塩害対策工事	【R4成果目標設定の考え方】 鮮魚の島外への出荷量が増加することで、水産業の振興が図られると考え設定した。 指標については、R4年漁獲量見込量の額から島内の鮮魚消費量を差し引き算出した。 41.1(t)=59.6(t)-18.5(t)	
7	① 避難所強化事業	R4	避難所の機能強化を図り災害発生時の安全性の確保を図る。	・各種避難所の雨戸設置及び、各公民館のシャワー室整備	・避難所の安全性が向上されたか(80%以上)を含め、避難所利用者等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・避難所の安全性向上を行うことで、離島における安心な暮らしを充実させ定住促進を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が避難所の安全性が向上されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
8	① 北大東村深層地下水利用事業	R4 ～ R6	産業振興を図るため、深層地下水の利用を行う。	・利活用計画、試掘、成分分析	・深層地下水の利用プロジェクトの件数 2件	【今後のスケジュール】 ・R4: 利活用計画、試掘、成分分析 ・R5: 削井工事(第1基) ・R6: 削井工事(第2基) ・R7: 供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 深層地下水による水温や栄養分で養殖産業の振興が図られると考え設定した。 指標については、過去出荷量の個数より設定した。 5,000(匹)=2,500(匹)*2	

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・1団体約250名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域(各戸別訪問)を継続的に実施 ・年間受入観光客数 延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 4,431人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R4年度成果目標の考え方】 R3年度は緊急事態宣言等の影響により、修学旅行の実績が3校(見込み)となったが、誘致活動は継続しており、過去の実績を勘案し、R1年度と同程度として設定した。
1	②	観光地等イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。 観光地：15カ所 アクセス道路：10路線	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 観光ルート等の雑草の除去および清掃作業を実施する。 ・観光地：15カ所 ・アクセス道路：10路線	【R4年度成果目標の考え方】 観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。
1	③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	・委託事業8件	村内入域観光客数 11,925人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントの開催及び開催支援を行い、観光誘客を図る。	【R4年度成果目標の考え方】 予定しているイベントは予定通り開催できる見込みと予測するが、新型コロナウイルス感染症や軽石の状況が不透明なため、R2年度と同程度と設定した。なお、いへやまつりと伊平屋ムーンライトマラソン、については令和4年度も中止が決定したため目標数値を令和3年度と同程度として修正を行った。
1	④	観光振興基本計画策定事業	R4	観光振興基本計画を策定する。	観光振興基本計画の策定	観光振興基本計画の策定完了	【今後のスケジュール】 策定した計画に沿って、観光振興を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 観光振興基本計画の策定を目標としているため設定した。
2	①	病害虫防除事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤(性フェロモンチューブ)設置：160ha	・さとうきびの生産量 5,277トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日 以内	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う	【R4年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援 14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	【今後のスケジュール】 今後も畜産振興を図るため、農家に導入支援を行う。	【R4年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
パ	細				R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	①		伝統文化継承支援事業	H24 ～ R13	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化学習の日の開催(毎月第3水曜日) ・各支部・団体への支援(6団体) ・島外芸能公演の開催出演	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 300名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望をもち、継続して後継者を育成する。 今後も、芸能保存活動並びに独演会等の企画運営を支援していく。	【R4年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②		特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置 1名 ・学習支援員の配置 3名	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -5ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -4.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R4年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③		英語学習支援事業	H25 ～ R13	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・海外短期留学(アメリカ)派遣 3名 ・イングリッシュキャンプ開催 30名	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【R4年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3	④		伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生9回・135名) ・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生6回・324名)	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R4年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑤	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ R14	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・商品開発を通した生徒への研修 ・パッケージデザイン決定 ・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座 ・商品開発、職場体験を通した発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑥	福祉従事者人材育成事業	R4 ～ R6	本村の福祉人材を確保・育成するため、研修を実施する。	村内、村外での各種研修の実施	村内外での福祉人材育成確保研修の完了 福祉人材3名以上	【今後のスケジュール】 R8 R4同様 R13 R4・R8同様	【R4年度成果目標の考え方】 福祉人材を計画実施年度毎に3名以上育成することを目標に設定した。
3	⑦	社会教育推進事業	R4 ～ R13	集落コーディネーターを育成し地域活性化を推進するため、総合的支援を実施する。	・集落コーディネーター育成 4名 ・委託事業 1団体	地域の区長・住民へのアンケートで、支援プログラムの満足度(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続的に支援を実施し、地域住民の参画意欲・コミュニティ活性化の推進を図る。	【R4年度成果目標の考え方】 地域住民のコミュニティ活性化が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	R4 ～ R13	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	嘱託保育士配置 1名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児における負担の軽減を図る。	【R4年度成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が育児における負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
4	②	適正飼養推進化事業	R4 ～ R8	本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた普及・啓発活動の取組を行う。	・説明会等の開催 2回/年	説明会等の実施 2回/年	【今後のスケジュール】 R5～R8 野良猫や野猫の捕獲など	【R4年度成果目標の考え方】 県内他の自治体でも取組の少ない猫の飼養条例策定並びに制定並びに避妊・去勢手術助成を先導的に行うことで動物にも人にも優しい住環境づくりを行うことを目標とした。
4	③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対しフェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送運賃の低減 R1年度:年間6,300台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R4年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	④	公営墓地等整備事業	R4 ～ R7	墓地基本計画を策定する。	墓地基本計画の策定	墓地基本計画の策定完了	【今後のスケジュール】 策定した墓地基本計画をもとに公営墓地等整備計画を作成する。	【R4成果目標設定の考え方】 墓地基本計画の策定を目標としているため設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。また花の植栽を年間4回実施する。	花木の植栽及び肥培管理：16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃：16カ所	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光施設等の環境美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 島内を訪れる観光客を対象に魅力的な観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定し、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R6	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品などの修復を行う。	旧蔵品の修復を完了	旧蔵品(復元資料)を活用した祭事への来場者数:250人 アンケートによる満足度調査:80%	旧蔵品を活用した公事清明祭を開催し、広く観光誘客に努める。	・復元された旧蔵品を使用する公事清明祭への来場者数 令和4年度 250人(目標値) ・保存修理の実施
1	⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R13	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	大会内訳 ・ドラッグレース:2回 ・ジムカーナ:1回	来場者数:453人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	景観形成への支援 団体支援→5団体	観光地としてふさわしい景観であると感じる	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、観光地としての魅力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑨	伊是名海岸環境整備事業	R3 ～ R6	地域資源を活かした心安らぐ魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備事業における実施設計業務の完了	伊是名海岸環境整備事業における実施設計業務の完了	【今後のスケジュール】 R4 実施設計 R5 整備工事 R6 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 供用開始後1年目(令和6年度) 年間観光入客数 36,071人 上記の数値は過去の実績を勘案し設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリーの自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送往復運賃(伊是名⇄運天港)の負担軽減	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたかを含めアンケートにより本事業のあり方を検証するものとした。
2	②	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R8	Iターン・Uターンによる移住者の定住促進を図るため。	建築工事(内花区)を行う。	用地買収・建築設計・建築工事の完了	【R4成果目標】 仲田区:4人(2棟6戸) 内花区:2人(1棟3戸) 【今後のスケジュール】 R4: 建築工事(内花区)	【R4成果目標設定の考え方】 建築後、供用開始から毎年度2世帯ずつ入居することで定住促進が図られていると判断し設定した。
3	①	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ R13	伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 派遣者 伊是名小学校6年生:10人 引率者:5人	○児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成 ○保護者へのアンケートで、県外での交流により、児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 これまでの事業内容を精査し、より効果的な事業展開を図る。	【R4成果目標設定の考え方】
3	②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:7団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外教育活動の支援を行い人材育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験及び交流ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により保護者の育児における負担軽減を図る。	保育士の雇用:2人	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担軽減が図ることができたか(80%以上)を含め当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担軽減を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	④	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図る。	小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:20人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:11人	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に体験学習等を実施し、人材育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑤	学習支援事業	H24 ～ R13	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:4人	平成28年度～令和2年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -13.3ポイント以上 中学校 -1.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 R2年度までの過去5年間の実績を踏まえて設定した。
4	①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量の増加を図るため、圃場に堆肥の散布を行う。	堆肥導入数量 : 2,000t	さとうきびの単収 : 6,600kg	【今後のスケジュール】 継続的に堆肥を導入し、連年散布による生産物の増量を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 令和3年度伊是名島さとうきび増産プロジェクト会議において決定した。目標単収を設定。
4	②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	石礫除去機導入 ・バックホウ 1台 ・除礫バケット 1台 ・ホイールローダー 1台	石礫除去機導入の実施	石礫除去機導入の完了	R4 機械導入 R5 供用開始 年間作土造成:1,170t	【成果目標の設定】 機械処理能力×土の体積重量より算出した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	R4導入目標:50頭	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:105%以上	【今後のスケジュール】 今後は優良雌牛導入牛から生まれた子牛の一部を母牛候補として積極的に保留する取り組みを実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	物産展等への出展 呉服店(問屋)へのセールス 試作品製作(販売PR・カタログ用) 試着室整備 アドバイザーの招聘	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,500万円以上 ②小物売上額 1,200万円以上	【今後のスケジュール】 久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	県内外での物産展開催、出展(5回) 販売促進店舗ガイドマップ2種作成(各5,000部)	開催、出展した物産展における島特産品の販売額2,352万円以上	【今後のスケジュール】 島特産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒へキャリア教育等を実施する。また、島内事業所の受入協力を依頼し、島内産業の魅力伝える。	・ジョブシャドウイング(小) ・インターンシップ(高) ・職場体験(中) ・職業人講話(小高) ・職業体験型イベント(小) ・グッジョブ連携協議会の開催 ・追跡調査の実施	・各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して【良いイメージ】と回答した割合(80%以上)」により本事業の効果を検証する。 ・小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合(50%以上)」により本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 若年層の就業意識の向上を図り、地域に愛着を持ち、島でも魅力のある仕事に就けるといふ個々の意識改革に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、追跡調査実施することによりより事業の効果が図られる。
2	④	ブランディングサポート事業	R4	本町の島素材を活かした特産品の売上向上を目的に、既存商品のブラッシュアップを含めた、販売戦略手法や経営マネジメントを学べるブランディングセミナーを開催する。	ブランディングセミナーの開催(10回) 沖縄県内の先進地視察研修(北部・中部・南部)	セミナー参加事業所へのアンケートを行い「事業継続していく上で効果があったか」の問いに「効果的であった」と回答した割合80%以上	【今後のスケジュール】 既存商品のブラッシュアップやブランディング等の経営方法の底上げにより、後年度、事業者の売り上げ増に繋げていく。	【R4成果目標設定の考え方】 第2次久米島町総合計画を基に成果目標を設定。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R4事業内容	R4活動目標(指標)		R4成果目標(指標)	今後の展開方針等
3	①	観光誘客促進事業	H26 ～ R13	<p>観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのPR活動を行うとともに観光閑散期対策として、LCCを活用した久米島、宮古島周遊ツアーの造成に向けた支援を行う。また、観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。”①島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に「いま訪れたい」と回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>②来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>③2島周遊ツアーへの参加者数：2,000名</p>	<p>・観光広報活動(「久米島観光の日」イベント開催、県内イベント参加4件、県外イベント参加1件)</p> <p>・久米島空港観光案内業務</p> <p>・2島周遊ツアーの造成</p>	<p>①島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に「いま訪れたい」と回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>②来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>③2島周遊ツアーへの参加者数：2,000名</p>	<p>【今後のスケジュール】 第2次久米島町観光振興計画に基づき、①島内観光全般の受け入れ基盤・体制強化及び質の向上を図る取り組みとして観光案内の改善、充実。②ターゲットに応じた誘客、プロモーション戦略として、効果的な情報発信の推進を図る。③ツアー造成に向けた支援調整を行う。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 アンケート対象者の大多数にとって利便性が確保された、観光地として認知されたと考えられる数値として設定した。本事業のあり方についてアンケートにより検証する。また、周遊ツアーへの参加者数は入域観光客の数値にも繋がるため設定した。</p>
3	②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R13	<p>観光関連商品の売上増加を図るため、島の資源を活用したプログラムの販売促進及び教育旅行の受入体制強化を図る。</p>	<p>・観光体験プログラムの販売促進</p> <p>・民泊受入体制の整備、強化</p>	<p>観光体験プログラム売上額 4,035,802円</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も体験プログラムの質の向上や人材育成に取組み、観光関連商品の売り上げ増加を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
3	③	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R13	<p>久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。</p>	<p>交流人口を対象とした航空運賃割引の実施</p>	<p>久米島町への観光入域者数：126,000人以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。</p>

R4活動目標(指標)：令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標)：令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	④	久米島観光ブランディング事業	R4 ~ R6	久米島観光の「ブランド化」を進め、観光資源の高質化と高付加価値化を図るとともに、効率的な情報発信を行う。	・ご当地グルメの開発2品 ・新たな特産品・お土産物の開発2件	-	【R5成果目標】 (令和5年)目標 一人当たり 食事・お酒 12,851円 お土産・買い物 8,329円 【今後のスケジュール】 豊富な観光資源を生かした地域ブランドの確立と久米島観光の認知度向上を図っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 久米島町第2次観光振興基本計画に掲げた観光消費額増につながる目標設定を行った。
3	⑤	久米島らしい景観形成事業	R4 ~ R4	久米島らしい景観を形成し、草むら等を好むハブから観光客と住民を守るため、海岸等の清掃や草刈りを行う体制を強化し、安全安心な環境の整備と誰もが快適に楽しむことができる観光地の創出を図る。	備品購入 ・ホイロローダー(0.4㎡) ・軽トラック ・芝刈り機(乗用)	-	【R5成果目標】 観光客にアンケートをとり、「魅力的な島・観光地としての景観形成が図られているか」に対して満足と答えた割合が80% 【今後のスケジュール】 即応性・機動力の高い機器であるため、作業効率があがり負担が減るので、現場対応に余裕が生まれより迅速な対応が可能となる。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県の観光統計実態調査の過去の実績を参考に設定した。
4	①	島外保育士確保対策事業	R3 ~ R13	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。 県外上限:30万 (※県補助上限40万)、 県内上限:40万	島外保育士の渡航費、転居費の支援 県外5人、県内5人	待機児童数 5人以下/R5.4.1時点	【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績から設定した。
5	①	英語指導員配置事業	H24 ~ R13	小中学生の英語への興味・関心を高めるため、小中学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	英語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	・管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・管内2中学校の全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差が-3ポイント	【今後のスケジュール】 今後も、英語指導員を配置し、外国語授業等の支援に取り組むことで、小中学生の英語への興味関心を高める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	基礎学力学習支援員を配置し、学習支援を実施	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 県平均+6点以上 高学年(5年生・6年生) 県平均+7点以上	【今後のスケジュール】 今後も、学習未定着児を対象とし個々の習熟に応じた学習支援に取り組み、児童の学力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	特別支援教育支援員を配置し、必要とする児童生徒の支援を行う。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(89%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、大会等に参加した生徒とその保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。
5	⑤	小中アシスト相談員事業	R4 ～ R13	小中アシスト相談員を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行為の早期対応、改善に取り組み、不登校者数減少を図る。	小中アシスト相談員を1名配置し、登校支援を実施	不登校者数減少率6% 不登校者数計16人 小学校2人(R3年12月時点) 中学校14人(R3年12月時点)	【今後のスケジュール】 いじめの積極的な認知を図り、新規不登校者を抑えながら、不登校児童生徒の登校支援を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 長期的な心のケアが必要であることから、年1名以上の登校復帰を目指す。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R13	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	英語指導助手:5人配置 小学校4校:3人配置し分担 中学校2校:2人配置し分担	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差平均以上	【今後のスケジュール】 小学生、中学生の児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施 ・話すこと、書くこと、コミュニケーション能力の定着を図る	【R4成果目標設定の考え方】 英語に対する興味・関心度をアンケートにより数値化し、学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることによって本事業のあり方を検証する。
1	②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	ICT支援員:2人配置 小学校4校・中学校2校:2人配置(分担)	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、児童生徒の情報機器の操作能力や情報活用能力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員:6人配置 小学校4校:4人配置 中学校2校:2人配置	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) 平均以上 中学校(国語・数学) 平均以上	【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。	【R4成果目標設定の考え方】 学力達成度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることによって本事業のあり方を検証する。
1	④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R13	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	特別支援員:20人配置 幼稚園3園:8人配置 小学校4校:11人配置 中学校1校:1人配置	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援員の配置を継続し、特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち、大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H26 ～ R6	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。	ICT機器の整備 ・電子黒板33台 ・電子黒板用PC33台	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業を実施する中で、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
1	⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R13	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	テニス・陸上クリニックの開催 児童生徒の県外派遣費の助成	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数がスポーツへの意識が更に高まった又は広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R13	やえせ桜まつり(1月下旬～2月上旬) 町内の地域資源を活用したイベントの開催を支援することで観光客の誘致を図る。	イベントの開催支援。 やえせ桜まつり 来場者7,400人	開催支援したイベントへの来場者数 7,400人	【今後のスケジュール】 地域資源を活用したイベントの開催支援を行うとともに、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、観光客の誘致・町産品PRを実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:45箇所	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であるとされる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	③	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R13	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	サッカー場プロ仕様芝生整備 東風平野球場の芝生用肥料及び資材等の購入	野球キャンプの受入れ 4件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	④	YAESE 結 フェスタ事業	H29 ～ R13	(10月～11月) 町内の観光資源を活用し、町の観光認知度向上・町内への誘致を図るイベントの開催を支援することで、町内における需要の想起、交流人口の拡大、地域活性化を目指す。	イベントの開催支援 YAESE 結 フェスタ事業(仮称) 来場者 32,000人以上	開催支援を行ったイベントへの来場者数 32,000人以上	【今後のスケジュール】 イベントの成果(来場者へのPR、イベント内容の情報発信等)を通じ、更なる観光認知度の向上と誘致を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案して設定した。
2	⑤	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R13	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	プロモーション企画実施 6回以上 SNS等による情報発信 100回以上	主要観光施設の入域客数 267,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。	【R4成果目標の設定の考え方】 R1年度の八重瀬町観光拠点施設の実績に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいることを勘案し、感染拡大直前のR1年度の実績を設定した。 R1年度実績:約267,000人
2	⑥	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動施設調査事業	R4	既存、旧具志頭小学校体育館を屋内運動施設として、用途変更、長寿命化、また整備に向けての必要な調査を行う。	旧具志頭小学校体育館の建物劣化度調査及び屋内運動施設リニューアル調査業務の委託を行う。	①現地調査業務 ②各種法規検討業務 ③建物劣化度調査業務 ④建物耐震診断業務 ⑤利活用提案業務 ⑥概算工事費算出業務	【今後のスケジュール】 各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、改修計画に基づいて旧具志頭小学校体育館を屋内運動施設として、改修を行い、各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の受入れを行う。	【R4成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツツーリズムの振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。
3	①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R4 ～ R13	日中保護者が家庭にいない小学生に対し、放課後や学校休校日に子どもが安心して過ごせる場所を提供する。学童クラブを利用する非課税世帯に対して保育利用料を減免した場合に補助を行う。	非課税世帯に対して保育利用料を減免している学童クラブへ補助を行う。	保護者が、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担経験につながったか(80%以上)についてアンケート等により検証する。	【今後のスケジュール】 非課税世帯の保護者が経済的な負担軽減につながったかについてアンケート等により検証し、事業継続を検討する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案し、設定した。
4	①	農業用機械施設整備事業	H24 ～ R4	農業の高齢化に伴う離農および新規就農者等に対し、農業機械化推進のため、八重瀬町に機械を導入し、作業の効率化を通して、農業経営の安定化を図る。	農業機械の導入 トラクター(33馬力) 33馬力用プラソイラ トラクター(19馬力)2台 19馬力用植付機 2台 19馬力用スクープ 2台	農業機械の導入 トラクター(33馬力) 33馬力用プラソイラ トラクター(19馬力)2台 19馬力用植付機 2台 19馬力用スクープ 2台	【今後のスケジュール】 農業機械を導入し、作業を効率化することで高齢化が進む農家の負担軽減と農業経営の安定化を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 借入者の前年度収量の5%増加を図る。 作業の効率化、農業の機械化についての借入者へアンケートによる(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ R13	農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。	八重瀬町地産地消まつり等の開催支援	・地産地消まつり来場者数: 4100人以上	【今後のスケジュール】 イベントを通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
5	①	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R5	実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用した栄養相談や食に関する啓発を行い、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。	食育SATシステムを活用した理解しやすい事業の展開	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 アンケート調査による事業の検証を行い、継続的に食育SAT(体験型栄養教育システム)を有効に活用し、沖縄県や町の現状を伝え、食や健康に関する意識を高め、生活習慣病の予防を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が食に対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	②	具志頭運動公園健康増進機能強化事業	R2 ～ R4	地域住民や利用者の健康増進を図るため、公認パークゴルフ場やウォーキングコース等を整備する。	・コース整備工事の実施	・コース整備工事の完了 ・供用開始 ・南部圏域でのイベント実施	【R5成果目標】 ・年間利用客数6千人の増加 ・生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R3: 整備工事实施、物件補償の完了、備品購入の完了 R4: 整備工事の完了、供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 ・平成29年度に策定された具志頭地区観光スポーツ活性化基本計画にて示された数値等を参考に設定した。 ・対象者のうち大多数が生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	①	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されることから、効果的な予防対策として、予防接種事業をさらに強化することにより、感染症の蔓延防止を図る。	麻しん及び風しん予防接種の実施(接種率95%以上)	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発件数 0件	【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R4成果目標設定の考え方】 感染拡大を防止するために必要な接種率は95%以上であることから、目標値として設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	①	八重瀬歴史文化継承事業	R4 ～ R13	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編集し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し、企画展を開催する。	[移民・出稼ぎ編] ・会議(3回) ・八重山開拓に関する資料の収集および大阪大正区並びに神奈川県川崎区の八重瀬町人会へ聞き取りの現地調査。 ・収集した証言や資料の整理。 [言語編] ・会議(3回) ・調査 [近代資料] ・有識者会議(4回) ・横内文書調査 ・「沖縄時論27号」調査	企画展の開催 100人	【今後のスケジュール】 R5年度以降も町の歴史・文化の調査研究及び資料収集を継続し、その継承を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 類似取組である「2020ウチナーンチュの日」パネル展(124人)の実績を参考に設定した。
7	②	八重瀬町無形文化財活用推進事業	R4 ～ R6	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため、ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取り組み	・ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取り組み ・テスト公演の実施 ・施設機能強化計画策定会議	・各種団体との協議 ワークショップ及び公演内容の組み立て ・テスト公演による観覧者アンケートを実施 ・施設機能強化計画の策定完了	【R7成果目標】 年間利用者数 3,250人 【今後のスケジュール】 R4 ワークショップ及び公演内容の組立 テスト公演実施 施設機能強化計画策定 施設機能強化設計 R5 施設 ワークショップ及び鑑賞公演の実施 施設機能強化の設計 R6 施設 ワークショップ及び鑑賞公演の実施 施設機能強化の実施	【R7成果目標設定の考え方】 利用者数は以下の数値を参考に設定した。 ・町内児童・学生在籍数 ・沖縄県修学旅行生の需要数

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8	①	高齢者おでかけサポート事業	R4 ～ R6	公共交通の利用が不便な高齢者や交通弱者等の外出支援を行うため、住民ボランティアドライバーによる外出支援の実証運行を行う。	①地域の現状やニーズの把握 社協・自治会との調整を行い、対象地区の選定やドライバーの確保 ②運行計画の策定 活動プログラムを定め、組織体制を整える ③安全講習の実施 登録ドライバーに安全講習等を受講 ④実証運行の実施 車両については町において確保し、無償運行とする ⑤利用者に対するアンケート調査の実施・評価	・期間内利用者数:約917人 (実証運行9か月想定)	【今後のスケジュール】 社会福祉協議会や地域住民等と協議を重ね実証実験を実施し、地域に適した輸送手段となるような仕組みづくりを行う。	【R4成果目標の設定の考え方】 ・新規事業のため利用人数等の把握が困難であるが、参考値として民間病院の送迎バスの空席を活用した外出支援事業の開始当初3年間の平均利用人数の75%の値を期間内利用者数とした。 ※75%とするのは期間が9か月であるため。
9	①	学校施設予防改修事業(塩害防止)	R4	小学校校舎の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎外壁面の塗装対策を行う。	校舎外壁の塗装:小学校1校	教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁等の亀裂件数:0件	【今後のスケジュール】 令和4年度に計画する小学校校舎外壁面の塗装対策を完了し、令和5年度以降は、事業の効果(劣化の抑制状況)確認の為、完了した校舎の点検を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認する為、教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂が生じない事(0件)を目標値とした。
10	①	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R4	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の省エネ化の推進を図る。	具志頭運動公園外灯のLED照明設置。	具志頭運動公園の年間の二酸化炭素排出削減量2.6t	【今後のスケジュール】 公共施設のLED化を町民へ周知することにより、環境に対する意識の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 二酸化炭素排出量を勘案して設定した。
10	②	八重瀬町防犯灯LED化推進事業	R4	既存防犯灯をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため防犯灯の省エネ化の推進を図る。	既存防犯灯26箇所をLEDに更新する	1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量0.4t/月	【今後のスケジュール】 防犯灯のLED化を町民へ周知することにより、環境に対する意識の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 二酸化炭素排出量を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
11	①	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業	R4 ～ R13	Jリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカーグラウンド施設において、プロサッカーチームを誘致し、練習拠点として必要な環境整備を行い、サッカーを活用したスポーツツーリズムの推進を図る。	サッカーグラウンドのプロ仕様芝生管理委託	来場者数 3,000人 (県外観光客1,100人)	【今後のスケジュール】 今後も継続して観光交流機能であるサッカーグラウンドの整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 平成30年度沖縄県観光統計実態調査より、県外客の南部訪問率が22.1%となっている。目標値として22.2%と設定した。 沖縄県入域観光客目標1,200万人から、南部訪問率の0.1%増率設定より12,000人増加を目標とし、南部市町の人口で按分した数値を八重瀬町の目標とした。
12	①	スポーツキャンプ事業	H26 ～ R13	スポーツチームのキャンプを誘致することで、観光客を誘致し、周遊と消費を促す。	スポーツチームのキャンプ誘致観光客を誘客し、周遊・消費を促す	スポーツチームのキャンプ4チーム誘致周遊ツールを活用し、150万円の消費を促す。	【今後のスケジュール】 キャンプチームの定着を図り、誘客のプロモーションを強化する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	美化緑化推進事業	H25 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	R3 ～ R5	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。	(1)コンテンツ開発 2件 (2)モニター実施 企業モニター 2社(計8名)	(1)コンテンツ開発 2件の完了 (2)モニター実施 企業モニター 2社(計8名)の完了	【R6成果目標】 開発されたコンテンツ(商品)を活用した観光来島者240名 【今後のスケジュール】 体験型プログラムの開発や人材育成を行い、観光客の1人当たり消費額の増加につなげ、本村観光の振興を図り、村民所得の向上に繋げることで、沖縄振興に寄与する。	【R6成果目標設定の考え方】 今年度育成されたガイドが、今年度開発されたコンテンツプログラムを活用した来島者(観光客)を受け入れることにより、観光関連所得の向上を図ることができる。
2	①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R6	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合122%以上	【今後のスケジュール】 H29～R6の8年間で167頭の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	地域循環型農業推進事業	R4 ～ R5	本村における農業振興のため堆肥施設に大型機械を導入し、農作物の生産性を高め、農家所得の向上及び資源循環型農業の確立する。	高性能選別機の導入 1台	高性能選別機の導入 1台	【今後のスケジュール】 R5:自走式攪拌機導入 【R6成果目標】 農作物の生産高の10%の増加(過去10年の平均値比)	【R6成果目標設定の考え方】 機械の導入により良質な堆肥の製造が可能となる。(過去10年の平均値比)
3	①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ R13	島外の人と競争や交流する機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒がスポーツ、文化活動において、島外へ派遣される際の渡航費を支援する。	児童生徒の島外派遣に係る渡航支援	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	【R4成果目標設定の考え方】 派遣対象児童生徒のうち大多数が広い視野を持っていたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	②	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R13	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	ALT招聘:年間20回	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合:40%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 (小学生) 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (中学生) 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みた上で臨機応変に対応できるように、オンライン方式での支援も視野に入れ実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -4.5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -5.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図る。	【R4 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	④	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を社会情勢を鑑みた方法(対面方式とオンライン方式)で行う。	・沖縄本島へ小学6年生(14名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(13名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(15名)、引率者(5名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら、で継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R4 成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑤	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R6	多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復調査、年中行事の記録編集等を行い整理する。	・郷土資等の修復、公開 ・年中行事の記録編集	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 167人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 467人以上 ③シンポジウム来場者数 50人以上	【今後のスケジュール】 R4年度 修復電子化・現代語訳 ・年中行事の記録編集	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R13	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	宮古島⇄多良間島間の自動車航送運賃の補助	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	②	緊急車両(消防車)導入事業	R4	緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制を向上させ、離島における安心・安全な暮らしを実現させ、定住促進を図る。	・緊急車両(消防車)の導入	・緊急車両(消防車)の導入	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4: 緊急車両(消防車)の導入 ・R5: 供用開始 <p>【R5成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両を活用した避難訓練の実施 6回 	<p>【R5成果目標の考え方】</p> <p>消防団による災害対応や防災避難訓練での活用を通じ、村民及び児童生徒への防災知識等を回り防災体制の向上を図るために設定した。</p>
5	①	多良間村心身障害児等渡航費助成事業	R3 ~ R13	本村では対応できない心身障害児及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	対象者の申請に対し助成金を交付する	渡航費支援が必要な児童への支援率: 100%	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も障害児及び療育支援を必要とする幼児、児童保護者の経済的負担を軽減する為に旅費助成を引き続き行う。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>障害者(児)アンケートで旅費支援のニーズが多かった。医療、福祉、教育の現場から療育支援の必要な児童に関する情報を参考に設定した。</p> <p>1件あたりの金額は難病患者等の渡航費助成制度と同じ同額で設定した。</p> <p>宿泊費は他の離島村を参考にした。</p>
6	①	たらびん公園整備事業	R4 ~ R5	住民の健康維持や、安心して子育てができる環境づくりの促進のため、運動スペースや遊具を備えた公園を整備する。	整備工事(運動スペース、トイレ、駐車場)	整備工事(運動スペース、トイレ、駐車場)の完了	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>R5: 整備工事、供用開始</p> <p>【R6成果目標】</p> <p>公園の整備により「健康促進や子育て環境の向上」に繋がったと感じる村民の割合: 80%以上</p>	<p>対象者である村民の大多数が「健康促進や子育て環境の向上」に繋がったと考えられる値として設定した。</p>

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	健康診査用機材搬送事業	H26～R13	<p>島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。</p>	<p>集団検診時に検診車両を輸送</p> <p>年2回(車両3台)×5島6地区</p> <p>①住民健診・特定健診・胃がん検診</p> <p>②婦人がん(乳がん)検診</p> <p>石垣発</p> <p>1.竹富島</p> <p>2.黒島</p> <p>3.小浜島</p> <p>4.波照間島</p> <p>5.西表島(上原)</p> <p>6.西表島(大原)</p>	<p>①特定健診対象者の受診率 60%以上</p> <p>②胃がん検診対象者の受診率 10%以上</p> <p>③婦人がん(乳がん)検診対象者の受診率 39%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和4年度の各種健診実施について、早期にスケジュールの確定を行い、各種お知らせ、広報誌、インターネット、SNSを通じて広く告知をし、成果目標の達成を図る。</p> <p>また、胃がん検診については、引き続き特定健診と同時実施予定の為、利便性のアピールを行い、更なる受診率の向上を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>国が定めている特定健診受診率の目標値及び過去の実績を参考に設定した。</p>
1	②	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27～R13	<p>町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。</p>	<p>町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。</p>	<p>本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>運賃補助による利便性確保状況を検証しながら、より効率的・効果的で持続可能な住民の利便性確保策を検討する。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。</p>
1	③	町外保育士等誘致支援事業	R4～R6	<p>保育所職員不足を解消するため、町外在住で竹富町内へき地保育所への就労を希望する者に対し、渡航費、引っ越し費用の移住費用(実費)を補助する</p>	<p>渡航費、引越し費用の移住費用(実費)を補助。</p>	<p>待機児童:0名</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>ホームページやハローワーク等を通して幅広く求人を行い、保育士不足解消につなげる。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>保育所の職員不足が見込まれる保育所に配置し、年度途中の保育所入所希望者を受け入れ、待機児童ゼロにする。</p>
1	④	大富高齢者ゆくい処施設整備事業	R4	<p>西表東部地区において、大富保育所移転後の施設を高齢者ゆくい処施設として活用できる増改築工事を行い、介護サービスの充実、高齢者同士の交流の場、憩いの場、将来的には小規模多機能型居宅介護事業所が展開できる施設整備を行う。</p>	<p>増改築工事の実施</p>	<p>増改築工事の完了</p>	<p>【R5年度成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始後、アンケート調査を実施。介護サービスの充実が図られた(80%以上) ・通所介護サービス実施回数の増週4回以上のサービスを実施 <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R4 増改築工事</p> <p>R5 供用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から5年以内の小規模多機能型居宅介護事業所への移行 	<p>【R5年度成果目標の考え方】</p> <p>対象者の大多数が、介護サービスが充実していると考えられる値として設定した。</p>

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤	祖納上村地区観光路整備事業	R4 ～ R13	西表島祖納地区の通称「上村（ウィムラ）」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で活用に向けた土地利用計画を進められている。点にしている昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐるコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園(仮称)の整備を図る。	散策路整備に関する調査測量・設計業務の実施	散策路整備に関する調査測量・設計業務の完了	整備後、1年目(R14)の目標を以下のとおりとする。 ・地区単位の入域観光客数を把握していない為、R5～7年度に実績値を測り設定する。 【事業スケジュール】(案) R4 調査測量設計 R5～R7 散策路整備工事 R8 基本設計 R9 実施計画 R10～R13 公園・拠点広場整備	【R14成果目標設定の考え方】 ・地区単位の入域観光客数を把握していない為、R5～7年度に実績値を測り設定する。
2	①	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R13	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	・観光関連イベントに出展PR ・自然・文化を活用した観光案内を行う人材の育成 ・町内での消費を促すポイントカードシステムの運用 ・島単位の課題把握と解決案の抽出 ・観光振興基本計画の策定	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 満足度調査を継続的に実施しながら取組の効果を検証し、将来的には観光消費額の目標値を設定して持続可能な観光振興に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 半数以上の観光客が5段階評価の最高評価をつけることを目標に設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ～ R7	年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行い、地域住民の活用や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行う	R3年度の基本計画の提言に基づき、年長者から地域に残るわらべ歌等の聞き取り・記録調査及び映像資料のデジタル化を行う。	公開に向けた資料収集の完了及び、映像資料のデジタル化	【R8成果目標】 ①利用者アンケート満足度80% ②閲覧者数 40,000人/年 【今後のスケジュール】 R4～6 資料収集及びレッドデータ作成 R7 公表データ作成 R8 デジタルミュージアム開館	【R8成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が公開資料に満足していると考えられる値として設定。 ②基本構想の中で算出した来館者数と観光前にデジタル資料を閲覧する人数は等しいと想定し、年間40,000人程度の閲覧数を目標とする。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	③	コーキ原のガジュマル群落周辺整備事業	R4	竹富町指定天然記念物コーキ原ガジュマル群落と竹富町指定史跡ウティスク遺跡の文化財活用の一環として、新しい小浜島観光の周遊ポイントを作るほか、町民への地域遺産学習の場を提供するために木道・駐車場を整備する。	コーキ原のガジュマル群落周辺整備の実施	・コーキ原のガジュマル群落周辺整備の完了	<p>【R5年成果目標】 利用者へアンケート調査を実施し、文化財を活用した観光が実施されているか(80%以上)を含め、当該整備のあり方をアンケートで検討する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R4: 整備工事 R5: 供用開始 新たな観光資源の周知をホームページ及び新聞、広報誌、LINE等を活用する。</p>	【R5年成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が文化財を活用した観光の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、当該整備のあり方について、アンケート調査により検証する。
2	④	登録有形文化財(建造物)西棧橋整備事業	R4	安心安全な観光及び観光地にふさわしい景観に整備する。	登録有形文化財(建造物)西棧橋の整備を実地	登録有形文化財(建造物)西棧橋の整備完了	<p>【R5年成果目標】 利用者へアンケート調査を実施し、安全な観光ができたか(80%以上)を含め、当該整備のあり方をアンケートで検討する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R4: 整備工事 R5: 供用開始</p>	【R5年目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全な観光が図られたと考えられる値として設定した。また、当該整備のあり方について、アンケート調査により検証する。
2	⑤	船浮イダの道散策路整備事業	R1 ~ R4	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として整備する。	整備工事の実施	整備工事の完了	<p>【R5成果目標】 利用観光客を対象にアンケート調査を行い、利便性の確保及び魅力的な観光地となっているか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R4 工事 R5 供用開始</p>	【R5成果目標設定の考え方】 事業の目的である利用者の利便性確保について本事業に関するアンケートを実施し、効果を測定するものとした。数値については、大多数の利用観光客等にとって、利便性の確保及び魅力的な観光地として考えられる数値として80%以上とした。
3	①	児童生徒派遣費支援事業	H24 ~ R13	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツ・文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	派遣費補助児童生徒人数のべ1,000名/年度	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、学校教諭・保護者へのアンケートにより、本事業の効果を確認する。	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に島内ではできない経験をおして広い視野を持たせることができるよう、派遣への補助を行う。アンケート自由記入欄意見等を参考に、より良い事業のあり方を検証していく。</p>	【R4成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、指標値についてアンケート調査により確認する。

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	②	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R8	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語学習のサポートを行う。	英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校に派遣 150回／年度	幼児児童の外国語への興味・関心が高かったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 幼児児童は年度ごとに年次があがっていき、新入園入学・卒園卒業もあるため、継続して取り組む必要がある。各幼稚園・学校教諭へ担当者が日本語でヒアリングを行い、改善点を見つけることや、ICT機器等の活用など、良い体制をつくっていく。	【R4成果目標設定の考え方】 授業を受けた幼児児童のうち大多数が外国語への興味関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
4	①	竹富町和牛生産推進事業	H24～ R13	優良母牛の導入支援(購入費の2/1以内、1頭あたり600千円を上限とする)及び口蹄疫の侵入防止策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。	・離島港湾靴底消毒用マット設置6箇所(竹富、小浜、黒島、波照間、西表大原・上原) ・優良母牛導入支援	導入した優良母牛から産れた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。導入した優良母牛飼いで産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 1.22%以上	【今後のスケジュール】 導入牛から生まれた子牛とそうでない牛との価格差を指標とすることで、竹富町畜産牛のブランド力の向上が図れてきているが導入牛の不妊等もあることから、妊娠牛の導入を行うことで、事故牛リスクの軽減が図れる。繁殖牛の増頭により、伝染病に対する防疫対策は否めない為、継続的に取り組んでいく。	【R4年度成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	文化財美化保全事業	H24 ～ R13	・観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を公民館へ委託し行う。	・委託先の公民館は年間3回以上は美化清掃を実施する。 ・黒島地区の文化財に関しては年間2回実施する。	・事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に、文化財の美化保全を実施し、魅力的な景観を形成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者の大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	③	ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R13	イリオモテヤマネコをはじめとする世界自然遺産に登録された西表島の生物多様性を保全するために、ペットの適正飼養を推進するとともに、傷病鳥獣の保護にも対応する。	・ペット適正飼養推進会議の開催 ・逸失ペットの保護収容 ・保護収容個体と傷病鳥獣への措置 ・猫適正飼養の普及推進 ・ペット適正飼育の普及啓発	・逸失ペットの保護収容数4頭以内 ・飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率30%	【今後のスケジュール】 最終目標としては、逸失ペットの発生件数自体の0を目指す。 飼い猫における特定の感染症の感染率の低減と、屋外での活動を抑えるために屋内飼養の普及推進を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 逸失ペットの件数は過去の実績を勘案して設定した。 ワクチン接種率は、ワクチンの有効期限から設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	地域振興対策事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	カジキ釣り大会の補助(7月) 一周マラソン大会の補助(11月)	イベント開催月入域観光客数 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,600人(11月) 合計:6,500人	(今後の展開方針) イベント開催月入域観光客数 【H33年度:7,000人】 H24実績:5,183人 H25実績:5,220人 H26実績:5,160人 H27実績:6,457人 H28実績:6,192人 H29実績:6,433人 H30実績:6,059人 R1実績:6,243人 R2実績:0人 R3実績:0人 R4目標:6,500人	
1	②	誘客促進活性化事業	H30 ～ R13	・与那国島観光物産、伝統芸能フェアの開催 期間:年1回、2日間 場所:那覇市(沖縄タイムスビル1階) ・旅行代理店等へのトップセールス ・PRツール(パンフレット、ポスター等)の作成	・与那国島観光物産・伝統芸能フェアの開催 ・トップセールスによる空路開拓、商品造成 ・PRツール作成 ・既存事業の内容充実とPR強化 ・観光客意識調査や市場調査等による情報収集と分析	・物産・伝統芸能フェア来場者数 4,000人 ・チャーター便確保 25便/年※実績平均	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 類似事業の過去の実績等を勘案して設定した。
1	③	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R13	販売促進についての講習会を開催し、県内外の物産展に出展する。	・県内での物産展出展 1回以上 ・県外での物産展の開催または県外で開催される物産展への参加	全体参加の物産展ごとの売上200万円以上	(今後の展開方針) H30年度:物産展出店数:13業者 H25実績:8事業者 H26実績:10事業者 H27実績:10事業者 H28実績:8事業者 H29実績:13事業者 H30実績:11事業者 R1実績:1,200万 R2実績:59万	
1	④	与那国町観光地整備事業	R26 ～ R4	観光客等の利便性を確保するため、町内の観光地に便益施設を整備する。	・東崎展望台トイレ、休憩所改修設計、工事	東崎展望台施設トイレ建築工事完了	【今後のスケジュール】 (整備スケジュール) R4 東崎の整備完了 R5 供用開始 入域観光客数40,000人	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	優良牛繁殖雌牛導入事業	R4 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・優良母牛及び妊娠牛導入の支援:30頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛及び妊娠牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 定量的な目標として通年の入域観光客数として設定した。
2	②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	R4 ～ R8	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・漁業従事者数の維持確保:39人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	シラスウナギ漁業の可能性調査事業	R4 ～ R6	与那国島沿岸海域に來遊している可能性があるシラスウナギの状況を調査すると共に、漁法、漁業制度(特別採捕許可等)、流通制度に関して調査・検討し、与那国町における新規漁業の可能性を調査する。	・与那国島沿岸海域におけるシラスウナギ來遊状況を調査する ・台湾島周辺国におけるシラスウナギ漁獲方法の調査する ・漁業・流通制度の調査する	・新規漁業としての可能性を検証	【今後のスケジュール】 シラスウナギの來遊を確認できた場合には、適正な漁法を想定した調査に発展させる。 來遊が確認できなかった場合には、その要因を検討し、R5年度の調査方法に反映させる 漁業・制度に関しては、課題を整理すると共に、関係行政及び機関との調整を行う	【R4成果目標設定の考え方】 既存の調査研究及び台湾東岸で漁業と成立していることを考えれば、与那国沿岸においても來遊している可能性は十分に想定される
3	①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R13	学校外でも学びたい児童生徒の学習環境を整備し、学力向上を図るため、町営学習塾を開設し、児童生徒を対象に学習指導を行う。	町営学習塾において学習指導の実施	R5全国学力・学習状況調査(R5.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	【R5成果目標】 【小学生】 国語:-1.0ポイント以上 算数:-0.8ポイント以上 【中学生】 国語:+1.6ポイント以上 数学:-1.9ポイント以上 【今後のスケジュール】 全国学力・学習状況調査(R5年4月小6、中3実施)において、直近2年間の全国平均正答率と町平均正答率の差	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもので。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもので。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R4活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外、県外で開催される大会や選抜による合同練習等に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	各種大会派遣支援の実施	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も事業を継続し、教育環境の充実を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	地域国際交流事業	R4 ～ R13	小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業やホームステイ体験及びICT交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・ホームステイの実施:24人 ・派遣前後のICT交流授業の実施 ・報告会の実施・報告書の作成 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・保護者向けの事後アンケート調査実施	事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 今後も児童が国際社会への興味・関心と外国語によるコミュニケーションの意欲を高める教育機会を提供し、より広い視野をそなえた人材の育成を図っていく。	【R4目標設定理由】 派遣された児童のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。
3	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	R4 ～ R13	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおり、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・研修への派遣:4人 ・報告書の作成 ・報告会の実施 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・生徒、保護者、教員向けの事後アンケート調査実施	事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持たたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者・教員へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・今後も国際社会への関心を醸成する教育を推進し、語学力とより広い視野をそなえた生徒の育成を図っていく。	【R4目標設定理由】 派遣生徒の人格・学力を最も身近に感じることができる保護者・教員を対象にアンケートを実施することで、本事業の効果を図る。 対象者のうち80%以上という数値は、概ね肯定的であるという数値とした。
4	①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R4	子ども達が安心して遊び学べるよう指導員の確保を行い、幼稚園から学童までを安全かつ効率よく移動するためバスの運行を実施する。また、指導員のスキルアップのため研修等への参加を支援する。	○指導員(3名) ○バス運行(燃料費の確保) ○指導員の研修参加支援	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(85%以上)	【今後のスケジュール】 子育てへの負担軽減のみならず、指導員の質の向上も図り、子どものみならず、保護者も満足できる環境の整備を図っていく。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R4	本町唯一の医療機関である与那国診療所には各専門医がいないため、出産または専門医療を受けるためには島外の石垣島へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。	・妊産婦定期健診及び出産時の渡航費、宿泊費の助成実施 ※妊産婦一人当たり受診回数:15回/人	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	基本的に石垣市での健診及び出産を対象としているが、高度周産期医療が必要で石垣市での出産が困難な状態等に限り、沖縄本島での対応も助成対象とすることとし、また、新生児集中治療室で医療を受けていた期間(30日を限度)の経費も助成対象とすることで、妊産婦の経済的及び精神的負担にも対応していく。	過去の実績を勘案し設定

R4活動目標(指標):令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R4成果目標(指標):令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和4年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R4成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R4事業内容	R4活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	公共交通路線支援事業	H24 ～ R13	公共交通路線バス運行費用への支援	公共交通路線バス運行費用への支援	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定

R4活動目標(指標): 令和4年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R4成果目標(指標): 令和4年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。